isai VL

LGV31

取扱説明書　詳細版

ごあいさつ

このたびは、isai VL（LGV31）（以下、「本製品」または「本体」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『設定ガイド』『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』または『取扱説明書（詳細版）』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『設定ガイド』『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『取扱説明書』（付属品）／『設定ガイド』（付属品）

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書（詳細版）』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■取扱説明書アプリケーション

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションを利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [安心・サポート] ▶ [取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています（発売約1ヶ月後から）。
Download URL: http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE ／ WiMAX 2+ ／ GSM ／ UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書（詳細版）』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 本製品はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、本製品の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本製品に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。
- 日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■使う場所や声の大きさに気をつけて！

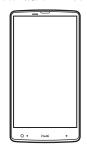
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。
- 本製品には本体を振って操作する機能が搭載されています。ご利用の際は左右に2回振ってください。振るときは本製品から手を離さず、必要以上に振らないでください。必要以上に振って本製品が手から離れた場合、本体が故障することがあります。また周囲の人を傷つけたり、他の物に損傷を与える可能性があります。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

- 本体（背面カバー含む）

- LG TVアンテナケーブル01

- 設定ガイド
- 取扱説明書
- ご利用にあたっての注意事項
- 保証書

以下のものは同梱されていません。

- microUSBケーブル
- ACアダプタ
- microSDメモリカード
- イヤホン
- 卓上ホルダ

memo

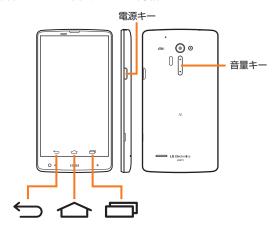
- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品とは違う場合があります。
- 電池は本製品に内蔵されています。

目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

表記	意味
ホーム画面 ▶ [📞] ▶ [1] [4] [1] ▶ [📞]	ホーム画面下部の 📞（電話）をタップします。続けて 1 、4 、1 の順にタップして、最後に 📞 をタップします。
ホーム画面 ▶ [▭]	ホーム画面で ▭ をタップします。

memo

- 本書では縦表示の操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
- 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- 本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」および「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書（詳細版）』（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元 ： KDDI株式会社
沖縄セルラー電話株式会社

輸入元 ： LG Electronics Japan株式会社

製造元 ： LG Electronics Inc.

memo

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

表示	説明
⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が軽傷※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1　重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2　軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

図記号	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

⚠ 危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示
必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

禁止
高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

指示
ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止
火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止
接続端子やイヤホン端子をショートさせないでください。また、接続端子やイヤホン端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

禁止
金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やイヤホン端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

禁止
カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

分解禁止
お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

本体が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が背面カバーなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

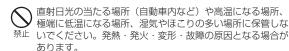
禁止 背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。けがや故障の原因となる場合があります。

禁止 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

禁止 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠ 注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止　直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。

禁止　ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止　使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止　外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止　本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

禁止　コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止　背面カバーを外したまま使用しないでください。

禁止　腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

禁止　本体から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

指示　使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

指示　イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示　イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

指示　充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、破損·故障の原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止　本体に釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

分解禁止　分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

指示　ペットが本体に噛みつかないようご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

⚠ 警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止　自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

指示　病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

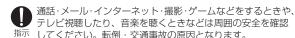
指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお､航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示 通話･メール･インターネット･撮影･ゲームなどをするときや、テレビ視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

禁止 赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止 フラッシュをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

禁止 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてフラッシュを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

指示 ごくまれに点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

指示 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

■ **本製品で使用している各部品の材質は以下のとおりです。**

使用箇所		使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）		PC樹脂	NCVM
外装ケース（側面）		PC樹脂	-
外装ケース（microSDメモリカードスロット／カバー周辺）		PC+TPE樹脂	-
背面カバー	アクア、ピンク	PC樹脂	UVコーティング
	ブラック		SFコーティング
音量キー	アクア、ピンク	PC+TPU樹脂	UVコーティング
	ブラック		SFコーティング
電源キー		PC+TPU樹脂	NCVM
ディスプレイ		強化ガラス	防汚コーティング
受話口		ステンレス鋼	PVDコーティング
カメラレンズ		ソーダ石灰ガラス	AR、AFコーティング
カメラレンズ飾り		AL	陽極酸化処理
フラッシュ、赤外線ポート		PC樹脂	-

禁止 キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

禁止 microSDメモリカードスロット、イヤホン端子に液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

禁止 イヤホンやLG TVアンテナケーブル01などを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなど事故や破損の原因となります。

指示 通常はmicroSDメモリカードスロットカバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

指示 心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

禁止 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

禁止 通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。

■ 内蔵電池について

（本製品の内蔵電池は、リチウムポリマー電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠ 危険 必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

指示 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

指示 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告 **必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

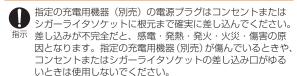
禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）：AC100V ～ 240V
- 共通DCアダプタ03（別売）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指示

共通DCアダプタ03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V、1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

禁止

指定の充電用機器（別売）のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

指示

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意 **必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。**

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

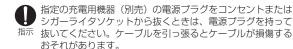
風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。

指示

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。

指示

指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

禁止

共通DCアダプタ03（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

■ au Nano IC Card 04について

⚠ 警告 **必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Nano IC Card 04を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠ 注意 **必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

指示

au Nano IC Card 04の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

指示

au Nano IC Card 04を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止

au Nano IC Card 04を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Nano IC Card 04を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Nano IC Card 04を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card 04のIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card 04を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card 04を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

水ぬれ禁止
au Nano IC Card 04を濡らさないでください。故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card 04のIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card 04はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card 04保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

指示
au Nano IC Card 04は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■LG TVアンテナケーブル01について

⚠警告 **必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

水ぬれ禁止
ぬれ手禁止
LG TVアンテナケーブル01は防水性能を有しておりません。水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。発熱・火災・感電・電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。

⚠注意 **必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

指示
LG TVアンテナケーブル01の接続プラグにゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

指示
LG TVアンテナケーブル01の接続プラグは本体のイヤホン端子に対してまっすぐに抜き差ししてください。

指示
皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

■LG TVアンテナケーブル01で使用している各部品の材質は以下のとおりです。

使用箇所	使用材質	表面処理
イヤホン端子（ボディ）	TPE樹脂	-
ケーブル	TPE樹脂	-
接続プラグ（ボディ）	TPE樹脂	-
接続プラグ（金属部分）	黄銅	金メッキ

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器を外部接続端子やイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能（IPX5、IPX7相当）を発揮するために、背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでの背面カバーの取り付け／取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃～ 35℃、湿度35% ～ 85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子やイヤホン端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書（詳細版）』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」が本製品の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本製品で以下の操作を行うとご確認いただけます。
  ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［端末情報］▶［規制と安全に関する情報］
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 接続端子やイヤホン端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 接続端子やイヤホン端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- リアケース部（背面カバーを外した状態で見える背面部分）の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、NFC ／ FeliCaを認識できなくなる場合があります。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムポリマー電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻き付けないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

■ au Nano IC Card 04について

- au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Nano IC Card 04の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Nano IC Card 04を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card 04のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。
- au Nano IC Card 04にシールなどを貼らないでください。

■ LG TVアンテナケーブル01について

● LG TVアンテナケーブル01は無償修理保証の対象外となっております。

■ カメラ機能について

● カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。

● 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。

● 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。

● 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

● カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ機能について

● 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。

● 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。

● 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

● お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

● 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

● ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※をお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

※ 控え作成の手段:連絡先のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	❶ お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	❷ お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● ロックNo.（NFC ／おサイフケータイ ロック）

使用例	「NFC ／おサイフケータイ ロック」を利用する場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

機能	説明
画面ロック	起動時や画面ロックの解除方法にスワイプ、フェイスアンロック、ノックコード、パターン、PIN、パスワードを設定することにより、データを安全に保護できます。

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードのロック」（▶P.221）で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードのロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4 ～ 8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card 04が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」（▶P.221）で新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。
- 「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

防水／防塵性能に関するご注意

本製品は背面カバー、au Nano IC Card 04トレイ、microSDメモリカードスロットカバーが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX7※2相当の防水性能およびIP6X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。
具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1　IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
※2　IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
※3　IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置内に本製品を入れて8時間塵埃をかくはんさせた後、本製品の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ ご使用にあたっての重要事項

● 防水／防塵のため、下図の線を指でなぞり、背面カバーに浮きがないよう確実に閉じてください。また、au Nano IC Card 04トレイ、microSDメモリカードスロットカバーも確実に閉めてください。

- 完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。
- 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 手や本体が濡れている状態での背面カバーの開閉は絶対にしないでください。

● 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。

石けん／洗剤／入浴剤

● 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。

海水

温泉

● 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。

● 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

砂／泥

● 水中で使用しないでください。
● お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

■ 快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本体の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に背面カバーおよびキー部内の水を抜いてください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■ 利用シーン別注意事項

『雨の中』：雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合。（1時間の雨量が20mm未満まで）
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での背面カバーの開閉は絶対にしないでください。

『シャワー』：シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『洗う』：やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは背面カバーをしっかり閉じた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

『お風呂』：お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。

- LG TVアンテナケーブル01をお風呂場へ持ち込まないでください。

『キッチン』：キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。

■ 共通注意事項

- 背面カバーについて

  背面カバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

  背面カバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

  背面カバーに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。
- 水以外が付着した場合

  万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

  やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～ 35℃）の水道水で洗えます。

  汚れた場合、ブラシなどは使用せず、背面カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。
- 水に濡れた後は

  水濡れ後は水抜きをし、背面カバーを外さないで、本体、背面カバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

  寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。（本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。）
- ゴムパッキンについて

  au Nano IC Card 04トレイ、microSDメモリカードスロットカバーのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。au Nano IC Card 04トレイ、microSDメモリカードスロットカバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。水以外の液体（アルコールなど）が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

  au Nano IC Card 04トレイ、microSDメモリカードスロットカバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

  背面カバーを取り付ける際に、au Nano IC Card 04トレイ、microSDメモリカードスロットカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。

  防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

- 充電について

  本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

  付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。

- 防水性能について

  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所（蛇口·シャワーなど）でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流（6リットル／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

  本製品は水に浮きません。

- 耐熱性について

  熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

- 衝撃について

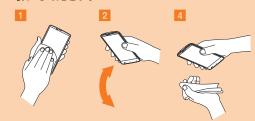
  本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口、送話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■ 水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

下記手順で水抜きを行ってください。

1. **本体に付着した水分を乾いたタオルや布などでよく拭き取ってください。**
2. **本製品をしっかり持ち、図のように矢印の方向に20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。**

   本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。
3. **電源キー、音量キーをタオルや布などでおおい、各キーを2 ～ 3回押します。**
4. **内部より出てきた水分を乾いたタオルや布などで拭き取ってください。**

5. **乾いたタオルや布などを下に敷き、常温で放置して乾燥させてください。（30分程度）**

   乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

■ **充電のときは**

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、指定の充電用機器（別売）と接続してください。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能：2.4FH1
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- 使用帯域：全帯域
  全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されています。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

■ HT20
W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)
W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)
W56 (5.6GHz帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

■ HT40
W52 (5.2GHz帯 / 38, 46ch)
W53 (5.3GHz帯 / 54, 62ch)
W56 (5.6GHz帯 / 102, 110, 118, 126, 134ch)

■ HT80
W52 (5.2GHz帯 / 42ch)
W53 (5.3GHz帯 / 58ch)
W56 (5.6GHz帯 / 106, 122ch)

IEEE802.11 b/g/n		
IEEE802.11 a/n/ac		
W52	W53	W56

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
  ※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

❶ **イヤホン端子**

❷ **microSDメモリカードスロット／カバー**

❸ **近接センサー**

通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。

❹ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❺ **インカメラ（レンズ部）**

❻ **送話口（マイク）**

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

❼ **受話口（レシーバー）**

通話中の相手の方の声、留守番電話の再生音などが聞こえます。

❽ **電源キー**

スリープモードの移行／解除に使用します。
電源キーを長押しすると、マナーモード（サウンドプロフィールの設定）や機内モードの設定／解除、電源ON／OFF、再起動を行えます。

❾ **通知LED**

❿ **外部接続端子**

指定のACアダプタ（別売）などの接続時に使用します。

⓫ **サブマイク**

ハンズフリー通話時に使用します。

⓬ **内蔵アンテナ部（GPS、サブアンテナ）**

GPS利用時、通話時、インターネット利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。

⓭ **フラッシュ**

⓮ **内蔵アンテナ部（Wi-Fi®、Bluetooth®）**

Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。

⑮ au Nano IC Card 04スロット

⑯ アウトカメラ（レンズ部）

⑰ 赤外線ポート

⑱ 音量キー（DOWN ／ UP）
音量を調節します。

⑲ スピーカー
着信音やアラーム音などが聞こえます。

⑳ 内蔵アンテナ部（通話、インターネット）
通話時、インターネット利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。

㉑ マーク
リーダー／ライターにかざすと、NFCデータ／ FeliCaチップ内のデータのやりとりができます。

㉒ 背面カバー

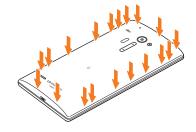
※ 電池は本体に内蔵されており、お客様による取り外しはできません。

背面カバーを取り付ける／取り外す

- 背面カバーの取り付け／取り外しは、本製品本体の電源を切ってから行ってください。また、外部接続端子にACアダプタ（別売）などを接続したまま、背面カバーの取り付け／取り外しは行わないでください。
- 本製品専用の背面カバーをご利用ください。

背面カバーを取り付ける

1 背面カバーの向きを確認して本体に合わせるように装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
  ※「防水／防塵性能に関するご注意」（▶ P.25）をご参照ください。

背面カバーを取り外す

1 背面カバーのミゾに指（爪）をあてて、矢印の方向へ持ち上げて背面カバーを取り外す

au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04にはお客様の電話番号などが記録されています。

- 本製品はau Nano IC Card 04にのみ対応しております。au Nano IC Card 04以外のICカードはご利用できません。

《au Nano IC Card 04》

IC(金属)部分

memo

- au Nano IC Card 04を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
  - au Nano IC Card 04のIC（金属）部分や、本製品本体のICカード用端子には触れないでください。
  - au Nano IC Card 04挿入時は、正しい挿入方向をご確認ください。
  - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- 取り外したau Nano IC Card 04はなくさないようにご注意ください。
- au Nano IC Card 04の取り付け／取り外しは、必ず指定のACアダプタ（別売）などのmicroUSBコネクタを本製品から抜いてください。

■ au Nano IC Card 04が挿入されていない場合

au Nano IC Card 04以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

au Nano IC Card 04が挿入されていない、もしくはau Nano IC Card 04以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、 や がステータスバーに表示され、次の操作を行うことができません。

- 電話をかける※／受ける
- Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定および送受信
- SMSの送受信
- 自局電話番号の確認
- UIMカードのロック設定

※ 110番（警察）・119番（消防機関）・118番（海上保安本部）への緊急通報や157（お客さまセンター）への発信もできません。

また、上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

■ PINコードによる制限設定

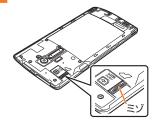
au Nano IC Card 04をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。（▶P.23）

au Nano IC Card 04を取り付ける／取り外す

au Nano IC Card 04を取り付ける

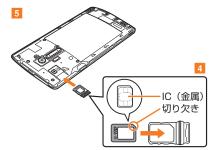
au Nano IC Card 04の取り付けは、本製品の電源を切り、背面カバーを取り外してから行います。（▶P.37「背面カバーを取り外す」）

1 背面カバーを取り外す

2 ミゾに指の先をかけてトレイを引き出す

3 トレイを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

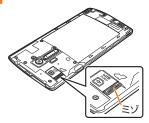
4 au Nano IC Card 04のIC（金属）面を下にしてトレイに格納する

5 図の向きでトレイをau Nano IC Card 04スロットに差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

au Nano IC Card 04を取り外す

au Nano IC Card 04の取り外しは、本製品の電源を切り、背面カバーを取り外してから行います。（▶P.37「背面カバーを取り外す」）

1 背面カバーを取り外す

2 ミゾに指の先をかけてトレイを引き出す

3 トレイを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

4 トレイからau Nano IC Card 04を取り出す

5 トレイをau Nano IC Card 04スロットに差し込む

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったときは、充電してからお使いください。
ご利用可能時間は、次のとおりです。

連続待受時間※	約610時間
連続通話時間※	約1300分

※ 日本国内でご利用の場合の時間です。
使用環境や内蔵電池の状態によって使用時間は異なります。

memo

- 充電中、本製品と内蔵電池が温かくなることがありますが異常ではありません。（充電しながら、カメラの起動や通信を行うと、内蔵電池の温度が高くなります。）
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
- 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
  - （圏外）が表示される場所での使用が多い場合
  - 無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、テレビ機能、位置情報などの使用
  - アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
  - バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

ここでは共通ACアダプタ05（別売）を接続して充電する方法を説明します。
指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.269）をご参照ください。
充電時間は、約110分です。

1 **共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBコネクタを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む**

- microUSBコネクタは、「▲」の刻印がある面を上にしてまっすぐに差し込んでください。

2 **共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む**

画面上部のステータスバー（▶P.55）に が表示され、充電が開始されます。充電が完了するとステータスバーに が表示されます。

3 **充電が終わったら本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBコネクタをまっすぐに引き抜く**

4 **共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをコンセントから抜く**

memo

が表示されない場合

- 画面上部のステータスバーに が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく待っても表示されないときは接触不良が考えられます。共通ACアダプタ05（別売）が確実に接続されているかご確認ください。それでも表示されない場合は充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

パソコンを使って充電する

1 **microUSBケーブル（別売）のmicroUSBコネクタを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む**

- microUSBコネクタは、「B」の刻印がある面を上にしてまっすぐに差し込んでください。

2 **microUSBケーブル（別売）のUSBコネクタをパソコンのUSBポートにまっすぐに差し込む**

memo

- 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
- USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて、時間が長くかかる場合があります。
- 充電のみを行う際にパソコン上に「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **電源キー（2秒以上長押し）**

ロック画面が表示されます。
画面をスワイプすると、ロックが解除されます。

電源を切る

1 **電源キー（2秒以上長押し）**

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 **[電源を切る] ▶ [OK]**

強制的に電源を切る

本製品の電池は内蔵電池になっており、取り外せません。「画面が動かない」などの症状が発生した際に強制的に電源を切るには、以下の操作を行ってください。

1 **電源キー（12秒以上長押し）**

強制的に電源がOFFになります。

再起動する

1 **電源キー（2秒以上長押し）**
携帯電話オプション画面が表示されます。

2 **［再起動］▶［OK］**

memo

- 8秒以上電源キーを押し続けると、本製品が再起動します。

スリープモードについて

電源キーを押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 **スリープモード中に電源キー**
スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

memo

- ホーム画面のアイコンなどがない領域や、スリープモード中の画面をダブルタップしても、スリープモードへの移行／解除ができます。
- スリープモード中に電源キーを押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。
画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては操作が異なります。
- 「スキップ」、「今は設定しない」などをタップすると該当の設定を省略できます。

1 **電源キー（2秒以上長押し）**
電源が入ります。

2 **言語を選択して、［次へ］**

3 **インターネット接続設定を行い、［次へ］**

4 **Googleアカウントの設定を行い、［▶］**
- Googleアカウントの設定画面が表示されます。Googleアカウントのセットアップについて詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
- 文字入力方法について詳しくは、「文字入力について」（▶P.62）をご参照ください。

5 **LGアカウントを必要に応じて設定する**

6 **ソフトウェア更新とログ情報に同意する場合はチェックを付ける**

7 **ノックコードを必要に応じて設定する**

8 **ホームタッチボタンの設定を行い、［次へ］**

9 **「新しい体験をしましょう」画面で［完了］**

10 **「auかんたん設定」を必要に応じて設定する**

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントを追加する画面

2 「既存のアカウント」／「新しいアカウント」

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「既存のアカウント」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力し、画面の指示に従って操作してください。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「新しいアカウント」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

- Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Googleハングアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- サインインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
- Googleアカウントのセットアップは、ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］▶［Google］でも操作できます。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 ホーム画面 ▶［ ］▶ URL表示欄を選択 ▶「http://www.google.co.jp/」を入力 ▶［ 実行 ］

「URL表示欄」が表示されていない場合は、画面を下方向にスライドしてください。

2 ［ログイン］

3 ［お困りの場合］

4 画面の指示に従って操作する

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［設定・サポート］▶［au ID 設定］

2 ［au IDの設定・保存］

認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ 主な操作目的

画面に表示された項目やアイコンを選択します。
ダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。

■ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■ 主な操作目的

コンテキストメニューの表示などを行います。

■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ 主な操作目的

画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にゲージやバーを操作します。

■フリック（スワイプ）

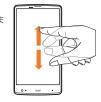
画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ 主な操作目的

ページの切り替えや文字のフリック入力、画面のロック解除などを行います。

■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ 主な操作目的
画像を拡大／縮小します。

■ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

■ 主な操作目的
画面上のアイコンを目的の位置まで移動します。

ジェスチャー（isai）の使いかた

本製品を左右に2回振ることで、情報の取得や壁紙を変更するなどの操作ができます。

- 本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握って操作してください。
- モーションジェスチャーの設定やその他のジェスチャー機能については、「ジェスチャーの設定をする」（▶P.223）をご参照ください。

memo

- 正しく振られると端末が振動して通知します。
- 端末を振って、設定したアプリケーションを起動することもできます。（▶P.48「アプリのショートカットを利用する」）

isaiモーションを利用する

■isaiモーションおでかけ

お客様の現在地周辺の情報（グルメ、お得情報、イベント／スポット）を一覧表示することができます。

1 ホーム画面で、本製品を左右に2回振る

「お客様情報の外部送信について」の画面が表示された場合は、内容を確認し、「同意する」をタップします。
「位置情報モード設定」画面が表示された場合は、「設定」をタップして位置情報サービスをオンにしてください。

■isaiモーションアレンジ

着せ替えアプリ「CocoPPa」と連動し、壁紙やアイコンを簡単に変更することができます。

1 ホーム画面 ▶「 ▭ 」をロングタッチ ▶［アプリとウィジェットの追加］

ホーム画面でアイコンなどがない領域をロングタッチしても同様に操作できます。

2 本製品を左右に2回振る

3 ［設定］

「アイコンを元に戻す」にチェックを付ける ▶［設定］と操作すると、変更したアイコンのみ元に戻すことができます。

■isaiモーションアルバム

「ギャラリー」の複数の画像を、1枚の画像にコラージュ編集することができます。

1 ホーム画面 ▶［ ⊞ ］▶［カメラ・写真］▶［ギャラリー］▶ アルバムを選択

2 本製品を左右に2回振る

振るたびに組み合わせが変わります。

3 コラージュの形状を選択 ▶［作成］

アプリのショートカットを利用する

端末を振って設定したアプリケーションを起動できます。

- あらかじめジェスチャーの設定で「アプリのショートカット」を有効にする必要があります。
  ホーム画面 ▶「 ▭ 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［ジェスチャー］▶［isai］▶［アプリのショートカット］と操作し、「 ⚙ 」をタップして起動するアプリケーションを選択してください。

1 本製品を左右に2回振る

設定したアプリケーションが起動します。

ホーム画面とメインメニュー

ホーム画面の見かた

ホーム画面は複数のデスクトップで構成されています。デスクトップを追加してショートカットやウィジェット、フォルダを追加することができます。

❶ ステータスバー
❷ クイック検索ボックス（ウィジェット）
❸ スマートNoti（ウィジェット）
現在時刻や気象情報、端末情報などのお知らせ（カード通知）を表示します。
❹ ショートカット／フォルダ
❺ アプリ
メインメニューが開き、アプリケーション一覧が表示されます。
❻ クイックメニュー
❼ デスクトップ
❽ ホームタッチボタン

戻るキー
1つ前の画面に戻ります。

ホームキー
ホーム画面を表示します。

タスクキー
起動中のアプリケーション一覧を表示します。また、ロングタッチすると各種設定ができます。

memo

- ホームタッチボタンのアイコン領域から上へスワイプし、表示されたアイコンへドラッグすると次のアプリケーションを起動できます。
  ：isaiマガジン（▶P.54）
  ：お気に入り（お気に入りに登録されている連絡先（▶P.82）を表示）
  ：Google検索（▶P.53）
  ：Qメモ+（▶P.193）

ホーム画面を利用する

デスクトップを切り替える

左右にスライド／フリックすることで、デスクトップを切り替えることができます。

- 画面下部には、現在の表示位置を示すインジケーターが表示されます。

memo

- ホーム画面でピンチインすると、サムネイルが表示され、デスクトップの追加／削除や並べ替えなどの操作ができます。
- ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「表示」タブ▶［ホームスクリーン］と操作し、「LGフィットネス」にチェックを付けると、健康管理をサポートする「LGフィットネス」アプリケーションのデスクトップが追加されます。

ホーム画面を切り替える

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［ホーム画面設定］▶［ホーム選択］

2 以下の項目をタップ

ホーム	お買い上げ時のホーム画面です。一般的なスマートフォンの操作方法で利用できます。
easyホーム	電話をかけるときのダイヤルキーや、よく使うアプリだけを表示したホーム画面です。
auベーシックホーム	スマート操作で共通化したau提供のホームアプリです。

memo

- 「easyホーム」からお買い上げ時のホーム画面へ戻すには、ホーム画面 ▶［アプリ］▶［設定］▶「表示」タブ ▶［ホームスクリーン］▶［ホーム選択］▶［ホーム］と操作します。
- 「auベーシックホーム」からお買い上げ時のホーム画面へ戻すには、ホーム画面 ▶［設定］▶［ホームスクリーン］▶［ホーム選択］▶［ホーム］と操作します。

アプリケーションを利用する

アプリケーションのアイコンをタップすると、アプリケーションが起動します。

memo

- アプリケーションのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

ホーム画面のメニューを利用する

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

アプリとウィジェットの追加	ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加したり、壁紙を変更できます。
テーマ	テーマを変更できます。
ホーム画面設定	ホームスクリーンの設定を変更できます。
ロック画面設定	画面ロックの設定を行います。
システム設定	各種設定を行います。

ショートカット／ウィジェットを追加する

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［アプリとウィジェットの追加］

ホーム画面でアイコンなどがない領域をロングタッチしても同様に操作できます。

2 以下の項目をタップ

アプリ	アプリケーションのショートカットを作成します。
ウィジェット	カレンダーや音楽などのウィジェットを追加できます。 また、設定メニューのショートカットを追加できます。
壁紙	ギャラリー、マルチフォト、ライブ壁紙、写真などから選択します。

3 **ショートカット／ウィジェットを追加したい位置へドラッグ**

左／右端にドラッグすると、隣のデスクトップに表示が切り替わります。

memo

- デスクトップを左右にスライド／フリックすると、デスクトップを切り替えることができます。
- 表示しているデスクトップに空きスペースがない場合などは追加できません。
- ライブ壁紙を設定中は、電池の消耗が激しくなります。
- ショートカットのアイコンをロングタッチし、指を離すとアイコン右上に が表示され、タップするとアイコンのデザインを変更できます。

フォルダを追加する

1 **フォルダに格納するアプリ／ショートカットをロングタッチ**

2 **別のアプリ／ショートカットの上へドラッグして、指を離す**

アプリ／ショートカットがフォルダに格納されます。
左／右端にドラッグすると、隣のデスクトップに表示が切り替わります。

memo

フォルダについて

- フォルダを選択 ▶ フォルダ上部のフォルダ名をタップすると、フォルダ名や色を変更できます。
- フォルダをロングタッチし、指を離すとフォルダの周りに枠が表示されます。枠の四隅をドラッグするとフォルダサイズを変更できます。

アプリ／ショートカットをフォルダから取り出すには

- フォルダを選択 ▶ フォルダ内のアプリ／ショートカットをロングタッチ ▶ フォルダの外へドラッグして指を離すことで、フォルダから取り出すことができます。

ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

1 **移動または削除するショートカット／ウィジェット／フォルダをロングタッチ**

■移動する場合

移動する位置へドラッグして、指を離す

- 左／右端にドラッグすると、隣のデスクトップに表示が切り替わります。

■削除する場合

画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す

メインメニューを利用する

インストールされているアプリケーションがアイコンで表示されます。アイコンを選択して、アプリケーションを起動できます。
アプリケーションアイコンは、利用頻度に応じて色が変化します。これにより、必要なものをすばやく見つけることができます。

1 ホーム画面 ▶ [ ]

メインメニューが表示されます。

メインメニューに表示されるアプリケーションなどについては、「アプリケーション一覧」（▶P.165）をご参照ください。

メインメニューのレイアウトを変更する

メインメニューに表示するアイコンのサイズを変更できます。

1 メインメニュー ▶ [ ] ▶ [大きなアイコン] ／ [小さなアイコン] ▶ [はい]

メインメニューのアイコンを移動する

メインメニューのアイコンを移動することができます。

1 メインメニュー ▶ [ ] ▶ [アプリの編集／削除]

2 移動するアイコンをロングタッチ

3 移動する位置までアイコンをドラッグして、指を離す

クイックメニューを利用する

よく使うアプリケーションをクイックメニューに追加すると、ホーム画面からアプリケーションを起動できるようになります。
クイックメニューには最大6件までアイコンを配置できます。
お買い上げ時には、（電話）、（インターネット）、（Eメール）、（カメラ）が登録されています。

1 メインメニュー ▶ クイックメニューに追加したいアイコンをロングタッチ

2 アイコンをクイックメニューまでドラッグして、指を離す

アイコンがクイックメニューに追加されます。すでに登録されているクイックメニューのアイコンの上で指を離すと、アイコンがフォルダに格納されます。

memo

- のアイコンは、フォルダに格納したり、削除することはできません。
- クイックメニューのアイコンをロングタッチし、指を離すとアイコン右上に が表示され、タップするとアイコンのデザインを変更できます。

起動中のアプリケーションを一覧表示する

アプリケーションを起動中に をタップするなどして利用を中断したり、利用するアプリケーションを切り替えたりすると、利用していたアプリケーションはバックグラウンドで処理を継続、または一時停止状態となります。
起動中アプリ一覧画面を表示して、利用するアプリケーションを切り替えたり、アプリケーションを終了したりできます。

1 ホーム画面 ▶ [ ]

起動中アプリ一覧画面が表示されます。

■ 利用するアプリケーションを切り替える場合

2 アプリケーションをタップ

■ アプリケーションを終了する場合

2 アプリケーションを左右にフリック

アプリケーションをロングタッチ ▶［リストから削除］と操作しても終了できます。
すべてのアプリケーションを終了する場合は「すべて消去」をタップします。

memo

- 複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
- 複数のアプリケーションを起動しているときなど、本体の実行用メモリが不足すると、サムネイルが表示されない場合があります。
- バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。

スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

1 電源キーと音量キー（DOWN）を同時に1秒以上押す

撮影したスクリーンショットは、ホーム画面 ▶［ ］▶［カメラ・写真］▶［ギャラリー］▶［ ］▶［Screenshots］で見ることができます。

memo

- 「スクリーンショットシェア」（▶P.173）を利用してもスクリーンショットを撮ることができます。

クイック検索ボックスを利用する

本製品内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面 ▶ クイック検索ボックスをタップ

クイック検索ボックス画面が表示されます。初回起動時は「Google Nowを使ってみる」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
ホーム画面 ▶［ ］▶［Google］▶［Google］と操作しても、クイック検索ボックス画面を表示できます。
クイック検索ボックス画面で「 」をロングタッチ ▶［設定］▶［端末内検索］と操作すると、端末内検索の対象とするアプリケーションを設定できます。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの［ ］

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

- 一覧表示された項目の ⇱ をタップすると、選択した項目が、検索ボックスに入力されます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 クイック検索ボックス画面 ▶ [🎤]

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口（マイク）に向かってキーワードを話す

検索候補が一覧表示されます。
一覧表示から項目を選択すると、ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

クイック検索ボックスを設定する

1 クイック検索ボックス画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [設定]

2 以下の項目をタップ

Google Now	Google NowのON／OFFを設定します。
端末内検索	端末内の検索対象を設定します。
音声	音声検索の設定を行います。
アカウントとプライバシー	Googleアカウントの設定やプライバシーに関する各種設定を行います。
通知※	通知のON／OFF、および通知の種類を設定します。

※ Google NowがONの状態でのみ表示されます。

isaiマガジンを利用する

あらかじめ登録したキーワードに関連するサービス情報（ニュース、エンタメ、SNS、ショッピング）を自動的に収集し表示します。

- キーワードは3件まで登録できます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ニュース・天気] ▶ [isaiマガジン]

サービス情報一覧画面が表示されます。
ホームタッチボタンのアイコン領域から上へスワイプし、 へドラッグしてもサービス情報一覧画面を表示できます。

- Twitterアカウントの追加画面などが表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 サービス情報をタップ

■キーワードを切り替える

1 サービス情報一覧画面 ▶ [☰] ▶ キーワードをタップ

キーワードを設定する

1 サービス情報一覧画面 ▶ [⋮] ▶ [設定]

- キーワードの追加画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「保存」をタップしてください。

2 「キーワード」タブ

■キーワードを登録する場合

3 [+] ▶ キーワードを入力 ▶ [保存]

登録したキーワードに関連するサービス情報が表示されます。

■キーワードを削除する場合

3 [🗑] ▶ 削除するキーワードにチェックを付ける ▶ [削除] ▶ [はい]

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。
また、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルが表示されます。

■ 通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（PCメール）
	新着メールあり（Gmail）
	新着SMSあり
	アラーム鳴動中、スヌーズ中
	カレンダーの予定通知あり
／／	ワンセグ起動中／フルセグ起動中／テレビ録画中
	音楽再生中
	着信中
	auのVoLTE対応電話機との高音質通話時に表示
	本体の空き容量が少ないとき
	USB接続中、USBテザリング中
	データのアップロード、ファイルの送信 • ファイル送信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ、アプリケーションのダウンロード中、ダウンロード完了、インストール中、ファイル受信中、ファイル受信完了、ファイル受信失敗 • アプリケーションのインストール中、ファイル受信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	利用可能なアップデートあり
	Google Playでインストール完了、または更新完了
	VPN接続中

アイコン	概要
	メジャーアップデート（OSアップデート）更新あり
	まとめられたアイコンあり • まとめられたアイコンは通知パネルで確認できます。
	Wi-Fi®テザリング中 • アイコンの右下に接続台数が表示されます。
	Bluetooth®テザリング中
	スクリーンショット設定を有効に設定中

■ ステータスアイコンの例

アイコン	概要
10:00	時刻
	アラーム設定あり
	電池レベル状態 十分／充電が必要／2%以下／充電中 •「十分」以外の充電中のアイコンはアニメーション表示されます。
	機内モード
	電波の強さ（受信電界） レベル4 ／ 圏外
	4G（LTE ／ WiMAX 2+）※データ通信状態
	ローミング中
あ AB 12 カナ A 1 カ	文字種 あ ひらがな漢字入力／ AB 半角英字入力／ 12 半角数字入力／ カナ 半角カタカナ入力／ A 全角英字入力／ 1 全角数字入力／ カ 全角カタカナ入力
	バイブレートのみ設定中

アイコン	概要
	サイレント設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4 ／ レベル0
	Bluetooth®利用中 待機中／ 接続中
／	GPS利用中／取得中
	データ同期中
	マイク付きイヤホン、LG TVアンテナケーブル01挿入状態
	イヤホン挿入状態
	NFC機能利用中

※ 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認したり、対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 ステータスバーを下方向にスライド

❶ **日付と時刻**
日付と時刻を表示します。

❷ **クイック設定**※
Qメモ+、サウンドプロフィール、位置情報、Wi-Fi®などをタップして起動や設定の変更が行えます。

❸ **画面の明るさ**

❹ **ボリューム**
⚙ をタップすると、通知音や音楽、動画再生時などの音量を設定できます。

❺ **設定**
システム設定画面が表示されます。

❻ **消去**
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。
通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

❼ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

❽ **閉じるバー**
上方向にスライドすると通知パネルを閉じます。

※ 左右にスライドすると、表示されていないアイコンを表示できます。

通知LEDについて

LED点灯／点滅と通知内容について

通知LEDの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信などをお知らせしたりします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
緑の点滅	着信時、不在着信、通知メッセージがあることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。
虹色の点滅	アラーム鳴動中であることを示します。

※「通知表示LED」（▶P.209）の「ダウンロードアプリ」にチェックを付けると、ダウンロードアプリからのLED通知が表示されます。LED通知の色は、ダウンロードアプリによって異なります。チェックを外すとダウンロードアプリからのLED通知は表示されません。

通知内容を個別に設定する

1 ホーム画面 ▶「 ▭ 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「表示」タブ ▶［通知表示LED］

2 通知する項目にチェックを付ける

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

ご使用時に本製品の向きを変えると、自動的に縦横表示を切り替えることができます。

例：縦（横）表示から左（右）に90°回転した場合

memo

- 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- 縦横表示を切り替えるかどうかは、「縦横表示の自動回転」（▶P.209）で設定できます。
- アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

利用できるメニューを表示する

■ オプションメニューについて

オプションメニューは、「⋮」などをタップすると表示されるメニューです。

例：メインメニューの場合

基本操作

■ コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：インターネットのブックマークの場合

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 [ ]

3 ブックマークをロングタッチ

ロックを解除する

「画面のロック」で制限した機能を利用するときや、データを全件削除するときなど、重要な操作を行うときは、「ノックコード／パターン／ PIN ／パスワード」の入力を求められます。(▶P.23「ご利用いただく各種暗証番号について」)

「画面ロック解除」の設定（▶P.216）を変更することで、PINの代わりに指リストパターンやパスワードを使用することができます。

■ スワイプ

1 スワイプが必要な操作をする

2 円の外までスライドする

■ フェイスアンロック

1 顔認証が必要な操作をする

2 画面の中心に顔が映るようにする

■ ノックコードを入力する

1 ノックコードが必要な操作をする

2 ノックコードを順番にタップ

■ パターンで入力する

1 パターンの入力が必要な操作をする

2 パターンを入力

■ PINを入力する

1 PINの入力が必要な操作をする

2 PINを入力 ▶ [OK]

■ パスワードを入力する

1 パスワードの入力が必要な操作をする

2 パスワードを入力 ▶ [完了]

memo

・ PIN／パターン／パスワードの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」を選択し、入力可能になったら再入力してください。

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン	説明
☑	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

ラジオボタンを利用する

設定項目の横にラジオボタンが表示されているときは、ラジオボタンをタップすることで設定を有効に切り替えることができます。
複数の設定項目のうち1件だけ項目を選択できます。

アイコン	説明
◉	設定が有効／項目が選択されている状態です。
●	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

スイッチを利用する

設定項目の横にスイッチが表示されているときは、スイッチをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。

アイコン	説明
	設定が有効な状態です。
	設定が無効な状態です。

Clean Viewを利用する

本製品では、設定や機能を利用するための多数のアイコンなどが画面に表示されていると操作しづらい場合に、よく使う機能以外の項目を非表示にすることができます。
連絡先、ギャラリーで利用できます。

アイコン	説明
	タップするごとに表示／非表示を切り替えます。

文字入力

文字入力について

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

ソフトウェアキーボードを切り替える

本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

10キーキーボード	文字入力キーをタップするたびに文字を切り替え、文字を入力します。
QWERTYキーボード	文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。ローマ字で文字を入力します。
手書き変換	手書きで文字を入力します。
Google音声入力	音声入力することができます。

1 **文字入力画面 ▶「 」をロングタッチ**

クイック検索ボックスの場合は、 ／ をロングタッチします。

2 **［ ］／［ ］**

memo

- お買い上げ時には、入力ソフトとして「LG 日本語キーボード」がインストールされています。
- LG 日本語キーボードでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定するには、文字入力画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［ ］▶［キーボード設定］▶［タッチフィードバック］と操作します。

10キーキーボードで入力する

キーを上下左右にフリックすることで、各行の入力したい文字を入力できます。

■ フリック入力について

ソフトウェアキーボード「10キーキーボード」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を表示することができます。
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。

例）「お」を入力する例で説明します。

1 **「 」をロングタッチ**

が表示されます。

2 **下方向にフリック**

「お」が入力されます。

3 **必要に応じて変換候補をタップ**

QWERTYキーボードで入力する

入力したい文字の文字入力キーをタップします。「ひらがな漢字」の場合は、ローマ字入力になります。

文字入力画面の見かた

《文字入力画面
（10キーキーボード）》

《文字入力画面
（QWERTYキーボード）》

※ ひらがな漢字入力中のキー表示です。

❶ 文字入力エリア

❷ 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト

文字を入力して をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。

- をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、 をタップします。

❸ 音声入力キー／バックキー

：音声入力モードに切り替わります。ロングタッチでキーボードの切り替え、手書き入力、クリップボード、キーボード設定の選択画面が表示されます。

：10キーキーボード入力時に、同じキーに割り当てられた文字を逆順に表示します。フリック入力では、バックキーを利用できません。

memo

- ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［言語と入力］で、Google音声入力のチェックを外すと音声入力キー（ ）の代わりにキーボードキー（ ）が表示されます。

❹ カーソルキー

カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。 をロングタッチすると、文字選択やコピーなどが簡単にできる十字キーモードになります。 をタップすると、元のキーボードが表示されます。

❺ 絵文字・記号・顔文字キー／英数・カナキー

：絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。

：入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

：全角数字入力時に表示されます。

：半角数字入力時に表示されます。

- ロングタッチすると入力拡張プラグイン選択画面を表示できます。

❻ 文字種切替キー

入力する文字種を切り替えます。
文字種を切り替えると、表示が次のように変更されます。

：ひらがな漢字入力　　：全角カタカナ入力※
：半角カタカナ入力※　　：全角英字入力※
：半角英字入力　　：全・半角数字入力※

※「 」をロングタッチ ▶［ ］▶［入力モード切替］で選択できます。

- ロングタッチするとキーボードスタイル、入力言語を選択できます。
- キーボードスタイルの変更では、画面が縦表示の場合は片手操作モード、画面が横表示の場合はスプリットキーボードに切り替えることができます。詳しくは、「 」をロングタッチ ▶［ ］▶［キーボード設定］▶［ヘルプ］をご参照ください。
  デュアルウィンドウ（▶P.195）の場合は、画面上で位置を移動できるフローティングキーボードに切り替えることもできます。

⑦ 括弧キー／大文字・小文字・濁点・半濁点切替キー※

「」：括弧を入力します。

大゛゜小：ひらがな／カタカナ入力時にタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点をつけたりします。

A/a：英字入力時にタップすると、英字を大文字／小文字に切り替えます。

※ フリック入力はできません。

⑧ ソフトウェアキーボード

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑨ DELキー

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。カーソルが文頭にある場合は、文字は削除されません。

⑩ 変換キー／スペースキー

変換：ひらがな入力中は通常変換候補リストを表示します。

␣：スペースを入力します。

⑪ 確定キー／改行キー

確定：入力中の文字を確定します。

↵：カーソルの位置で改行します。
アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑫ シフトキー

シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。
タップするたびに、表示が次のように変更されます。

⇧：小文字入力　⇧：大文字入力ロック

⬆：大文字入力

また、半角数字入力時に 1/2 ／ 2/2 をタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測／予測変換の機能を利用して入力することもできます。

例：「東京」と入力する場合

1 文字入力画面で「とうきょう」と入力

2 [変換]

3 [東京]

■ ワイルドカード予測を利用する

読みの文字数から予測変換の候補を表示し、入力できます。ワイルドカード予測を使用するには、あらかじめ「LG 日本語キーボード」の設定で「ワイルドカード予測」にチェックを付けて、設定を有効にしてください。

例：「テレビ」と入力する場合

1 文字入力画面で「て」と入力

2 [→] ▶ [→]

→ をタップするたびに「○」が入力され、文字数に合わせた予測変換の候補が予測変換候補リストに表示されます。

3 [テレビ]

memo

予測変換について

- 予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ ▶ ［学習削除］と操作すると、学習した変換候補を削除できます。
- ひらがな入力中に 変換 をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。 ⌫ をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [⚙] ▶ [入力モード切替]

2 入力モードを選択

memo

- をタップするたびに、「半角英字入力」▶「ひらがな漢字入力」の順に切り替わります。
- 操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

絵文字／記号／顔文字を入力する

1 文字入力画面 ▶ [ ]

数字／記号の入力画面が表示されます。

2 [ ]

3 [絵文字] ／ [記号] ／ [顔文字]

絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。

memo

- 10キーキーボード入力時は、 を右にスワイプしても絵文字／記号／顔文字一覧画面を表示できます。

音声で入力する

1 文字入力画面 ▶ [ ]

メッセージが表示された場合は、「OK」をタップしてください。

2 送話口（マイク）に向かって話す

処理が完了すると文字が入力されます。

memo

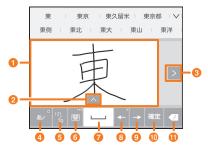
- 音声入力を使用するには、あらかじめ「LG 日本語キーボード」の設定で「音声入力」（▶P.68）にチェックを付けて、設定を有効にしてください。

手書きで入力する

例：「東京」と入力する場合

1 文字入力画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [✎]

2 手書きで「東」と入力

3 予測変換候補リストで「東京」

❶ **文字入力エリア**

❷ **認識文字切り替えキー**

認識された文字の別候補を表示します。

❸ **スクロールキー**
文字入力エリアをスクロールします。

❹ **入力モード／実行モードキー**
手書きで認識する入力モードを選択したり、実行モードを切り替えることができます。
- ロングタッチすると手書き入力の設定ができます。

❺ **絵文字・記号・顔文字キー**
絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。

❻ **キーボードタイプ切り替えキー**
キーボードに変更します。

❼ **スペースキー**
スペースを入力します。

❽ **左カーソルキー**
カーソルを左へ移動します。ロングタッチすると、文字選択やコピーなどが簡単にできる十字キーモードになります。 閉じる をタップすると、手書き入力に戻ります。

❾ **右カーソルキー**
カーソルを右へ移動します。

❿ **確定／改行キー**
入力中の文字列を確定したり、改行を入力することができます。

⓫ **DELキー**
入力した文字を削除します。ロングタッチすると削除モードを変更できます。

：文字入力エリアの文字を一筆ずつ削除します。
A：文字入力エリアの文字を一文字ずつ削除します。
：文字入力エリアの文字をすべて削除します。

文字入力の便利な機能を利用する

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

■ **文字を選択して切り取り／コピーする場合**

1 文字入力画面で文字入力エリアをロングタッチ
以下のメニューが表示されます。

すべて選択	文字入力エリアのすべての文字を選択します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
スクラップ※	選択した文字列をQメモ+に保存します。
貼り付け	選択した文字列にペーストします。
共有※	選択した文字列をBluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って共有します。
検索※	選択した文字列を表示されている画面で検索します。
ウェブ検索※	選択した文字列をウェブ上で検索します。
クリップボード	選択した文字列をクリップボードに保存します。

※ 状況により表示されない場合もあります。

2 「 」／「 」をスライドして範囲を選択

3 ［切り取り］／［コピー］

4 貼り付ける位置をタップ ▶ ロングタッチ ▶ ［貼り付け］

入力ソフトを切り替える

1 文字入力画面 ▶「 🎤 」をロングタッチ ▶ [⚙] ▶ [入力方法]

2 以下の項目をタップ

Google音声入力	音声で文字を入力します。
日本語 LG 日本語キーボード	主にひらがな／漢字／カタカナを入力する場合に選択するソフトウェアキーボードです。

memo

- 文字入力画面で通知パネルを開き、「入力方法の選択」をタップしても入力ソフトを切り替えることができます。
- 入力ソフトは、アプリケーションをインストールして利用することもできます。インストール後に、「言語と入力」でアプリケーションを有効にしてください。アプリケーションのインストール方法については、「Google Playを利用する」（▶P.169）をご参照ください。

入力拡張プラグインを利用する

入力拡張プラグインを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面 ▶「 🎤 」をロングタッチ ▶ [⚙] ▶ [キーボード設定] ▶ [入力拡張プラグイン] ▶ [使用する]

メッセージが表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップしてください。

■入力拡張プラグインを選択する

1 文字入力画面 ▶「 ☺ 」をロングタッチ

文字入力画面で「 🎤 」をロングタッチ ▶ [⚙] ▶ [入力拡張プラグイン] と操作しても入力拡張プラグイン選択画面を表示できます。

2 使用する入力拡張プラグインを選択

memo

- 入力拡張プラグインは、アプリケーションをインストールして利用します。アプリケーションのインストール方法については、「Google Playを利用する」（▶P.169）をご参照ください。
- 通常変換候補リスト／予測変換候補リストで候補をロングタッチ ▶ [拡張] と操作し、入力拡張プラグインを選択しても起動できます。

キーボードテーマを変更する

1 文字入力画面 ▶「 🎤 」をロングタッチ ▶ [⚙] ▶ [キーボードテーマ]

■テーマを選択する場合

2 利用するテーマをタップ ▶ [OK]

■テーマを追加する場合

2 [⬇]

SmartWorldのサイトに接続します。SmartWorldからテーマをダウンロードすることができます。

- ご利用になるには、LGアカウントを設定する必要があります。

入力に関する設定を行う

LG 日本語キーボードでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［ ］▶［キーボード設定］

LG 日本語キーボード設定画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

キーボード設定（共通）	
入力言語及びキーボード種類	入力言語の設定や画面の向き、入力モードごとに使用するキーボードの種類を設定できます。
候補	候補学習、入力ミス補正、ワイルドカード予測などの設定を行います。
自動大文字変換	英字入力の際、文頭文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
ピリオド自動挿入	英字入力の際、 をダブルタップすると、ピリオドを挿入します。
タッチフィードバック	文字入力の際のキーポップアップ、キー操作音、バイブレートを設定します。
音声入力	音声入力を使用するかどうかを設定します。（▶P.65）
手書き入力	手書き入力の設定をします。
10キーキーボード	10キーキーボードに関する設定ができます。
フルスクリーンモード	横画面表示のときに、文字入力欄を広げて表示するかどうかを設定します。

詳細設定	
キーボードテーマ	キーボードのテーマを選択します。 をタップすると、SmartWorld※からテーマをダウンロードできます。
スプリットキーボード	横画面表示のときに、キーボードの画面を分割表示にするかどうかを設定します。
片手操作モード	縦画面表示のときに、LG 日本語キーボードの位置を左右にし、片手で操作できるように設定します。
外部アプリケーション	
入力拡張プラグイン	入力拡張プラグインを使用するかどうかを設定します。（▶P.67）
辞書	
ユーザー辞書	ユーザー辞書の単語を編集できます。
ダウンロードユーザー辞書	ユーザー辞書を追加できます。 をタップすると、SmartWorld※から辞書をダウンロードできます。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて消去します。
リセット	
設定リセット	文字入力の設定をリセットします。
IMEについて	
ヘルプ	キーボードのヘルプを表示します。
キーボードバージョン	LG 日本語キーボードの詳細情報が表示されます。 この項目は、タップしても設定できません。

※ ご利用になるには、LGアカウントを設定する必要があります。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 **文字入力画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [ ] ▶ [キーボード設定] ▶ [ユーザー辞書] ▶ [日本語ユーザー辞書] ／ [英語ユーザー辞書]**

日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 **[ ] ▶ [登録]**

3 **読み／表記を入力 ▶ [保存]**

memo

- 登録した単語を編集する場合は、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語を選択 ▶ [ ] ▶ [編集] と操作します。単語をダブルタップしても編集操作ができます。
- 日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で削除する単語を選択 ▶ [ ] ▶ [削除] ／ [ユーザー辞書全消去] ▶ [OK] と操作すると、選択した単語／すべての単語を削除できます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面 ▶ [📞]

電話番号入力画面が表示されます。

❶ **画面切替タブ**
画面表示を切り替えられます。

❷ **電話番号入力欄**
80桁まで入力できます。

❸ **ダイヤルキー**

❹ **発信キー**
電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタップすると最新の発信履歴が入力されます。

❺ **ボイスパーティー（▶P.73）**

❻ **Qスライド**
画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。

❼ **メニューアイコン**

❽ **削除キー**
最後に入力した数字を削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。

❾ **SMSキー**
SMSを送信できます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [📞]

通話中画面が表示されます。
通話中に音量キー（DOWN ／ UP）を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

4 [終了]

「通話設定」の「連絡先未登録番号追加」（▶P.211）を有効にすると、連絡先に未登録の電話番号との通話終了後に、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。お買い上げ時は無効に設定されています。

memo

- 発信中／通話中に近接センサーをおおうと、画面が消灯します。
- 「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
- 送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。また、緊急通報番号（110、119、118）へ電話をかけると「機内モード」の設定が解除されます。

■ 電話番号入力画面のオプションメニューの場合

1 電話番号入力画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

184追加	電話番号の先頭に「184」を追加します。
186追加	電話番号の先頭に「186」を追加します。
国コード	相手の方の国コードを選択します。
連絡先に追加※	入力した電話番号を連絡先に登録します。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルを設定します。
2秒間の停止を追加※	「,」を入力します。電話番号の後ろに「,」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから約2秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
ウェイト時間の追加※	「;」を入力します。電話番号の後ろに「;」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから「はい」をタップすると番号をプッシュして送信できます。
片手操作モード	片手操作モードにするかどうかを設定します。
タブの編集	タブに表示される項目を選択したり、並べ替えます。
通話設定	▶P.211「通話に関する設定をする」

※ 電話番号が入力された場合のみ表示されます。

通話中の画面操作

保留／保留解除	通話を保留／解除状態にします。
録音／停止	通話中の相手の方の音声と自分の音声の録音を開始／停止します。
終了	通話中の電話を終了します。
ダイヤルキー／非表示	ダイヤルキーを表示／非表示します。
スピーカー	ハンズフリーで通話するかどうかを設定します。
ミュート	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。
Bluetooth	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続／解除します。

■ 📞 をタップした場合

電話画面	通話中画面を表示します。
スピーカー ON ／スピーカー OFF	ハンズフリー通話のON ／ OFFを切り替えます。
終話	通話を終了します。
メディア	利用中の他の機能の音量を調整します。
通話	通話中の音量を調整します。
⚙	▶P.213「シンクコールを設定する」

■ 通話中画面のオプションメニューの場合

1 通話中に［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

別の通話を追加	別の相手に電話をかけます。
連絡先	連絡先を表示します。
メモ	通話中にメモをとることができます。
メッセージ	SMSを送信できます。

ボイスパーティーで電話をかける

複数人（最大30人）で同時に通話できます。

1 電話番号入力画面 ▶［Voice Party］

参加者管理画面が表示されます。

2 電話番号入力 ▶［+］

- をタップすると、連絡先や通話履歴などから参加者を追加できます。
- 参加者を削除するには をタップします。

3 ［発信］

追加した参加者に電話を発信します。

4 すべての通話を終了

- 番号の管理画面でそれぞれの参加者の をタップすると、選択した参加者のみ通話を終了できます。

memo

- ボイスパーティーを利用するにはお申込みが必要です。

履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面 ▶［ ］

電話番号入力画面が表示されます。

2「通話履歴」タブ

履歴一覧画面が表示されます。

3 電話をかけたい相手の［ ］

memo

- 発信履歴／着信履歴はあわせて最大500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。
- 履歴一覧画面で履歴をタップすると、履歴詳細画面が表示されます。履歴詳細画面で電話番号をタップしても電話をかけることができます。

履歴のメニューを利用する

■ 履歴一覧画面のオプションメニューの場合

1 履歴一覧画面 ▶［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

削除	削除したい履歴を選択して削除します。
すべて削除	履歴をすべて削除します。
フィルタ	フィルターを設定します。
タブの編集	タブに表示される項目を選択したり、並べ替えます。
通話設定	▶P.211「通話に関する設定をする」

■ 履歴一覧画面のコンテキストメニューの場合

1 履歴一覧画面で履歴をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先を表示※1	連絡先の詳細内容を表示します。
連絡先に追加※2	電話番号を連絡先に新規登録したり、既存の連絡先に追加登録したりします。
発信前に番号を編集	電話番号を編集して発信します。
電話番号のコピー	電話番号をコピーします。
着信拒否／着信拒否リストから削除	選択した電話番号を着信拒否リストに追加／削除します。
通話履歴の削除	選択した履歴を削除します。
すべての通話履歴を削除	選択した履歴と同じ電話番号の履歴をすべて削除します。

※1　電話番号が連絡先に登録されている場合に表示されます。
※2　電話番号が連絡先に登録されていない場合に表示されます。

■ 履歴詳細画面のオプションメニューの場合

1 履歴詳細画面 ▶［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

削除	選択した履歴を削除します。
着信拒否／着信拒否リストから削除	着信拒否番号リストに電話番号を登録／削除します。
すべての履歴	電話の発着信履歴をすべて表示します。

■ 履歴詳細画面のメニューを利用する

連絡先を表示※1	連絡先の詳細内容を表示します。
連絡先を新規登録／連絡先を更新※2	電話番号を連絡先に新規登録したり、既存の連絡先に追加登録したりします。
	電話をかけます。
	SMSを作成します。
※3	メールを作成します。

※1 電話番号が連絡先に登録されている場合に表示されます。
※2 電話番号が連絡先に登録されていない場合に表示されます。
※3 電話番号とメールアドレスが連絡先に登録されている場合に表示されます。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面で国際アクセスコード、国コード、市外局番、相手の方の電話番号を入力 ▶ [ ]

電話番号入力画面 ▶ [ ] ▶ [国コード] で相手先の国名を選択して国際電話をかけることもできます。

国際アクセスコード※1	国コード（アメリカ）	市外局番※2	相手の方の電話番号
010	1	212	123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日から再びご利用いただけます。また、ご利用停止中も国内通話は通常どおりご利用いただけます。
- 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。

  au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
  - au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
  - 一般電話から 0077-7-111（通話料無料）
  - 受付時間 毎日9：00～20：00

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

- 日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

電話を受ける

1 着信中に［受話］／［スピーカー受話］

「スピーカー受話」をタップするとハンズフリー通話になります。

- スリープモード中やロック画面表示中、シンクコール設定（▶P.213）の「着信時のポップアップ表示」が「OFF」の場合は、着信中に「電話に出る」をスライド（スワイプ）します。

2 通話 ▶［終話］

- 通話中画面で「終了」をタップしても通話を終了できます。
  また、「通話設定」の「連絡先未登録番号追加」（▶P.211）を有効にしていると、通話中画面からの通話終了後に、連絡先に未登録の電話番号を連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。お買い上げ時は無効に設定されています。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、画面に電話番号が表示されます。電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前などの情報が表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、画面に理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

- LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルデータ」（▶P.208）をオフにしてご利用ください。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、電話に出ると録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

着信時の操作

着信中に「電話画面」をタップすると、次の操作ができます。

応答拒否メッセージ	スライド（スワイプ）すると、応答拒否メッセージ（SMS）を送信したり、応答を拒否したりできます。
終了	スライド（スワイプ）すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

memo

- 着信中に電源キーや音量キー（DOWN ／ UP）を押すと、着信音が消音になり、バイブレータを停止します。
- 着信音は、着信直後は小さな音量で鳴り、次第に設定した音量になります。

自分の電話番号を確認する

1 **ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［端末情報］▶［ステータス］**

ステータス画面が表示され、電話番号欄に電話番号が表示されます。

memo

- 連絡先一覧画面 ▶［マイプロフィールをセットアップする］▶ 項目を選択して編集 ▶［保存］と操作すると、連絡先に自分の電話番号などを登録することができます。

連絡先

連絡先を登録する

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [電話・メール] ▶ [連絡先]**

連絡先一覧画面が表示されます。

❶ **連絡先を検索**※
名前や電話番号などを入力して連絡先を検索します。

❷ **連絡先**
登録されている連絡先が表示されます。

❸ **画像**
連絡先に登録されている画像（顔）が表示されます。

❹ **Qスライド**※
画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。

❺ **メニューアイコン**※

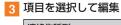
❻ **新規登録**※
連絡先を新規に登録します。

❼ **インデックス**
スライドして連絡先を検索します。

※ 表示されていない場合は、 をタップすると表示されます。

2 **[+]**

連絡先を新規登録する画面が表示されます。

3 **項目を選択して編集**

連絡先種別		登録先を選択できます。
（顔）	**写真を撮影**	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	ギャラリーから選択	ギャラリーに保存されている画像を登録します。
名前	**姓**	名前を登録します。
	名	
	姓のよみがな	
	名のよみがな	
電話		携帯電話などの電話番号を登録します。
Eメール		メールアドレスを登録します。
住所		住所を登録します。 • をタップすると地図から住所を選択できます。
グループ		グループを設定します。
着信音		着信時の音を設定します。
通知表示LED		通知LEDの色を設定します。
別のフィールドを追加	**組織**	会社や役職を登録します。
	IM	チャットアドレスを登録します。
	メモ	メモを登録します。
	ニックネーム	ニックネームを登録します。
	ウェブサイト	URLを登録します。
	予定	誕生日や記念日などの予定を登録します。

4 ［保存］

memo

- 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 連絡先編集画面 ▶［新規追加］／［ ⊗ ］と操作すると、項目を追加／削除できます。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 複数の電話番号／メールアドレス／住所を登録している場合、連絡先詳細画面にて通常使用する電話番号／メールアドレス／住所をロングタッチ ▶［デフォルト番号として設定］／［デフォルトのメールアドレスに設定］／［デフォルトの住所に設定］と操作してデフォルトの電話番号／メールアドレス／住所を設定します。
- 項目によっては種別を変更できる場合があります。項目の右側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」を選択すると、入力した文字列を種別として登録できます。
- 名前をアルファベットを含む半角英数字のみで登録すると、連絡先では名､姓の順に表示されます。ただし､連絡先一覧画面 ▶［ ⋮ ］▶［設定］の表示オプションの設定内容により表示が変わります。
- 連絡先で着信音設定されている電話番号であっても、相手の方から電話番号の通知がない場合は､「着信音」の設定は有効になりません。
- ︿ をタップすると、よく使う機能以外の項目の表示／非表示を切り替えることができます。

他の機能から連絡先に登録する

他の機能で表示した電話番号を連絡先に登録できます。

例：「電話」アプリから登録する場合

1 **他の機能で連絡先に登録する電話番号をタップ**

- アプリケーション選択画面が表示された場合は、「電話」をタップしてください。

2 **「電話」の電話番号入力画面にタップした電話番号が表示されたら、［連絡先を新規登録］／［連絡先を更新］**

memo

- 他の機能で電話番号をタップしたときにコンテキストメニューが表示された場合は、「アドレス帳登録」をタップしてください。

グループを設定する

グループの追加、リネーム、削除を設定できます。

- 「アカウントと同期」を利用してGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [電話・メール] ▶ [連絡先] ▶「グループ」タブ

グループ一覧画面が表示されます。

2 [ ]

3 以下の項目をタップ

新しいグループ	グループを追加します。 グループ名を入力 ▶ [メンバー追加] ▶ 登録するメンバーにチェックを付ける ▶ [追加] ▶ [保存]
削除	グループを削除します。
共有	グループに登録されている連絡先を、赤外線、Bluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って共有します。
順番を変更	グループの順番を並べ替えます。
タブの編集	タブに表示される項目を選択したり、並べ替えます。
設定	連絡先の設定をします。

memo

- グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

■グループを編集する

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 [グループを編集]

グループ名、グループ着信音などが編集できます。

3 [保存]

■グループを削除する

- お買い上げ時に登録されているグループは削除できません。

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 [グループの削除] ▶ [はい]

■グループを共有する

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 [グループの共有] ▶ 共有する方法を選択

グループに登録されている連絡先を赤外線、Bluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って共有します。

グループ詳細画面のメニューを利用する

1 **グループ一覧画面でグループを選択**

グループ詳細画面が表示されます。

2 **[⋮]**

3 **以下の項目をタップ**

グループを編集	グループ名、グループ着信音などが編集できます。
共有	グループに登録されている連絡先を、赤外線、Bluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って共有します。
メールを送信	グループに登録されている連絡先に、EメールまたはGmailを使って送信します。
グループの削除	グループを削除します。 削除できないグループもあります。
リスト表示／グリッド表示	グループメンバーの表示設定を変更します。リスト表示では、連絡先一覧画面と同じ表示になります。グリッド表示では、一画面に6人（3行2列）の連絡先が表示されます。

連絡先の登録内容を利用する

連絡先の登録内容を利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 **連絡先一覧画面で連絡先を選択**

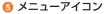
連絡先詳細画面が表示されます。

❶ **画像**
連絡先に登録されている画像が表示されます。

❷ **登録内容**
すべての登録内容を確認／利用できます。

❸ **連絡先を編集**
連絡先を編集できます。

❹ **スター**
お気に入りに登録されているかどうかが表示されます。
お気に入りに登録されている場合は、スターが黄色で表示されます。タップすると、お気に入りの登録／解除が切り替わります。

❺ **メニューアイコン**

❻ **アクションアイコン**
連絡先にメールを送信するなどの操作ができます。

memo

- アクションアイコンをタップすると次の機能を呼び出すことができます。

アクションアイコン	説明
	選択した電話番号を宛先としてSMSを作成します。
	選択したメールアドレスを宛先としてメールを作成します。
	選択したウェブサイトにアクセスします。
	選択した住所をもとにGoogleマップが起動します。

電話番号を利用する

■ 電話番号に発信／SMSを送信する場合

1 連絡先詳細画面で発信する電話番号をタップ／SMSを送信する電話番号の［ ］

選択した相手に発信、またはSMSを送信することができます。

■ 電話番号を設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用する電話番号をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先転送	選択した電話番号をSMSで転送します。
デフォルト番号として設定／デフォルトの電話番号を解除※	選択した電話番号を通常使用する電話番号に設定／解除します。
クリップボードにコピー	選択した電話番号をコピーします。

※ 複数の電話番号を登録している場合に表示されます。

メールアドレスを利用する

■ メールアドレスにメールを送信する場合

1 連絡先詳細画面でメールを送信するメールアドレスの［ ］

送信方法選択画面が表示されるので、送信方法を選択します。

■ メールアドレスを設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用するメールアドレスをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先転送	選択したメールアドレスをSMSで転送します。
デフォルトのメールアドレスに設定／デフォルトのメールアドレスを解除※	選択したメールアドレスを通常使用するメールアドレスに設定／解除します。
クリップボードにコピー	メールアドレスをコピーします。

※ 複数のメールアドレスを登録している場合に表示されます。

ウェブサイトを利用する

1 連絡先詳細画面で利用するウェブサイトの［ ］

アプリケーションを選択画面が表示されるので、アプリケーションを選択します。

- URLをロングタッチすると「クリップボードにコピー」が表示されます。

住所を利用する

■ 住所から地図を表示する場合

1 連絡先詳細画面で利用する住所の［ ］

住所をもとにGoogleマップが起動します。

■ 住所を設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用する住所をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

デフォルトの住所に設定／デフォルトの住所を解除※	通常使用する住所に設定／解除します。
クリップボードにコピー	住所をコピーします。

※ 複数の住所を登録している場合に表示されます。

連絡先のメニューを利用する

連絡先一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 連絡先一覧画面 ▶［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

電話帳をauサーバに保存/同期	Friends Noteを起動し、連絡先のサーバーへの保存・同期を設定できます。
削除	選択した連絡先を削除します。
共有	赤外線、Bluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って、連絡先を共有します。
メールを送信	連絡先一覧からメールの送信先を選択してメールを送信します。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルに割り当てます。
連絡先の管理	連絡先をコピーしたり、インポート／エクスポート、統合します。
タブの編集	タブに表示される項目を選択したり、並べ替えます。
設定	連絡先の設定をします。

■ コンテキストメニューの場合

1 連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先を編集	選択した連絡先を編集します。
連絡先を削除	選択した連絡先を削除します。
連絡先転送	選択した連絡先の名前と電話番号、メールアドレスをSMSで転送できます。
発信前に番号を編集	電話番号を編集してから発信できます。
ホーム画面に追加	ホーム画面に連絡先／発信／メッセージを送る（SMS）のショートカットを作成します。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選択した連絡先をお気に入りに追加／削除します。

連絡先詳細画面のメニューを利用する

1 連絡先詳細画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

削除	連絡先を削除します。
共有	Bluetooth®、Eメール、Gmail、赤外線などを使って、連絡先を共有します。
統合	連絡先を選択して統合します。
分割※1	統合した連絡先を分割します。
デフォルトとして設定※2	デフォルトの名前や電話番号、メールアドレス、住所を設定します。
デフォルトグループに追加※3	Googleアカウントのデフォルトグループに追加します。
エクスポート	au Nano IC Card 04、microSDメモリカード、内部ストレージにエクスポートします。
ホーム画面に追加	ホーム画面に連絡先／発信／メッセージを送る（SMS）のショートカットを作成します。

※1　統合した連絡先を選択したときのみ表示されます。
※2　電話番号、メールアドレスまたは住所が複数登録されている場合に表示されます。
※3　登録先がGoogleアカウントで、Googleアカウントのデフォルトグループ以外のグループに登録されている場合に表示されます。

連絡先を編集する

1 連絡先詳細画面 ▶ [✎]

2 編集したい項目を編集

3 [保存]

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先を内部ストレージ／microSDメモリカード／au Nano IC Card 04から、インポート／エクスポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

1 連絡先一覧画面 ▶ [⋮] ▶ [連絡先の管理] ▶ [インポート／エクスポート]

2 [UIMカードからインポート]／[SDカードからインポート]／[内部ストレージからインポート]

- 保存場所の選択画面が表示された場合は、登録したいアカウントを選択してください。

3 インポートする連絡先にチェックを付ける ▶ [インポート] ▶ [はい]

エクスポートする

1 連絡先一覧画面 ▶ [⋮] ▶ [連絡先の管理] ▶ [インポート／エクスポート]

2 [UIMカードにエクスポート]／[SDカードにエクスポート]／[内部ストレージにエクスポート]

3 エクスポートする連絡先にチェックを付ける ▶ [エクスポート] ▶ [はい]

メール

Eメールを利用する

Eメール（@ezweb.ne.jp）はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめEメールアドレスの初期設定を行う必要があります。Eメールアプリの初回起動時に、画面の指示に従って初期設定を行ってください。

  詳しくは、「設定ガイド」および「初期設定を行う」（▶ P.43）をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- Eメールの送受信は無線LAN（Wi-Fi®）通信で利用できますが、初期設定は4G（LTE/WiMAX 2+）データ通信で行ってください。
- Eメールは海外でもご利用になれます。
- Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。

Eメールの表示モードを切り替える

相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードと指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面 ▶ ［ ］

2 ［切替］

表示モードが切り替わります。

《会話モード》

《フォルダモード》

memo

- 本書では会話モードでの操作を基準に説明しています。フォルダモードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

メール

会話モードでの画面の見かた

■ スレッド一覧画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。

《スレッド一覧画面》

❶ **すべて表示／お気に入り表示切替タブ**
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。

❷ **スレッド**

❸ **（赤色）：新着Eメールあり**
（青色）：未読Eメールあり

❹ **インフォボックス**
インフォボックスメールを表示できます。
※ 新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。

❺ **（黄色）：お気に入り**
（灰色）：お気に入り解除

❻ **アクションバー**

■ スレッド内容表示画面の見かた

《スレッド内容表示画面》

❶ **スレッド名称（相手先）**
連絡先未登録の場合は、メールアドレスが表示されます。

❷ **受信したEメール**

❸ **続き表示ボタン**
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは をタップします。

❹ **宛先一覧表示ボタン**
送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。

❺ **添付データあり**

❻ **フラグ付きEメール**

❼ **保護されたEメール**

❽ **詳細表示ボタン**
Eメール詳細表示画面を表示します。

❾ **送信したEメール**

❿ **：送信予約Eメール**
：自動再送信Eメール

⓫ 送信者がBccやメーリングリストのアドレスを使用して送信した場合に表示されるアイコンです。

⓬ **メール作成バー**

メール

《メール作成バー》

⑬ **件名入力欄**
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。

⑭ **コミコミボタン**
コミコミアプリの添付画像を登録するときに使用します。

⑮ **D絵文字ボタン**
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。

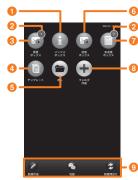
⑯ **添付ボタン**
データを添付するときに使用します。

⑰ **送信ボタン**

⑱ **本文入力欄**

フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダー覧画面の見かた

フォルダー覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《フォルダー覧画面》

① **インフォボックス**
インフォボックスメールを表示できます。
※ 新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。

② **件数**
フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。

③ **受信ボックス**

④ **テンプレート**

⑤ **フォルダ**

⑥ **送信ボックス**

⑦ **未送信ボックス**

⑧ **フォルダ作成**

⑨ **アクションバー**

■ Eメール一覧画面の見かた

《受信メール一覧画面》

《送信メール一覧画面》

《未送信メール一覧画面》

《フォルダメール一覧画面》

❶ ◯：未読のEメール
◯：本文を未受信のEメール
⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

❷ 件名

❸ 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※ 連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

❹ ：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール

❺ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン

❻ 添付データあり

❼ 保護されたEメール

❽ フラグ付きEメール

❾ アクションバー

❿ ⚠：送信に失敗したEメール

⓫ ：送信予約Eメール
：自動再送信Eメール

⓬ 受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

memo

- 横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール詳細表示画面の見かた

《受信メール詳細表示画面》　《送信メール詳細表示画面》

❶ 送信メール
To ／ CC ／ BCC ：宛先の名前またはEメールアドレス
受信メール
From ：差出人の名前またはEメールアドレス
To ／ CC ：宛先の名前またはEメールアドレス
※ 宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。 をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

❷ ◯：本文を未受信のEメール
⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

❸ Sub ：件名

❹ ：添付データ（本体メモリ保存）
：添付データ（ストレージ保存）
：添付データ（ストレージ保存失敗）
：インライン添付データ（本体メモリ保存）
：インライン添付データ（ストレージ保存）
：未受信の添付データ
※ 添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。 をタップすると、その他の添付データを表示できます。

❺ 本文

❻ **次のEメール／前のEメールを表示**
※ 本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。

❼ **フラグ付きEメール**

❽ **保護されたEメール**

❾ **添付データあり**

❿ **アクションバー**

⓫ **送信メール**
：返信のEメール
：転送のEメール
受信メール
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール

Eメールを送信する

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 [新規作成]

宛先入力画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、操作6へ進みます。

3 [ ]

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

- 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

4 以下の項目をタップ

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を越えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」をタップすると、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends NoteアプリをauスマートパスからダウンロードしてくだしさいⅠ。

メール受信履歴引用 メール送信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスにチェックを付ける ▶［選択］** ・「 」をロングタッチ ▶［削除］▶ Eメールアドレスにチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	お客様のメールアドレス（@ezweb.ne.jp）を宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※ クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 ［作成］
スレッド内容表示画面が表示されます。

6 件名入力欄をタップ ▶ 件名を入力
件名は、全角33／半角100文字相当まで入力できます。

7 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力
本文は、全角3,333／半角10,000文字相当まで入力できます。

8 ［ ］▶［送信］

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 フォルダ一覧画面 ▶［新規作成］
送信メール作成画面が表示されます。

2 ［ ］
宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」（▶P.92）の操作4をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 件名入力欄をタップ ▶ 件名を入力
件名は、全角33／半角100文字相当まで入力できます。

4 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力
本文は、全角3,333／半角10,000文字相当まで入力できます。

5 ［完了］▶［送信］▶［送信］

memo

- デコレーションアニメには対応しておりません。
- 件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ｰ（長音）ﾞ（濁点）ﾟ（半濁点）､｡･｢｣』は入力できません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内）までです。
- 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換されることがあります。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.114）。
- フォルダモードではメール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- あらかじめ「自動再送信」（▶P.114）をONにしておくと、メール送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、送信予約をすると、日時指定送信か、またはお客様のau電話が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 宛先入力画面 ▶ 未入力のアドレス入力欄の［ ］

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」（▶P.92）の操作4をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■宛先を削除する場合

1 宛先入力画面 ▶ 入力済みのアドレスの［ ］▶［OK］

memo

- フォルダモードではアドレス入力欄の をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

送信予約をする

■会話モードで送信予約する

1 スレッド内容表示画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

■電波が届く場合

2 「 」をロングタッチ ▶［送信予約］▶［OK］

3 送信する日付を入力 ▶［設定］

4 送信する時間を入力 ▶［設定］

スレッド内容表示画面に が付いた送信予定のEメールが表示されます。

■電波が届かない場合

2 「 」をロングタッチ ▶［送信予約］

3 以下の項目をタップ

圏内復帰時に送信	圏内復帰時に自動送信します。 ［OK］
日時指定	日時指定して送信予約します。 ［OK］▶ **送信する日付を入力** ▶［設定］▶ **送信する時間を入力** ▶［設定］

スレッド内容表示画面に が付いた送信予定のEメールが表示されます。

■フォルダモードで送信予約する

1 フォルダモードの送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力 ▶ [完了]

■ 電波が届く場合

2 [送信予約] ▶ [OK]

3 送信する日付を入力 ▶ [設定]

4 送信する時間を入力 ▶ [設定]

未送信ボックスに が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■ 電波が届かない場合

2 [送信予約]

3 以下の項目をタップ

圏内復帰時に送信	圏内復帰時に自動送信します。 [OK]
日時指定	日時指定して送信予約します。 [OK] ▶ 日付を入力 ▶ [設定] ▶ 時間を入力 ▶ [設定]

未送信ボックスに が付いた送信予定のEメールが保存されます。

memo

- メールの自動送信は20件まで設定できます。
- 送信予約が設定されているメールを編集しようとしたり、指定した日時を変更しようとすると、いったん送信予約が解除されます。
- 電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
- 送信予約（日時指定）された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- 日時指定したメールがローミング中に送信された場合、料金が高額となることがありますのでご注意ください。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1 スレッド内容表示画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

ストレージ	本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存しているデータを添付します。
ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー（動画）	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ（静止画）	静止画を撮影して添付します。
カメラ（動画）	動画を撮影して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

■ 静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。

memo

- 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
- 添付データを削除するには、削除する添付データの［ ］▶［OK］と操作します。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 スレッド内容表示画面 ▶ [ ]

2 [D絵文字] ／ [ピクチャ] ▶ [▲]

3 以下の項目をタップ

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ 本体ストレージやmicroSDメモリカードの絵文字を利用する場合

2 [microSD] ▶ [ダウンロード]

3 以下の項目をタップ

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

コミコミを利用する

コミコミは漫画のフキダシにあるセリフを自由に書き換えてメールで送信できるアプリです。コミコミを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリをダウンロードしてください。

1 スレッド内容表示画面／送信メール作成画面 ▶ [ ]

コミコミアプリで画像を選択し、Eメールアイコンをタップすると添付画像として作成画面に登録されます。
送信メール作成画面の場合は「コミコミ」をタップします。

本文入力中にできること

1 スレッド内容表示画面／フォルダモードの送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ

2 「 」をロングタッチ ▶ 以下の項目をタップ

検索	▶P.101「Eメールを検索する」 • 会話モードのときのみ選択できます。
送信予約	▶P.94「送信予約をする」 • 会話モードのときのみ選択できます。
アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.114）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 • フォルダモードのときのみ選択できます。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文入力を終了し、送信メール作成画面に戻ります。 • フォルダモードのときのみ選択できます。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾したり、テンプレートを使用してデコレーションメールを作成することができます。

■ **本文を装飾する**

本文を装飾したEメール（デコレーションメール）を送付できます。

1 **送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力**

2 **［装飾］**

デコレーションメニューが表示されます。

3 **装飾の開始位置を選択 ▶［選択開始］▶［ ⇦ ］／［ ⇨ ］で終了位置を選択**

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

「 ▭ 」をロングタッチ ▶［装飾全解除］▶［解除］と操作すると、装飾を解除できます。

4 **以下の項目をタップ**

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置/効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存しているデータやギャラリーの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

5 **［完了］**

memo

- 本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
- 本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
  ※ 一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
  ※ 挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- 「Eメールにデータを添付する」（▶ P.95）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- 会話モードでは、本文を装飾できません。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したりフォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

- フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

2 ［速デコ］

装飾結果プレビュー画面が表示されます。

「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 ［確定］

memo

- 装飾結果プレビュー画面で「▭」をロングタッチ ▶ ［設定］と操作すると、速デコの設定を変更できます。

■ テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

- フォルダモードでのみ利用できます。

1 フォルダ一覧画面 ▶ ［テンプレート］

テンプレート一覧画面が表示されます。

「▭」をロングタッチ ▶ ［ストレージから読み込み］と操作すると、本体ストレージおよびmicroSDメモリカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ ▶ ［メール作成］

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が完了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定の「通知に関する設定をする」（▶ P.115）または「個別の通知に関する設定をする」（▶ P.115）でOFFにすることができます。

- 端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。
- ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。
- ステータスバーに ✉ が表示され、Eメール受信音が鳴ります。

  ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

《通知ポップアップ》

2 ホーム画面 ▶ ［ ✉ ］

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるスレッドには ● （赤色）、未読Eメールがあるスレッドには ● （青色）が表示されます。

3 確認するスレッドをタップ

受信したEメールを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

- 確認するEメールをロングタッチ ▶ ［詳細表示］と操作するとEメール詳細表示画面が表示されます。

memo

- Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」（▶P.112）を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。
- 「メール自動受信」（▶P.112）を自動受信しない設定にしている場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」（▶P.101）の操作を行い、Eメールを受信してください。
- 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかることがあります。
- 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 添付データをタップ ▶［表示］

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。
受信完了後、もう一度添付データをタップ ▶［表示］と操作してください。

memo

- 添付データをタップ ▶［ストレージへ保存］▶ 保存先を選択 ▶［保存］と操作すると、添付データを本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存できます。
- 通常のEメール（テキストメール）では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
  ※ データによっては、インライン再生されない場合があります。
- デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存できます。

1 スレッド内容表示画面 ▶ 本文をロングタッチ

2 ［画像保存］

3 保存する画像にチェックを付ける

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 ［保存先選択］

保存先選択画面が表示されます。

5 ［保存］

選択した画像が本体ストレージまたはmicroSDメモリカード（microSDメモリカードが挿入されている場合）の「MyFolder」に保存されます。

memo

- 保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- 未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください（▶P.99）。

差出人／宛先／件名／電話番号／ Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面／ Eメール詳細表示画面を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3 以下の項目をタップ

Eメール作成	選択したEメールアドレス宛のEメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加※	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **［新規振分けフォルダ作成］／［「×××」（×××はフォルダ名）に追加］▶［保存］** • ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.108「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.120「迷惑メールフィルターを設定する」

※ フォルダモードのときのみ選択できます。

■ 件名をコピーする場合

2 件名をタップ ▶［コピー］

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 以下の項目をタップ

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。

au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.122「SMSを利用する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 以下の項目をタップ

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

• 本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」（▶P.112）のチェックを外した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

• スレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 「 」をロングタッチ ▶ [全検索]

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 [ ]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダ一覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

- キーワード検索以外にも をタップし、検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面 ▶［ ］

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるスレッドには （赤色）、未読Eメールがあるスレッドには （青色）が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示されEメールが確認できます。

スレッド一覧画面でできること

1 スレッド一覧画面 ▶「 」をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

項目	説明
件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
全検索	▶P.101「Eメールを検索する」
削除	選択したスレッドをすべて削除します。 **削除するスレッドにチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］** ・スレッド内のEメールはすべて削除されます。 ・「全選択」ですべてのスレッドを選択することもできます。 ・スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 ・削除するスレッドをロングタッチ ▶［削除］▶［削除］と操作しても削除できます。
Eメール設定	▶P.111「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面 ▶「 」をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

項目	説明
検索	▶P.101「Eメールを検索する」

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面 ▶ 操作するEメールをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 ・保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 ・フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	インライン画像を保存します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	本文データをBluetooth®やメール本文への挿入などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※ Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［切替］

Eメールのフォルダ一覧画面が表示されます。
- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

■ 受信メールを確認する場合

2 ［受信ボックス］またはフォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。
［返信］：返信のEメールを作成
［転送］：転送のEメールを作成
［保護］／［保護解除］：Eメールを保護／保護解除
［フラグ］／［フラグ解除］：Eメールにフラグを付ける／解除
：前のEメールを表示
：次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 ［送信ボックス］またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。
「再送信」：同じEメールをもう一度送信
「コピー編集」：コピーして編集
［保護］／［保護解除］：Eメールを保護／保護解除
［フラグ］／［フラグ解除］：Eメールにフラグを付ける／解除
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 ［未送信ボックス］

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをロングタッチ ▶［送信失敗理由］と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをロングタッチ ▶［送信予約情報］と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをロングタッチ ▶［送信予約解除］と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。
「送信」：Eメールを送信
「編集」：Eメールを編集
「コピー編集」：保護されたEメールをコピーして編集
［保護］／［保護解除］：Eメールを保護／保護解除
［フラグ］／［フラグ解除］：Eメールにフラグを付ける／解除
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

送信予約メールをタップした場合、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。送信予約メール詳細表示画面 ▶「 ▭ 」をロングタッチ ▶［その他］▶［送信予約情報］／［送信予約解除］と操作すると、送信予約情報を確認したり、送信予約を解除したりできます。

memo

- 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面 ▶「 ▭ 」をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

検索	▶P.101「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 **移動するEメールにチェックを付ける ▶［移動］▶ 移動先のフォルダをタップ** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.108）。 •「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。

メール

削除	Eメールを削除します。 **削除するEメールにチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。
保護/解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除するEメールにチェックを付ける ▶［保護］／［解除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付ける／外すEメールにチェックを付ける ▶［つける］／［解除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。

その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は本体ストレージに保存します。 **保存するEメールにチェックを付ける ▶［保存］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.117）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.108「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信するEメールにチェックを付ける ▶［受信］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.111「Eメールを設定する」

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面で操作するEメールをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

返信	Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.108）。
拒否リスト登録	差出人のEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.120「迷惑メールフィルターを設定する」

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

1 **受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面▶「 」をロングタッチ**

2 **以下の項目をタップ**

転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.108）。
削除	Eメールを削除します。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または［⇦］／［⇨］でカーソルを移動▶［選択開始］▶［⇦］／［⇨］で選択範囲を指定▶［コピー］** • Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチ▶［本文選択］と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ▶［ ］／［ ］をドラッグして選択範囲を指定▶［コピー］と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。

文字サイズ		本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール詳細表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
その他	**ストレージへ保存**	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は本体ストレージに保存します。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.117）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift-JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文受信を開始します。
	共有	本文データをBluetooth®やメール本文への挿入などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
	送信予約情報	送信予約日時を確認します。
	送信予約解除	送信予約を解除します。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

フォルダ一覧画面でできること

1 フォルダ一覧画面 ▶「 」をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

検索	▶P.101「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.108「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダにチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.111「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 フォルダ一覧画面 ▶［フォルダ作成］

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ ▶ フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択 ▶ カラーを選択 ▶［OK］▶［保存］

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ ▶［ギャラリーから写真を選択］

4 画像を選択 ▶ 切り抜き範囲を指定 ▶［切り抜き］▶［OK］▶［保存］

memo

• 最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダ一覧画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［フォルダ編集］▶ フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を追加する場合

2 ［振分け条件追加］▶［ ］

3 以下の項目をタップ

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力 ▶［OK］▶［保存］** ● をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力 ▶［OK］▶［保存］** ● をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力 ▶［OK］▶［保存］** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを付ける ▶［保存］

memo

- 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
- 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- 「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある をタップして、条件を編集したり削除することができます。
- 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>・・・>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、通知LEDを設定できます。

1 **フォルダ一覧画面 ▶「　」をロングタッチ ▶［フォルダ編集］▶ 受信ボックス／フォルダをタップ**

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 **［フォルダ別設定］**

3 **以下の項目をタップ**

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	アプリを利用して着信音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	本体ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 ［OFF］／パターンを選択 ▶［OK］
LED		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知LEDを設定します。 ［OFF］／パターンを選択 ▶［OK］
着信音鳴動時間		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
通知ポップアップ		ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.98「Eメールを受信する」
メール受信時の画面点灯		Eメールを受信したときにスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.98「Eメールを受信する」

4 **［OK］▶［保存］**

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめ「Eメール設定」の「プライバシー設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.111）。

1 **フォルダ一覧画面 ▶「　」をロングタッチ ▶［フォルダ編集］▶ 受信ボックス／フォルダをタップ**

フォルダ編集画面が表示されます。

2 **「フォルダロック」にチェックを付ける ▶ フォルダロック解除パスワードを入力 ▶［OK］**

フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 **［保存］**

■ フォルダを並べ替える

1 フォルダ一覧画面 ▶ 移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 移動する位置にドラッグ

memo

・ 作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを設定する

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 「 」をロングタッチ ▶ [Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

受信・表示設定		▶P.112「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定		▶P.114「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	基本通知設定	▶P.115「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.115「個別の通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定※	保存場所の設定	メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 **本体メモリに保存：** 本体メモリに保存します。 **ストレージに保存：** 本体ストレージに保存します。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 **ストレージへ一括移動：** 本体メモリから本体ストレージに移動します。 **本体メモリへ一括移動：** 本体ストレージから本体メモリに移動します。

プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力 ▶［OK］▶ 同じパスワードを再度入力 ▶［OK］▶ ひみつの質問にチェックを付ける ▶［OK］▶ ひみつの質問の回答を入力 ▶［OK］** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロックを解除時に、パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。［表示する］▶ 回答を入力 ▶［OK］と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力 ▶［OK］▶［リセット］** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効、無効を設定します。 **パスワードを入力 ▶［OK］** • 表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 • パスワード未設定の場合は設定できません。 • シークレット機能を有効/無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。

アドレス変更・その他の設定	▶P.116「アドレスの変更やその他の設定をする」
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元	▶P.117「Eメールをバックアップ／復元する」
Eメール改善情報送信設定	Eメールアプリや連携するサービスの品質向上のために、Eメール改善情報を送信するかどうかを設定します。 **［Eメール改善情報送信設定］▶［同意する］／［同意しない］▶［完了］** •「同意しない」を選択した場合は「送信しない」をタップします。
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ ▶［アドレスコピー］と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。

※ 受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」（▶P.99）をご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1 **Eメール設定画面 ▶［受信・表示設定］**

2 **以下の項目をタップ**

メール自動受信		サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信※	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳：** 連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 **個別アドレスリスト：** 「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 **個別アドレスリスト編集：** 個別アドレスを登録します。 • をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※「貼り付け」はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの［ ］▶［削除］と操作します。
	差出人・件名受信※	差出人・件名のみを受信します。

添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ		自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示		連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ		Eメール詳細表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
テーマ設定		Eメールアプリの画面デザインを設定します。
背景画像設定	背景画像（縦画面）	背景画像を設定します。 ［設定する］▶ 画像を選択 ▶［切り抜き］
	背景画像（横画面）	

※ 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、「 」をロングタッチ ▶［その他］▶［本文受信］▶［本文取得］と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面 ▶［送信・作成設定］

2 以下の項目をタップ

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **［設定する］▶ 返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力 ▶［OK］**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **［設定する］▶ 差出人名称（全角8／半角24文字相当まで）を入力 ▶［OK］**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **［設定する］▶ 冒頭文（全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5K Bまで）を入力 ▶［完了］▶［設定］** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で「 」をロングタッチ ▶［挿入］▶［冒頭文］と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **［設定する］▶ 署名（全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力 ▶［完了］▶［設定］** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で「 」をロングタッチ ▶［挿入］▶［署名］と操作して挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 • 会話モードでご利用の場合、チェックを付けてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信を防ぐために、送信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信失敗したメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面 ▶ [通知設定] ▶ [基本通知設定]

2 以下の項目をタップ

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音をセットします。
	通知音	
	ストレージから探す	本体ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] ／パターンを選択 ▶ [OK]
LED		Eメール受信時の通知LEDを設定します。 [OFF] ／パターンを選択 ▶ [OK]
着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知		Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」
送信失敗通知		Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。
通知ポップアップ		ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.98「Eメールを受信する」
メール受信時の画面点灯		Eメールを受信したときにスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.98「Eメールを受信する」
電源キー押下による着信音鳴動停止		着信音鳴動中に、電源キー押下による画面点灯または消灯を契機に鳴動を停止するかどうかを設定します。

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面 ▶ [通知設定] ▶ [個別通知設定]

2 [新規設定]

3 [アドレス帳引用] ／ [メール受信履歴引用] ／ [メール送信履歴引用] ▶ 設定するアドレスを選択

「メール受信履歴引用」／「メール送信履歴引用」をタップした場合は、設定するアドレスにチェックを入れる ▶ [選択] と操作します。

4 以下の項目をタップ

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音をセットします。
	通知音	
	ストレージから探す	本体ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。

バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択 ▶［OK］**
LED	Eメール受信時の通知LEDを設定します。 **［OFF］／パターンを選択 ▶［OK］**
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
通知ポップアップ	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.98「Eメールを受信する」
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯させせするかどうかを設定します。 ▶P.98「Eメールを受信する」

アドレスの変更やその他の設定をする

1 **Eメール設定画面 ▶［アドレス変更・その他の設定］▶［接続する］**

2 **以下の項目をタップ**

Eメールアドレスの変更へ	Eメールアドレスは Eメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1.暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶［送信］** **2.［承諾する］** **3.Eメールアドレス入力欄をタップ ▶ Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力 ▶［送信］▶［OK］** ・Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 ・変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ・入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 ・Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定/確認へ	**オススメの設定はこちら** ▶P.120「迷惑メールフィルターを設定する」

自動転送先の設定へ	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1.暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶［送信］** **2.入力欄をタップ ▶ Eメールアドレスを入力 ▶［送信］** • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 •「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返ることがありますのでご注意ください。

memo

• 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールを2つの方法でバックアップすることができます。また、バックアップしたデータは本製品へ読み込むことができます。

memo

• 本製品ではバックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード（/storage/external_SD/private/au/email/BU）に、取り付けられていない場合は本体ストレージ（/storage/emulated/0/private/au/email/BU）に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータ（メール本文・添付ファイル）をバックアップすることができます。

1 **Eメール設定画面 ▶［バックアップ・復元］**

2 **［メールデータバックアップ］▶［OK］**

microSDメモリカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDメモリカードに保存できます。

3 **バックアップデータを作成するための文字コードを選択 ▶［OK］**

文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。

4 **バックアップするメール種別にチェックを付ける ▶［OK］**

フォルダモードではバックアップするフォルダを選択します。ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ（メール本文・添付ファイル）を復元することができます。

1 Eメール設定画面 ▶［バックアップ・復元］

2 ［メールデータ復元］

3 ［受信メール］／［送信メール］／［未送信メール］／［ストレージから探す］▶［OK］

4 復元するバックアップデータにチェックを付ける ▶［OK］

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 ［追加保存］／［上書き保存］▶［OK］

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

- 添付されたデータもバックアップできます。
  ※ バックアップしたファイルサイズが端末本体に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付メールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。
- メールデータのバックアップでは、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行っていただくか、まるごとバックアップをご利用ください。
- シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされませんのでご注意ください。
- バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックスに保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メールも削除されます）、バックアップしたメールデータを復元します。
- 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ（メール本文･添付ファイル）、Eメール設定、振分け条件を、まるごとバックアップすることができます。
シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

1 Eメール設定画面 ▶ [バックアップ・復元]

2 [まるごとバックアップ]
バックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合は、microSDメモリカードに保存されます。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると 、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ（本文・添付ファイル）、Eメール設定、振分け条件を全て消去し、復元します。

1 Eメール設定画面 ▶ [バックアップ・復元]

2 [まるごと復元]

3 復元するバックアップデータにチェックを付ける ▶ [OK]

■ 復元前にメールデータがない場合

4 [OK]

■ 復元前にメールデータをバックアップする場合

4 [バックアップ] ▶ [OK]
シークレット機能を有効にしてメールデータバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 バックアップデータを作成するための文字コードを選択 ▶ [OK]

6 バックアップするメール種別にチェックを付ける ▶ [OK]
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

7 [OK] ▶ [OK] ▶ [OK]

■ 復元前にメールデータをバックアップしない場合

4 [まるごと復元] ▶ [OK] ▶ [OK]

memo

- まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定画面 ▶ [アドレス変更・その他の設定] ▶ [接続する]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら] ▶ [OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ] ▶ 暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶ [送信]

3 以下の項目をタップ

オススメ設定	オススメ設定へ	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リスト・アドレス帳受信設定へ	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールを全てブロックする場合は、「携帯/PHSのみ受信設定へ」を「設定する」に設定し、更に「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。
個別設定	受信リスト・アドレス帳受信設定へ	アドレス帳受信設定へ： Friends Noteもしくはauアドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リスト設定へ	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHSのみ受信設定へ	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者ごとにメールを一括で受信/拒否します。
	上記以外の個別設定へ	**迷惑メールおまかせ規制：** メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制：** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で（中）を設定されている場合も（高）（低）のみ選択可能です。 ※ なりすまし規制回避リスト設定により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制：** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制：** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。

個別設定	上記以外の個別設定へ	**ウィルスメール規制：** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバで規制します。 **拒否通知メール返信設定：** 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するための設定項目です。 ※ 以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、［返信する］の選択のみ可能です。
一括解除		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。

※ 最新の設定機能は、auホームページでご確認ください。
http://www.au.kddi.com/ ▶［迷惑メールでお困りの方へ］▶［迷惑Eメール防止方法］▶［迷惑メールフィルター機能］

memo

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
なりすまし規制回避リスト＞なりすまし規制＞拒否リスト設定＞受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞携帯／ PHSのみ受信設定＞迷惑メールおまかせ規制＞ウィルスメール規制
- 「なりすまし規制回避リスト」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

- 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
  この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
  ※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録してください。

■ **パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには**

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「迷惑メールフィルター設定へ」を選択し、au IDとパスワードを入力してください。

※ au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [電話・メール] ▶ [SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [ ]

SMS作成画面が表示されます。

- 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作4へ進みます。

3 [宛先を入力] ▶ 相手先電話番号を入力

をタップして登録済みの相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

- 海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国コード」を入力します。
  「0」「1」「0」＋国コード＋相手先電話番号
  ※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
  ※ 連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国コード」を入力してください。

4 [メッセージを入力] ▶ 本文を入力

本文は、全角70／半角160文字まで入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ ▶ [送達確認結果] と操作すると送信結果を確認できます。

memo

- メッセージ作成し、送信する前に ⮌ をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
- SMSセンターは、次のとおりSMSをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

- 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次のとおりです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なることがあります。

- 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
- 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換されることがあります。
- SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに ⚠ が表示される場合があります。
- 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [電話・メール] ▶ [SMS]

未読のSMSがあるスレッドには NEW が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

- SMSの受信は、無料です。
- 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- スレッド内容表示画面で をタップすると相手先に電話をかけることができます。
- 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [電話・メール] ▶ [SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

■ 返信する場合

3 [メッセージを入力] ▶ 本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力] ▶ 相手先電話番号を入力

をタップして登録済みの相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 以下の項目をタップ

電話	選択した電話番号に電話をかけます。
SMS	選択した電話番号にSMSを送ります。

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 アプリケーションを選択してEメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 アプリケーションを選択してURLのページを表示

memo

- 本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります（▶P.127「SMS安心ブロック機能を設定する」）。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 ［保護］／［保護解除］

保護したメッセージには が表示されます。

SMSの電話番号をアドレス帳に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 ［ ］▶［アドレス帳への登録］▶［連絡先を新規登録］／［連絡先を更新］

連絡先の登録画面が表示されます（▶ P.80「他の機能から連絡先に登録する」）。

- スレッド一覧画面で登録する相手先の［ ］▶［はい］▶［連絡先を新規登録］／［連絡先を更新］と操作しても連絡先の登録画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面 ▶［ ］▶ 検索する文字列を入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 ［ ］

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［電話・メール］▶［SMS］

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 ［削除］▶［削除］

■ スレッドごと削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 ［ ］▶［メッセージの全件削除］▶［削除］

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 ［ ］▶［削除］

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 ［ ］▶［全てのスレッドを削除］▶［削除］

SMSを設定する

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [電話・メール] ▶ [SMS]

2 [ ] ▶ [設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3 以下の項目をタップ

通知設定	SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、SMSを受信しても通知アイコンは表示されません。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。「OFF」に設定すると、SMSを受信しても着信音は鳴りません。 [プリセットから選択]／[ダウンロード曲から選択] ▶ 着信音を選択 ▶ [OK]
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]／パターンを選択 ▶ [OK]
LED	SMS受信時に通知LEDを点滅するかどうかを設定します。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。
受信フィルター	▶P.126「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 カラーを選択 ▶ [OK]

memo

- SMS設定画面で [ ] ▶ [初期値に戻す] ▶ [はい] と操作すると、初期値に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー ▶ [受信フィルター]

2 以下の項目をタップ

指定番号	指定した番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 入力欄をタップ ▶ 登録する電話番号を入力 ▶ [追加] • をタップすると、連絡先から、電話番号を登録できます。 • スレッド内容表示画面で [ ] ▶ [受信フィルター登録] ▶ [追加] と操作しても登録することができます。 • 登録した電話番号を削除するには、[削除] ▶ 削除する番号にチェックを付ける ▶ [削除] ▶ [はい] と操作します。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。
アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

- SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
- ブロック対象のSMSは、通常のSMS（ぷりペイド送信含む）です。着信お知らせサービス、お留守番サービスEX（伝言お知らせ）、待ちうた情報お知らせサービスは対象外です。（お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。）

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※ 設定時のSMS送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、送信したメッセージに が表示され送信されません。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。

PCメールのアカウントを設定する

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、サービスプロバイダーまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [電話・メール] ▶ [Eメール（ ）]**

2 **メールプロバイダーを選択**

3 **PCメールのメールアドレスとパスワードを入力 ▶ [次へ]**

設定を完了できない場合は「手動セットアップ」をタップし、手動でアカウントの設定を行います。

4 **アカウント名を入力 ▶ [完了]**

設定したアカウントのメールが読み込まれ、受信トレイ画面が表示されます。

memo

- 複数のPCメールアカウントが登録されていて受信トレイに表示されているアカウントを切り替える場合は、受信トレイ画面の［受信トレイ］▶ 表示したいアカウントの［受信トレイ］と操作します。
- 複数のPCメールアカウントが登録されていて受信トレイにすべてのアカウントのメールを表示する場合は、受信トレイ画面の［受信トレイ］▶「統合表示」の［受信トレイ］と操作します。

別のPCメールアカウントを設定する

複数のPCメールアカウントを設定できます。

1 受信トレイ画面 ▶ [⋮] ▶ [設定] ▶ [アカウントを追加]

2 メールプロバイダーを選択

3 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力 ▶ [次へ]

設定を完了できない場合は「手動セットアップ」をタップし、手動でアカウントの設定を行います。

4 アカウント名を入力 ▶ [完了]

追加したアカウントのメールが読み込まれ、受信トレイ画面が表示されます。

PCメールのアカウントを削除する

1 受信トレイ画面 ▶ [⋮] ▶ [設定] ▶ [⋮] ▶ [アカウントを削除]

2 削除するアカウントにチェックを付ける

3 [削除] ▶ [はい]

PCメールを送信する

1 受信トレイ画面 ▶ [✉]

デフォルトアカウント以外のアカウントからメールを送信する場合は、PCメール作成画面でアカウント名をタップ ▶ メールを作成するアカウントをタップします。

2 [To:] ▶ 宛先のメールアドレスを入力

👤 をタップすると連絡先からメールアドレスを選択できます。

3 [件名] ▶ 件名を入力

4 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

添付ファイルを追加する場合は [📎] ▶ ファイルの種類をタップします。

5 [▶]

memo

- メール作成中に他の画面に移ると、自動的に下書きとして保存します。

■PCメール作成画面のメニューを利用する

1 PCメール作成画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

項目	説明
Cc/Bccを追加	「Cc」と「Bcc」の入力欄を追加します。
Cc/Bccの削除	「Cc」と「Bcc」の入力欄を削除します。
挿入	「イメージ」、「写真を撮影」、「連絡先」、「場所」、「スケジュール」から選択して、メールに挿入します。
描画	手書きメモをメールに挿入します。
下書きを保存	作成中のメールを下書き保存します。下書き保存したメールを編集する場合は、受信トレイ画面 ▶ [受信トレイ] ▶ [下書き] ▶ 下書き保存したメールの一覧から編集するメールをタップします。
保存しない	作成中のメールを保存せずに破棄して、前の画面に戻ります。
IRM保護	Information Rights Management（IRM）を使用してメールへのアクセス権限を指定します。 • Exchange ActiveSync 2010以上のアカウントでのみサポートされます。

セキュリティ	PCメールのセキュリティに関して設定します。
トラッキング設定	「配信確認要求」と「開封確認要求」を設定します。

PCメールを受信する

1 受信トレイ画面 ▶［受信トレイ］

2 確認するPCメールアカウントの［受信トレイ］
受信トレイが更新されて表示されます。

■ 添付ファイルを保存する

1 受信トレイ画面 ▶ ファイルが添付されているメールをタップ

2 ［ ］
添付ファイルが内部ストレージに保存されます。
- 添付ファイルが複数ある場合は［ ］▶［ ］と操作します。

PCメールを削除する

1 受信トレイ画面 ▶ 削除するメールをロングタッチ

2 ［削除］

■ PCメールを複数選択して削除する

1 受信トレイ画面 ▶ 削除するメールにチェックを付ける

2 ［削除］

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、本製品の連絡先と同期することができます。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページ、または受信トレイ画面 ▶［メイン］▶［ヘルプ］でGoogleのヘルプをご参照ください。
- サービスの内容は、予告なく変更される場合があります。

Gmailを起動する

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［Google］▶［Gmail］
Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

❶ **未読メール数／アカウント**

❷ **メール**
既読メッセージの背景色はグレーになります。

❸ **新規作成**

❹ **メニューアイコン**

❺ **検索**

❻ **送受信メールの数**
該当メールのスレッドでやりとりされたメールの数が表示されます。

❼ **添付ファイルアイコン**
ファイルが添付されているメールに表示されます。

❽ **スターアイコン**
タップするとスター付きを設定／解除できます。スター付きを設定すると、受信トレイ画面 ▶［メイン］▶［スター付き］で設定したメールのみを表示することができます。

Gmailのアカウントを切り替える

1 受信トレイ画面 ▶［メイン］

2 アカウントを選択

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリケーションとサーバのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面 ▶［ ⋮ ］▶［更新］

Gmailを送信する

1 受信トレイ画面 ▶［ ］

2 宛先入力欄を選択 ▶ 宛先を入力

Cc、Bccを追加する場合は、［ ⋮ ］▶［Cc/Bccを追加］と操作します。

3 件名入力欄を選択 ▶ 件名を入力

4 本文入力欄を選択 ▶ 本文を入力

ファイルを添付する場合は、［ ⋮ ］▶［ファイルを添付］▶ ファイルを選択します。

5 ［ ］

送信済みGmailを表示する

1 受信トレイ画面 ▶［メイン］▶［送信済みメール］

Gmailを受信する

1 Gmailを受信すると

Gmailを受信すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 メールの情報を選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

スレッドを操作する

1 受信トレイで操作するスレッドをロングタッチ

2 必要な項目を選択

- を選択すると、スレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたスレッドは受信トレイに表示されません。
- ［ ⋮ ］▶［ミュート］と操作すると、スレッドを非表示にします。
- ［ ⋮ ］▶［迷惑メールを報告］と操作すると、スレッドをスパムとして報告します。

memo

- をタップすると、スレッドごと削除されます。スレッドの中の一部のメールだけを選択して削除することはできません。
- アーカイブまたはミュートにして受信トレイに表示されなくなったスレッドは、［メイン］▶［すべてのメール］と操作すると表示できます。アーカイブまたはミュートしたスレッドを受信トレイに戻すには、［すべてのメール］でスレッドをロングタッチ ▶［ ⋮ ］▶［受信トレイに移動］と操作します。
- 本製品ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。
- 操作したいメールのスレッドをロングタッチ ▶ 続けて他のスレッドをロングタッチすると、複数のスレッドを選択して操作できます。

Gmailを検索する

メールアドレスやタイトルなどを入力し、本製品内やサーバ上のGmailアカウント内のメールを検索できます。

1 受信トレイ画面 ▶ [🔍]

2 検索する文字列を入力 ▶ [🔍]

Gmailを返信/転送する

■ 宛先のみに返信する場合

1 受信トレイ画面 ▶ 返信するメールをタップ ▶ [↩]

2 本文入力欄を選択 ▶ 本文を入力 ▶ [➤]

■ 全員に返信/転送する場合

1 受信トレイ画面 ▶ 返信/転送するメールをタップ ▶ [⋮] ▶ [全員に返信] / [転送]

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

2 本文入力欄を選択 ▶ 本文を入力 ▶ [➤]

新着Gmail通知を設定する

メールを受信したときに、通知アイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 受信トレイ画面 ▶ [メイン] ▶ [設定] ▶ 設定を変更するアカウントをタップ ▶ [受信トレイの音とバイブレーション]

2 以下の項目をタップ

メールの同期	サーバーとの同期の設定を行います。
ラベル通知	チェックを付けると「着信音」「バイブレーション」「新着メールごとに通知する」の設定ができます。
着信音	メール受信時の音を設定します。
バイブレーション	メール受信時のバイブレータの動作を設定します。
新着メールごとに通知する	新着メッセージの通知を音/バイブレーションで知らせることができます。

署名を設定する

送信時の署名を設定できます。

1 受信トレイ画面 ▶ [メイン] ▶ [設定] ▶ 設定を変更するアカウントをタップ ▶ [署名]

2 署名を入力 ▶ [OK]

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

memo

- LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［テザリングとネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］から、「LTE NET for DATA」を選択してください。

memo

- LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／ auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額サービスのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■ au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※ 通信料については、最新のau総合カタログ／ auホームページをご参照ください。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

ウェブページを表示する

1 **ホーム画面 ▶［ ］**

ブラウザ画面が表示されます。

memo

- 非常に大きなウェブページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

ブラウザ画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 **ブラウザ画面でURL表示欄を選択**

2 **URL表示欄にキーワード／ URLを入力**

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

3 **一覧表示から項目を選択／キーボードの［実行］**

ツールバーを利用する

ブラウザ画面下部に表示されるツールバーから各種機能を利用できます。

ツールバーの表示／非表示は、設定で変更できます。

また、ブラウザ画面での操作中に、表示されていたツールバーが消えることがあります。ツールバーを再表示するには、以下の操作を行ってください。

1 **ブラウザ画面のページ表示部分を下方向にスライドする**

ツールバーが表示されます。

❶ **Qスライド**

画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。

❷ **ウィンドウ**

ウィンドウ一覧画面を表示します。

❸ **メニューアイコン**

❹ **再読み込み**

❺ **ツールバー**

戻る

進む

ホーム

ウィンドウ追加

ウィンドウを追加して「よくアクセスするサイト」などからウェブサイトを表示します。

ブックマーク

ブックマーク画面を表示します。

インターネット

ブラウザ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 ブラウザ画面 ▶ [⋮]

ブックマークに追加	表示しているサイトをブックマークに追加します。（▶P.136）
共有	表示しているサイトのURLや画像をメールやBluetooth®、Facebookなどで送信できます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
PC版サイトを表示	PC版のサイトを表示します。
オフライン用に保存	表示しているサイトを保存します。保存したサイトはオフラインで閲覧できます。
キャプチャプラス	ウェブページ全体をキャプチャします。キャプチャした画像は、トリミングしてから保存することもできます。 • キャプチャ画像は内部ストレージの「Capture plus」に保存されます。
印刷	ウェブページを印刷します。
設定	▶P.137「ブラウザを設定する」
終了する	インターネットを終了します。

■ コンテキストメニューの場合

1 ブラウザ画面でリンクまたは画像／メールアドレス／電話番号をロングタッチ

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいタブで開く	選択したリンク先を新しいウィンドウで表示します。
リンクを保存	選択したリンク先のウェブページをmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存します。
クリップボードにリンクをコピーする	クリップボードにリンク先のURLをコピーします。
画像を保存	選択した画像をmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存します。 ※ 保存された画像は、表示できない場合もあります。
画像を表示	選択した画像を表示します。
クリップボードにコピー	画像をクリップボードにコピーします。
テキストの選択	テキストを選択できます。
メールを送信	選択したメールアドレスにメールを送信します。
コピー	選択したメールアドレスや電話番号をクリップボードにコピーします。
発信	選択した電話番号に電話をかけます。
連絡先を追加	選択した電話番号を連絡先に追加します。
オフライン用に保存	リンク先を保存します。保存したサイトはオフラインで閲覧できます。

ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザ画面 ▶ ツールバーを表示 ▶ [ ]

ブックマーク画面が表示されます。

① 「ブックマーク」タブ
登録されているブックマークを表示します。

② 「閲覧履歴」タブ
サイトの閲覧履歴を表示します。

③ 「保存したページ」タブ
オフライン用に保存したサイトを表示します。

④ 追加ボタン
ブックマークを追加します。

⑤ メニューアイコン

2 表示したいサイトを選択

ブックマークに追加する

表示中のサイトをブックマークに追加します。

1 ブラウザ画面 ▶ [ ] ▶ [ブックマークに追加]

ブックマーク追加画面が表示されます。

2 [OK]

ブックマーク画面を利用する

■ オプションメニューの場合

1 ブックマーク画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

フォルダー追加	フォルダーを追加します。
削除	ブックマークを削除します。
移動	ブックマークを別のフォルダーに移動します。

■ コンテキストメニューの場合

1 ブックマーク画面でブックマークをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

開く	選択したブックマークのサイトを表示します。
新しいタブで開く	選択したブックマークのサイトを新しいウィンドウで表示します。
ブックマークの編集	選択したブックマークを編集します。
ショートカットを追加	選択したブックマークのショートカットをホーム画面に作成します。
クリップボードにリンクをコピーする	選択したブックマークのURLをクリップボードにコピーします。
ブックマークの削除	選択したブックマークを削除します。
ホームページに設定	ブラウザを起動したときや、ツールバーの をタップしたときに表示するサイトとして設定します。

履歴を確認する

閲覧したサイトの履歴を確認できます。

1 ブックマーク画面 ▶「閲覧履歴」タブ

閲覧履歴画面が表示され、閲覧したサイトの履歴が「今日」「昨日」「過去7日間」「もっと前」「よくアクセスするサイト」などに表示されます。

memo

- ★（灰色）／★（黄色）をタップすると、選択した履歴をブックマークに登録／削除できます。
- 履歴をすべて削除するには［ ］▶［はい］と操作します。

閲覧履歴画面のメニューを利用する

1 閲覧履歴画面で履歴をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

開く	選択した履歴のサイトを表示します。
新しいタブで開く	選択した履歴のサイトを新しいウィンドウで表示します。
ブックマークに追加※1	選択した履歴をブックマークに登録します。 • 登録時に名前やURLを編集できます。
ブックマークの削除※2	選択した履歴をブックマークから削除します。
リンクを共有	選択した履歴のサイトのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
クリップボードにリンクをコピーする	選択した履歴のサイトのURLをクリップボードにコピーします。
閲覧履歴の削除	選択した履歴を削除します。
ホームページに設定	ブラウザを起動したときや、ツールバーの をタップしたときに表示するサイトとして設定します。

※1　ブックマークに登録されていない場合に表示されます。
※2　ブックマークに登録されている場合に表示されます。

ブラウザを設定する

1 ブラウザ画面 ▶［ ］▶［設定］

2 以下の項目をタップ

全般	ホームページ設定や、ツールバーを表示するかどうか、フォームの自動入力、自動入力テキストを設定します。
プライバシーとセキュリティ	セキュリティ警告の表示、キャッシュ、閲覧履歴、Cookie、パスワードなどの設定や消去を行います。
ユーザー補助	テキストサイズなどの設定を行います。
詳細設定	JavaScript、表示倍率などを設定します。また、ブラウザの設定を初期設定に戻すことができます。
帯域幅の管理	ウェブページに含まれる画像を表示するかどうかを設定します。

マルチメディア

カメラを利用する

このカメラでできること

本製品は有効画素数約1320万画素のCMOSアウトカメラと約130万画素のCMOSインカメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。撮影した静止画や動画は、すべてmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されます。

カメラをご利用になる前に

- 電池残量が少なくなった場合は、カメラを起動できません。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなることがあります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」）設定中でもシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- レンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影や保存をすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出ることがありますが、故障ではありません。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。
- 本製品のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線の当たり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりすることがあります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 動画撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。

- 撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となることがありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。動いている被写体を撮影するときや、明るいところから暗いところに移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- プレビュー画面の表示、カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 他のアプリケーションを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

撮影画面の見かた

撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

- マークが表示されていない場合は をタップすると表示されます。

❶ メニューアイコン

設定、撮影モード、カメラ切替、フラッシュ、シャッターボタン、録画開始ボタンを表示／非表示にします。

❷ フラッシュ

フラッシュのOFF ／ ON ／ AUTOを切り替えます。

❸ カメラ切替

インカメラとアウトカメラを切り替えます。

- 撮影画面をスワイプしてもインカメラとアウトカメラを切り替えられます。

❹ 撮影モード（▶P.142）

❺ 設定（▶P.143）

❻ 状態表示

撮影状況が暗い場合など、HDRやフラッシュが自動で動作するときに次のアイコンが表示されます（HDRやフラッシュがAUTOの場合のみ）。

HDR：HDR

：フラッシュ

❼ 直前に撮影したデータ

❽ 録画開始ボタン

動画録画を開始します。動画録画中は が表示され、タップすると録画を停止します。

❾ シャッターボタン

静止画を撮影します。動画録画中は が表示され、タップすると録画を一時停止します。

❿ 終了ボタン

撮影／録画中は撮影／録画を停止したり、撮影待機中はカメラを終了などの操作ができます。

memo

- 撮影モード一覧や設定一覧を表示中に をタップすると、カメラのヘルプを表示できます。
- インカメラの場合は、人物の肌を明るく撮影する美肌撮影のインジケーターが表示されます。（強）／（弱）にドラッグすると、美肌撮影の強弱を8段階で調節できます。

静止画を撮影する

1 **ホーム画面 ▶ [ ]**

撮影画面が表示されます。

- 位置情報記録の確認画面やカメラストレージ画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 **[ ] ▶ [ ]**

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。

- 撮影画面で音量キーを押しても撮影できます。
- 撮影画面にマークが表示されていない場合は、撮影画面でピントを合わせたい場所をタップすると、タップした場所にピントを合わせて撮影されます。

memo

オートフォーカスについて

- 本製品は被写体にカメラを向けるとフォーカス枠が表示され、自動的にピントを合わせることができます。広範囲にピントが合っているときなどは、複数のフォーカス枠が表示される場合があります。
- 撮影画面にマークが表示されている場合は、タップした場所でピントを固定することができます（オートフォーカスロック）。

ジェスチャーショットについて

- インカメラに向かって手を握るジェスチャーをすることで静止画を撮影できます。
  撮影画面（インカメラ）▶ レンズに手のひらを向ける ▶ 枠が表示されたら手を握ると自動的にセルフタイマー（3秒）が起動します。

バーストショット（連続撮影）について

- 撮影画面で をロングタッチ、または音量キーを1秒以上長押しすると連続撮影されます。
- 最大99枚まで連続撮影できます。

HDRで撮影する

異なる露出で複数回撮影することで、よりリアルな写真を作成します。

1 **撮影画面 ▶ [ ] ▶ [ ] ▶ をタップして ／ にする**

- ダイナミックトーン（HDR）画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

2 **[ ]**

HDR撮影が開始されます。

動画を録画する

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ ]**

2 **[ ]**

録画が開始されます。

3 **[ ]**

録画したデータが自動的に保存されます。

memo

- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に録画を停止・保存します。
- 録画中に着信して通話を開始すると、録画が停止して保存されます。
- 動画録画中に をタップまたは音量キーを押すと、静止画を撮影できます。

撮影モードを切り替えて撮影する

1 **撮影画面 ▶ [ ] ▶ [モード]**

2 **以下の項目をタップ**

オート	▶P.141「静止画を撮影する」、▶P.142「動画を録画する」
マジックフォーカス	撮影後にフォーカス位置を変更できる静止画を撮影します。
パノラマ	▶P.142「パノラマ写真を撮影する」
デュアル	インカメラとアウトカメラの画像を一画面に表示した状態で撮影します。

※ アウトカメラとインカメラで表示される項目が異なります。

パノラマ写真を撮影する

連続した写真を合成してパノラマ写真を作成します。

1 **撮影画面 ▶ [ ] ▶ [モード] ▶ [パノラマ]**

パノラマモードで静止画撮影画面が起動します。

- パノラマ撮影の説明画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

2 **[ ] ／音量キー**

パノラマ撮影が開始されます。

3 **白色の枠を水色の枠に合わせるように、矢印の方向にカメラを動かす**

すべての撮影領域が満たされる、または撮影中に ／ をタップして撮影を停止すると、撮影したデータが自動的に保存されます。

設定を利用する

1 撮影画面 ▶ [⋮] ▶ [⚙]

2 以下の項目をタップ

項目	設定		説明
（ダイナミックトーン（HDR））	（AUTO）		HDR撮影をするかどうかを設定します。 • （AUTO）に設定した場合は、画面の明暗差が大きいときに自動的にHDR撮影が開始されます。
	（ON）		
	（OFF）		
（解像度／ビデオサイズ／スローモーション）	（解像度）	13M（4160×3120）	静止画の解像度を選択します。
		W10M（4160×2340）	
		9M（3120×3120）	
		3M（2048×1536）	
		1M（1280×960）	
		W1M（1280×720）	
（解像度／ビデオサイズ／スローモーション）	（ビデオサイズ／スローモーション）	UHD（3840×2160）	動画のビデオサイズを選択します。 • 「120HD（スローモーション）」に設定すると、スローモーションの動画を撮影することができます。
		FHD（1920×1080）	
		HD（1280×720）	
		120HD（スローモーション）	
（ボイスシャッター）	（ON）		「チーズ」「スマイル」「LG」「トリマス」と話すことで写真を撮影します。
	（OFF）		
（セルフタイマー）	（OFF）		シャッターを押してから撮影されるまでの時間を設定します。
	（3秒）		
	（10秒）		
（ガイド）	撮影画面にガイドを表示するかどうかを設定します。		
（正像／鏡像）	（正像）		インカメラで撮影した画像を正像／鏡像で保存します。
	（鏡像）		
（保存先）	（microSDメモリカード）		撮影したデータの保存先を設定します。 • microSDメモリカードを本製品に取り付けている場合に表示されます。
	（内部ストレージ）		
（自動アップロード）	撮影した静止画、動画をau Cloudへ自動的にアップロードするかどうかを設定します。		

※ アウトカメラとインカメラで表示される項目が異なります。

動画や静止画を再生する

ギャラリーでは、microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存した画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [カメラ・写真] ▶ [ギャラリー]**

アルバム選択画面が表示されます。
をタップするとカメラが起動します。
をタップすると、カテゴリーを切り替えたり、周辺デバイスやクラウドサービスを利用することができます。

2 **アルバムを選択**

サムネイル表示画面が表示されます。
をタップすると、アルバム選択画面に戻ります。

3 **画像／動画を選択**

画像を選択した場合は、静止画表示画面が表示されます。
動画を選択した場合は、データの種別に応じたアプリケーションが起動して再生されます。再生するアプリケーションが複数存在する場合は、アプリケーション選択画面が表示されることがあります。アプリケーションを選択 ▶ [OK] と操作すると再生されます。

memo

- をタップすると、メニュー項目の表示／非表示を切り替えることができます。

■ 静止画表示画面の操作

画像をタップするとサムネイル一覧と以下のメニューが表示されます。

：編集	：カメラ起動
：共有	：削除
：メニューアイコン	：お気に入り

■ 動画再生画面の操作

サムネイル表示画面で動画をタップし、「動画」を選択した場合を例に説明します。

❶ **お気に入りアイコン**

❷ **ファイル名**

❸ **シークバー**

ドラッグまたはタップして表示される小さな画像をタップすると、再生中の動画を任意の場所から再生します。

❹ **再生経過時間**

❺ **音量調節ボタン**

タップして表示される調節バーをドラッグまたはタップすると、音量を調節できます。

❻ **メニューアイコン**

❼ **SmartShare**

❽ **Qスライド**

画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。

❾ **画面回転**

❿ **再生パネル**

／ で再生中の動画を巻き戻し／早送りします。
／ ：一時停止／再生します。

⓫ **動画全体の長さ**

⓬ **画面のロック**

ギャラリーのメニューを利用する

1 アルバム選択画面／サムネイル表示画面／静止画表示画面／動画再生画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

項目	説明
アルバムの新規作成※1	アルバムを新規作成します。
削除※1	データを削除します。
アルバム表示／非表示※1	アルバムを隠します。
ロックしたファイルの表示※1※2※3	ロックしているファイルを再度表示します。 • パスワードやパターンの入力が必要です。
設定※1※4	**アルバム選択画面の場合：** 並び替え、スライドショー、ロック設定、クラウドサービスのアカウントの設定や追加などを行います。 **動画再生画面の場合：** 再生後の動作、画面ロック中の再生、スクリーンショット、再生スピード、アプリの自動終了、画面の明るさの設定などを行います。
ヘルプ※1	SmartShareガイド、周辺デバイスガイド、クラウドガイドを表示します。
移動※3※5	画像を移動します。
コピー※3※5	画像をコピーします。
コラージュ作成※3	複数の画像を組み合わせて、1枚の画像にコラージュ編集します。
ロック※3※5	ファイルを非表示（ロック）にします。
スライドショー※3※5	画像をスライドショーで再生します。
左に回転する※3※5	画像を左に回転します。
右に回転する※3※5	画像を右に回転します。
クラウドにアップロード※3※4※5※6	クラウドサービスに画像をアップロードします。
SmartShare※5	SmartShareを利用してデータを共有します。
画像を設定※5	画像を壁紙や連絡先の写真に登録します。
クリップボードにコピー※5	画像をクリップボードにコピーします。
トリミング※5	画像をトリミングします。
位置情報を追加※5	画像に位置情報を追加します。
位置情報を削除※5※7	画像の位置情報を削除します。
地図に表示※5※7	Googleマップに位置情報を表示します。
リネーム※5	画像の名前を変更します。
印刷※5	画像を印刷できます。
画面の縦横比※4	画面の縦横比やサイズを選択します。
字幕※4	字幕の設定や検索をします。
共有※4	動画をBluetooth®やメール本文への挿入などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
ファイル情報※4※5	ファイル情報を表示します。
トリム※4	動画をトリムします。

※1　アルバム選択画面で表示されます。
※2　ロックしているファイルがある場合に表示されます。
※3　サムネイル表示画面で表示されます。
※4　動画再生画面で表示されます。
※5　静止画表示画面で表示されます。
※6　クラウドサービスのアカウントを登録している場合に表示されます。
※7　画像に位置情報を追加した場合のみ表示されます。

ミュージックプレイヤーを利用する

「音楽」アプリケーションは、microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されたデジタルオーディオファイルを再生します。
また、クラウドサービスを利用して曲をアップロードやダウンロードすることもできます。
再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.277)をご参照ください。

memo

- ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。
- 音楽データによっては、著作権により再生できないものがあります。

ミュージックライブラリ画面を表示する

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [音楽・書籍] ▶ [音楽]

ミュージックライブラリ画面が表示されます。

- ミュージックライブラリ画面は、「曲」「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」の4つのタブがあります。タブをタップすると、再生できる曲を表示できます。

❶ **表示切替**
画面の表示をミュージックライブラリ、マイリスト、サービスに切り替えます。
- 画面によって表示が異なります。

❷ **タブ**
曲の表示を「曲」、「アルバム」、「アーティスト」、「ジャンル」に切り替えます。

❸ **曲名**

❹ **アーティスト名**

❺ **検索**
ライブラリ内の曲/アーティストなどを検索します。

❻ **メニューアイコン**

❼ **インデックス**

❽ **再生パネル**
⏮:タップすると、再生中の曲の先頭から再生を始めます※。ロングタッチすると、再生中の曲を巻き戻します。ダブルタップすると前の曲の先頭から再生を始めます。
⏸/▶:一時停止/再生します。
⏭:タップすると、次の曲に進みます。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

※ 再生経過時間が1秒以下の場合は前の曲の先頭から再生を始めます。

ミュージックライブラリ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 ミュージックライブラリ画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

項目	説明
再生する音楽の選択	曲を選択して再生します。
プレイリストに追加	曲を選択してプレイリストに追加できます。
シャッフル（全曲）	すべての曲をシャッフル再生します。
削除	曲を選択して削除します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信できます。
クラウドにアップロード※1	クラウドサービスに曲をアップロードします。
リスト表示／グリッド表示※2	リスト／グリッド表示に切り替えます。
設定	全般	通知パネルに表示	通知パネルにミュージックプレイヤーのコントローラーを表示するかどうかを設定します。
		スリープタイマー	ミュージックプレイヤーを停止するまでの時間を設定します。
	サウンド	オーディオエフェクト	イコライザ、ピッチ、再生速度を設定します。 • 曲によっては操作できない場合があります。
	クラウドのアカウント	アカウント名※1	クラウドサービスを利用するアプリケーションを設定できます。
		アカウントを追加	クラウドサービスのアカウントを追加します。
ヘルプ			SmartShareガイド、周辺デバイスガイド、クラウドガイドを表示します。

※1　クラウドサービスのアカウントを登録している場合のみ表示されます。
※2 「アルバム」タブの場合に表示されます。

■ コンテキストメニューの場合

1 ミュージックライブラリ画面で曲名／アルバム名／アーティスト名／ジャンル名をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

項目	説明
再生	曲が再生されます。アルバム名／アーティスト名／ジャンル名をロングタッチした場合は、そのアルバム／アーティスト／ジャンルに登録されている曲をすべて再生します。
プレイリストに追加	曲をプレイリストに追加できます。

削除	曲を削除します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信できます。
クラウドにアップロード※1	クラウドサービスに曲をアップロードします。
着信音として設定する※2	曲を着信音に設定できます。
詳細情報※2	曲の詳細情報を表示します。
検索※3	同じタイトルの曲やアルバム、または同じ名前のアーティストをYouTubeやブラウザ、音楽アプリから検索できます。
カバーアートの変更※4	アルバムに登録されているカバーアートを変更します。

※1 クラウドサービスのアカウントを登録している場合のみ表示されます。
※2 曲名をロングタッチした場合のみ表示されます。
※3 曲名／アルバム名／アーティスト名をロングタッチした場合に表示されます。
※4 カバーアートが登録されているアルバム名をロングタッチした場合のみ表示されます。

曲を再生する

microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されたカテゴリー別のコンテンツを表示して再生できます。

- microSDメモリカード内の楽曲の再生中に「メモリの使用量を確認する」（▶P.206）は行わないでください。

1 ミュージックライブラリ画面 ▶「曲」「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」タブ

2 曲名をタップ

音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

❶ 戻る
前の画面に戻ります。

❷ LISMO Store
LISMO Storeで現在再生中の楽曲を検索します。

❸ SmartShare※1
再生／送信するデバイスを選択します。

❹ お気に入り※1
お気に入りに追加／削除します。

❺「再生中」プレイリスト画面を表示する

❻ メニューアイコン

❼ カバーアート
曲がアルバムに登録されている場合は、そのアルバムに登録されている画像が表示されます。また、左右にスワイプして前後の曲を再生したり、上下にスワイプして歌詞を表示したり、ロングタッチして曲やアーティスト、アルバムを検索したり、カバーアートを変更したりすることができます。

❽ 再生経過時間

❾ **シークバー**
ドラッグまたはタップすると、再生中の曲を任意の場所から再生します。

❿ **曲名/アーティスト名**

⓫ **音量調節ボタン**
タップして表示される調節バーをドラッグまたはタップすると、音量を調節できます。

⓬ **再生パネル**
⏮:タップすると、再生中の曲の先頭から再生を始めます※2。ロングタッチすると、再生中の曲を巻き戻します。ダブルタップすると前の曲の先頭から再生を始めます。
⏸/▶:一時停止/再生します。
⏭:タップすると、次の曲に進みます。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

⓭ **曲全体の長さ**

⓮ **シャッフル**
シャッフルのON/OFFを切り替えます。
アイコンが紫色の場合はシャッフルがON、グレーの場合はOFFであることを示します。

⓯ **リピート設定**
リピート(全曲)/リピート(1曲)/リピートOFFを切り替えます。

⓰ **オーディオエフェクトボタン**

※1 クラウドサービスの曲を再生している場合は表示されません。
※2 再生経過時間が1秒以下の場合は前の曲の先頭から再生を始めます。

memo

- 再生中は、ステータスバーに ▶ が表示されます。

音楽再生画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 音楽再生画面 ▶ [⋮]

項目	説明
検索	曲を検索します。
Dropboxで検索/ Boxで検索/ LG Cloudで検索※1	クラウドサービス上の曲を検索します。
プレイリストに追加	曲をプレイリストに追加できます。
Dropboxプレイリストへ追加/ Boxプレイリストへ追加/ LG Cloudプレイリストへ追加※1	プレイリストにクラウドサービス上の選択した曲を追加します。
削除	曲を削除します。
ダウンロード※1	クラウドサービス上の曲をダウンロードします。
リンクを共有※1	EメールやBluetooth®などで、クラウドサービス上の曲のリンクアドレスを共有できます。
クリップボードにリンクをコピーする※1	クラウドサービス上の曲のリンクアドレスをクリップボードにコピーします。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信できます。
着信音として設定する	曲を着信音に設定できます。
ミュージックビデオ	ミュージックビデオを閲覧できます。
詳細情報	曲の詳細情報を表示します。

設定	全般	通知パネルに表示	通知パネルにミュージックプレイヤーのコントローラーを表示するかどうかを設定します。
		スリープタイマー	ミュージックプレイヤーを停止するまでの時間を設定します。
	サウンド※2	オーディオエフェクト	イコライザ、ピッチ、再生速度を設定します。
	クラウドのアカウント	アカウント名※1	クラウドサービスを利用するアプリケーションを設定できます。
		アカウントを追加	クラウドサービスのアカウントを追加します。
ヘルプ			SmartShareガイド、周辺デバイスガイド、クラウドガイドを表示します。

※1 クラウドサービスのアカウントを登録している場合のみ表示されます。
※2 曲によっては操作できない場合があります。

プレイリストを利用する

再生中に見つけた好みの曲をお気に入りに登録したり、曲を集めてプレイリストを作成したりして、曲を便利に管理することができます。

- プレイリストは複数作成できます。

お気に入りに曲を追加する

1 音楽再生画面 ▶ [★]

お気に入りを表示／再生する

1 ミュージックライブラリ画面 ▶ [≣]
2 [お気に入り]
3 いずれかの曲をタップ
音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

プレイリストを作成する

1 ミュージックライブラリ画面 ▶ [≣] ▶ [プレイリスト]
2 [⋮] ▶ [新規プレイリスト]
3 プレイリスト名を入力
4 [OK]
5 追加したい曲にチェックを付ける
6 [追加]

プレイリストに曲を追加する

1 **ミュージックライブラリ画面で追加したい曲をロングタッチ**

2 **[プレイリストに追加]**

3 **操作したい項目をタップ**

- 「再生中のリスト」をタップした場合、現在再生しているプレイリストに追加できます。
- 「お気に入りプレイリスト」をタップした場合、お気に入りに追加できます。
- 「新規プレイリスト」をタップすると、新たにプレイリストを作成して、そのプレイリストに追加できます。
- 登録済みのプレイリストがある場合、該当のプレイリスト名をタップすると、そのプレイリストに追加できます。

memo

- ミュージックライブラリ画面 ▶ [⋮] ▶ [プレイリストに追加] ▶ 曲にチェックを付ける ▶ [追加] ▶ 操作したい項目をタップしても、曲をプレイリストに追加することができます。

プレイリストを表示する／音楽を再生する

1 **ミュージックライブラリ画面 ▶ [≡] ▶ [プレイリスト]**

2 **いずれかのプレイリストをタップ**

3 **いずれかの曲をタップ**

音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

外部機器を利用する

SmartShareを利用する

SmartShareは、DLNA（Digital Living Network Alliance）技術を用いたワイヤレスネットワークでデジタルコンテンツを共有できます。
この機能を利用するには、DLNA認証されたDLNA対応機器が必要です。DLNA対応機器は、映像や音楽を蓄積可能なサーバと再生機能を持つプレイヤー（クライアント）があります。
本製品のコンテンツをDLNA対応機器に送出するには、ギャラリー、音楽などのアプリケーションで、共有ツールとしてSmartShareを選択し、一覧からDLNA対応機器を指定します。
同一ネットワーク上のDLNAサーバーのコンテンツを表示するには、ギャラリー、音楽などのアプリケーションで、「周辺デバイス」を選択します。

memo

- SmartShareを利用するには、ご使用のDLNA対応機器がWi-Fi®でホームネットワークと接続していることを確認してください。
- DLNAのDMP機能のみ対応しているプレイヤーの場合、プレイヤー一覧画面に表示されないことがあります。
- また、一部のプレイヤーではコンテンツを再生することができない場合があります。

SmartShare Beamを起動しコンテンツを共有する

1 ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶[システム設定]▶「ネットワーク」タブ▶[共有と接続]▶[SmartShare Beam]

2 「SmartShare Beam」の[ ]

3 以下の項目を操作

デバイス名	他の機器に表示される機器名を設定できます。
ストレージ	データの保存先を変更します。
リクエストの自動許可	他の機器からの共有要求を自動的に許可するかどうかを設定します。
タイムアウト	SmartShare Beamが自動的にOFFになるまでの時間を設定します。
ファイル転送履歴	SmartShare Beamで送信したすべてのファイルを確認します。
ヘルプ	SmartShare Beamのヘルプを表示します。

SmartShare Beamでクライアント機器にファイルを送信する

本製品のコンテンツを他のクライアント機器に送信します。
ここでは例としてギャラリーから静止画を送信する方法を説明します。

- ご利用の機器のSmartShare Beam機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 ホーム画面▶[ ]▶[カメラ・写真]▶[ギャラリー]

2 送信したい静止画を選択して表示する

3 [ ]▶[SmartShare Beam]

4 送信するデバイスをタップする
- デバイスが表示されない場合は、「再スキャン」をタップしてデバイスをスキャンしてください。

SmartShare Beamでクライアント機器からファイルを受信する

コンテンツを他のクライアント機器から受信します。

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「はい」をタップ
- ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら、画面下部にメッセージ画面が表示されます。

テレビ

テレビでできること

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリケーションです。映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。
ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。
また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

「フルセグ」／「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

memo

- テレビは著作権保護のため、以下の機能はサポートしていません。
  - スクリーンショット
  - Qメモ+

テレビをご利用になる前に

■ テレビ利用時のご注意

- テレビの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- テレビ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中はテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気をとられ、交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 電池残量による動作

- 電池残量が少なくなった場合は、テレビを起動できません。
- テレビ起動中に電池残量が少なくなると、自動的にテレビが終了します。

■ 内部ストレージ残量による動作

- 録画した番組が蓄積した場合など、本体の内部ストレージ残量が不足するとテレビを起動できないことがあります。ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［ストレージ］▶［テレビボックス］と操作し、不要な番組を削除してください。

■ 連続視聴可能時間について

フルセグ	約4時間30分
ワンセグ	約5時間

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

テレビ

電波について

テレビを視聴するときは、必ず付属のLG TVアンテナケーブル01を本製品に接続してください。
LG TVアンテナケーブル01の接続方法は次のとおりです。

1 市販のイヤホンのプラグを、LG TVアンテナケーブル01のイヤホン端子に差し込む

2 LG TVアンテナケーブル01の接続プラグを、本製品のイヤホン端子に差し込む

memo

- LG TVアンテナケーブル01を接続すると、自動的に音声の出力先がイヤホンに切り替わります。LG TVアンテナケーブル01を接続した状態でスピーカーから音声を再生する場合は、テレビ視聴画面▶［ ⋮ ］▶［スピーカーで聴く］と操作します。

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビを見ることができます。

1 ホーム画面▶［ ］▶［TV・映像］▶［テレビ］

2 地域を選択

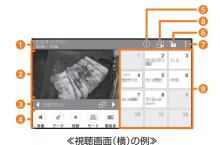
テレビ視聴画面が表示されます。

- チャンネルの検索時に、電波の受信状態が悪い場合は全部または一部のチャンネルが検索できないことがあります。電波の受信状態を良くしてから、再度チャンネルを検索してください。

テレビを見る

1 **ホーム画面 ▶［ ］▶［TV・映像］▶［テレビ］**

テレビ視聴画面が表示されます。

≪視聴画面(縦)の例≫

≪視聴画面(横)の例≫

❶ **番組情報表示エリア**

視聴中の番組の放送時間や番組名が表示されます。

❷ **テレビ放送エリア**

右側で上下にスワイプすると、音量を調節できます。
左側で上下にスワイプすると、画面の明るさを調整できます。
左右にスワイプすると、チャンネルを切り替えられます。
視聴画面（横）の場合：
タップすると、全画面表示に切り替わります。
全画面表示の場合：
タップすると、視聴画面（横）に切り替わります。

❸ **チャンネル名表示エリア**

- マルチサービス対応のチャンネルを視聴中に をタップするとサービスの切り替えができます。
- ／ をタップすると、チャンネルを切り替えられます。
- ／ をロングタッチすると、受信できるチャンネルを検索します。

❹ **操作アイコン**

音量：音量を調節します。
データ：データ放送を表示します。
録画／停止：録画を開始／停止します。
- 録画を開始してから5秒間は録画を停止することができません。

モード：テレビの視聴モードを自動／フルセグ／ワンセグに切り替えます。
番組表／チャンネル：視聴中のチャンネルの番組表／チャンネル一覧が表示されます。
- 視聴中の番組には、 が表示されます。
- 番組をタップすると、番組の内容が表示されます。［予約］▶［録画］／［視聴］と操作すると、録画予約／視聴予約ができます。録画予約／視聴予約したプログラムには ／ が表示されます。

❺ **プログラム情報表示**

❻ **画面ロックアイコン**

テレビ視聴画面を全画面表示でロックします。ロックした後、 をタップするとロックを解除します。

❼ **メニューアイコン**

❽ **画面回転**

❾ チャンネル一覧

チャンネルの一覧が表示されます。チャンネルをタップすると、チャンネルが切り替わります。マルチサービス対応のチャンネルをロングタッチするとサービスの切り替えができます。

memo

- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

データ放送を見る

テレビ視聴画面で「データ」をタップするとデータ放送画面が表示されます。

≪ワンセグの例≫

≪フルセグの例≫

❶ テレビ放送エリア

❷ 字幕エリア

字幕が表示されます。

❸ データ放送エリア

ワンセグの場合は上方向にドラッグまたはスワイプすると、データ放送の内容が全画面表示されます。

❹ データ放送操作ボタン

フルセグの場合：

- ／／／で項目にカーソルを合わせ、「OK」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- をタップするとテンキーを表示します。元の表示に戻す場合はをタップします。
- （青／赤／緑／黄）をタップすると、対応した色の操作ができます。
- をタップすると、リンク元に戻ります。
- ドラッグするとデータ放送操作ボタンを移動できます。
- をタップするとデータ放送操作ボタンを縮小表示します。元の表示に戻す場合はをタップします。
- をタップするとデータ放送画面を終了します。

ワンセグの場合：

- ／で項目にカーソルを合わせ、「OK」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- をタップすると、リンク元に戻ります。

memo

- フルセグの場合は、テレビ放送エリアや字幕エリア、データ放送エリアの位置が番組によって異なります。

TVリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（TVリンク）が表示される場合があります。TVリンクを登録しておくと、あとで関連サイトに接続できます。

- TVリンクを登録するには、データ放送エリアに表示されたTVリンクに登録可能な項目をタップしてください。
- TVリンクはワンセグのみ利用できます。

TVリンクを登録する

1 テレビ視聴画面で登録するTVリンクを選択 ▶［はい］／［常にはい］

TVリンクを表示する

1 テレビ視聴画面 ▶［ ］▶［テレビリンク］

TVリンク一覧画面が表示されます。

2 TVリンクを選択

登録されたサイトに接続します。

TVリンク一覧画面のメニューを利用する

1 TVリンク一覧画面 ▶ TVリンクをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

ファイル情報	選択したTVリンクの詳細を表示します。
削除	選択したTVリンクを削除します。

番組表を利用する

auテレビ.Gガイド番組表を利用できます。番組表からテレビ視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタルテレビ放送の番組のみです。
- auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

1 **テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [Gガイド]**

番組表画面が表示されます。
ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [TV・映像] ▶ [auテレビ.Gガイド] でも同様に操作できます。
番組表を初めて起動したときは、登録画面などが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 **番組を選択 ▶ [もっと見る]**

番組詳細画面が表示されます。

3 **[⊕]**

4 **以下の項目をタップ**

Myページ登録		好きなタレントやお気に入りの番組を登録しておくと、放送前に番組情報をメールでお知らせすることができます。 ※ ご利用には「auテレビ.Gガイドプレミアム（有料）」に登録する必要があります。
リモート録画予約		Panasonic製の録画機器を選択して、リモート録画予約することができます。
友達にシェア	LINE	お気に入りの番組をLINEやTwitter、Facebook、mixiを通じて友達と共有できます。
	Twitter	
	Facebook	
	mixi	
テレビアプリ連携	起動	選択した番組のチャンネルでテレビ視聴画面が表示されます。 ▶P.156「テレビを見る」
	録画予約	テレビの録画予約ができます。
	視聴予約	テレビの視聴予約ができます。

番組表のメニューを利用する

タブ

TOP	auテレビ.GガイドTOPを表示します。
現在放送中	現在放送中の番組を表示します。
Gガイド番組表	Gガイド番組表を表示します。
Myページ	Myページを表示します。
お知らせ	お知らせを表示します。

設定メニュー

1 番組表画面 ▶ [メニュー] ▶ [設定]

2 以下の項目をタップ

地域・視聴チャンネル設定	地域設定	どの地域の番組表を表示するかを設定します。
	視聴チャンネル設定	番組表に表示するチャンネルを設定します。
予約関連	リモート録画予約	リモート録画予約サイトのトップページを表示します。
お知らせ	今日のテレビ欄	番組情報の受け取りを設定します。 • 配信時間を設定する場合は[配信時間] ▶ 時間を選択と操作します。
	その他アプリからのお知らせ	お知らせの受け取りを設定します。
音声キャッチ	自動音声キャッチ	起動時に自動で音声キャッチを開始するかどうかを設定します。 •「音声キャッチ」とは、テレビ音声からユーザーが視聴している番組、CMを認識する機能です。
表示設定	再読み込み	番組表の表示内容を再取得します。
アプリケーション情報	チュートリアルを見る	チュートリアルを表示します。
	ヘルプ	番組表アプリの使い方を説明します。
	バージョン情報※	バージョン情報を確認します。

※ タップしても表示は変わりません。

視聴中の番組を録画する

1 テレビ視聴画面 ▶ [録画]

録画が開始されます。「停止」をタップすると録画を終了します。

memo

- 録画開始から約5秒間は、録画を停止できません。
- 録画した番組は内部ストレージに保存されます。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了することがあります。

テレビ番組を視聴予約／録画予約する

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

番組表から予約する

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [Gガイド]

番組表画面が表示されます。

2 予約したい番組を選択 ▶ [もっと見る] ▶ [⊕]

3 [テレビアプリ連携] ▶ [録画予約] ／ [視聴予約] ▶ [保存]

予約一覧に設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認／編集できます。

memo

- 録画した番組は内部ストレージに保存されます。

手動で予約する

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [予約一覧]

予約一覧画面が表示されます。

2 [+]

3 以下の項目をタップ

予約タイプ	録画、視聴を選択します。
モード	ワンセグ、フルセグを選択します。
録画可能時間	テレビの録画可能時間の目安を表示します。
チャンネル	チャンネルを設定します。
開始時刻	開始日、開始時刻を設定します。
終了時刻	終了日、終了時刻を設定します。
番組名	番組名を入力します。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻に予約を設定します。

4 [保存]

予約一覧に設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認／編集できます。

予約内容を削除する

1 予約一覧画面 ▶ [🗑]

2 予約内容の一覧で削除する予約内容にチェックを付ける

3 [削除] ▶ [はい]

録画した番組を再生する

1 **テレビ視聴画面 ▶［ ⋮ ］▶［テレビボックス］**

- ワンセグの番組には「1 seg」、フルセグの番組には「full seg」が表示されます。

2 **再生する番組をタップ**

再生画面が表示されます。

≪ワンセグの例≫

≪フルセグの例≫

❶ **データ再生エリア**

- データ再生エリアをタップすると、番組情報、画面回転アイコン、画面ロックアイコン、メニューアイコン、スライダ、再生時間が表示されます。
- （スライダ）でファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。
- ／ で再生画面を巻き戻し／早送りします。
- ／ でファイルの再生／一時停止を操作します。
- をタップして表示される調節バーをドラッグまたはタップすると、音量を調節できます。

❷ **データ放送エリア（ワンセグのみ）**

- ／ で項目にカーソルを合わせ、「OK」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- をタップすると、リンク元に戻ります。

テレビ

テレビの設定をする

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

視聴エリア切り替え		視聴エリアの追加や切り替えをします。
オートオフ		テレビを自動で終了する時間を設定します。
字幕		字幕の表示／非表示を設定します。
多重音声		音声を切り替えます。
スピーカーで聴く／イヤホンで聴く		音声の出力先をスピーカー／イヤホンに切り替えます。
設定	画面の明るさ	画面の明るさを調整します。
	画面サイズ	画面のサイズを設定します。
	スーパーインポーズ	文字スーパーを利用するかどうかを設定します。 文字スーパーは、緊急速報やニュース速報など映像に重ねて表示される情報です。
	CAS情報	フルセグ視聴時に必要な本製品のデバイス情報と受信したチャンネル別デバイス情報を表示します。 「リセット」をタップすると、チャンネル情報を再受信することができます。 フルセグ視聴で以下のメッセージが表示されて、視聴できないときはチャンネルのお客様センターに問い合わせてください。 「この受信機ではご覧になることができません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへお問い合わせください。」
	放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やTVリンクを消去します。
	郵便番号	郵便番号を設定します。 • フルセグのデータ放送のときに、天気などの地域情報に反映されます。

※ 番組によっては表示されない項目がある場合があります。

視聴エリアを追加する

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [視聴エリア切り替え]

視聴エリア一覧画面が表示されます。

2 [+]

3 地域を選択

視聴エリアが切り替わります。

視聴エリアを切り替える

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [視聴エリア切り替え]

視聴エリア一覧画面が表示されます。

2 地域を選択

視聴エリアが切り替わります。

アプリケーション

アプリケーション一覧

本製品にインストールされているアプリケーション一覧です。アプリケーションによってはフォルダに格納されているものもあります。

	電話・メール	
	電話	電話をかけることができます。（▶P.71）
	連絡先	電話番号やメールアドレスを登録して利用できます。（▶P.79）
	Eメール	@ezweb.ne.jpのEメールの送受信ができます。（▶P.88）
	SMS	テキストメッセージの送受信ができます。（▶P.122）
	Eメール	PCメールの送受信ができます。（▶P.127）
	カメラ・写真	
	カメラ	静止画／動画を撮影できます。（▶P.139）
	ギャラリー	内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存した静止画や動画を閲覧できます。（▶P.144）
	バーコードリーダー	バーコードリーダー「アイコニット」は、QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキストなどのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。
	au Cloud	スマートフォンに保存されている写真や動画をお預かりするアプリです。自動・手動どちらでも預けることができます。ただし、自動でのお預かりは、Wi-Fi（またはWiMax）に接続している場合のみとなります。
	スクリーンショットシェア	表示中の画面を、カンタンな操作で撮影、保存することができます。 撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり編集して、Facebook・TwitterなどのSNSやEメールで友達と共有できます。（▶P.173）

	インターネット	
	インターネット	ウェブページの閲覧ができます。（▶P.134）
	ダウンロード	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。（▶P.172）
	ポータル・買い物	
	auスマートパス	月額372円（税抜）でアプリが取り放題。その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。（▶P.175）
	au WALLET	au WALLET カードをより便利に使いこなすためのアプリです。カード残高・ポイント残高などauカード管理機能を提供します。
	au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。
	auショッピングモール	日用品·スマートフォングッズ·グルメ·ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。
	じぶん銀行	入出力明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。
	おサイフケータイ	おサイフケータイ®の設定をします。（▶P.196）
	SmartWorld	SmartWorldのサイトに接続します。
	ツール	
	カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます。（▶P.186）
	時計	アラームやタイマーの設定、ワールドクロックやストップウォッチが利用できます。（▶P.189）

	電卓	電卓を利用できます。（▶P.191）
	Qメモ+	テキスト入力や画像などを挿入したメモを作成できます。（▶P.193）
	ボイスレコーダー	音声を録音したり、再生したりできます。（▶P.185）
	ThinkFree Viewer	さまざまな文書フォーマットを簡単に読むことができます。（▶P.193）
	赤外線	赤外線を使ってデータを送受信するための設定を行います。（▶P.239）
	Qリモート	本製品をTVやオーディオ機器などのリモコンとして使用できます。
	Box	ファイルの編集や管理、共有ができるサービスです。
	ファイルマネージャー	本製品内のデータやmicroSDメモリカード内のデータの表示や管理ができます。
	タスク	タスクを管理できます。
	TV・映像	
	ビデオパス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。
	アニメパス	アニメ動画見放題サービスです。人気のアニメや懐かしアニメなど様々なアニメを楽しむことができます。
	テレビ	テレビやデータ放送の視聴や録画ができます。（▶P.154）
	auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。

	音楽・書籍	
	うたパス	最新J-POPやCMで流れるあの曲からアニソン、懐かしのヒット曲まで100万曲以上。 150以上の多彩なチャンネル・プログラムから選んで音楽を楽しむ月額制のラジオ型音楽サービスです。
	音楽	保存している音楽を再生できます。（▶P.146）
	LISMO	音楽を再生したり、最新の楽曲情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。
	ブックパス	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。
	ゲーム・エンタメ	
	Disney pass	Disneyキャラクターの壁紙やきせかえ、動画、カレンダー等を取りそろえた月額コンテンツ使い放題サービスです。 au限定スマホケースとセットのご利用形態もご用意しています。 ©Disney
	ゲームギフト	大人気ゲームのアイテム無料配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報など、さまざまなお得（ギフト）を提供するアプリです。
	CocoPPa	お気に入りの画像をアイコンや壁紙としてホーム画面に配置できる着せ替えアプリです。
	ニュース・天気	
	isaiマガジン	キーワードに関連するサービス情報を自動的に収集し表示するアプリです。
	グノシー for au	雑談のネタを3分まとめ読み。サクサク使えて、すっきり読める。社会・スポーツ・芸能から、やわらかコラム・まとめまで幅広くカバーできるニュースアプリです。

アプリ	説明
Antenna	ファッションやグルメなどの情報をまとめて配信する無料のキュレーションマガジンです。
天気	天気予報を確認できます。
おでかけ情報	
isaiモーションおでかけ	お客様の現在地周辺の情報（レストラン、ショップ、イベント／スポット）を一覧表示することができます。
ナビウォーク	乗物･徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
安心・サポート	
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができます。（▶P.181）
auお客さまサポート	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。（▶P.176）
安心アクセス	お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。（▶P.179）
Lookout for au	端末を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリモートで端末の位置検索やロックをかけることができるアプリです。（▶P.176）
リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。（▶P.177）
取扱説明書	本製品の取扱説明書を表示します。（▶P.ii）
歩きスマホ注意アプリ	歩きスマホは大変危険です。歩きスマホを検知してお知らせします。

アプリ	説明
設定・サポート	
設定	本製品の各種設定を行います。（▶P.208）
NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。（▶P.199）
NFCタグリーダー	NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。（▶P.200）
GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけかたなどをチェックできるアプリです。
au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi®親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。（▶P.184）
Friends Note	Friends Noteはau携帯電話からのアドレス帳移行やサーバへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。（▶P.173）
auバックアップアプリ	お客様のスマートフォンに保存しているさまざまなデータをSDカードにバックアップ／復元できるアプリです。 自動バックアップ機能では、お客様が設定した曜日、時間にバックアップを自動実行します。（▶P.192）
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
au ID 設定	au IDの設定を行います。

	Google	
	Google	Google検索を利用できます。
	音声検索	Google音声検索を利用できます。
	Gmail	Gmailの送受信ができます。（▶P.129）
	Google+	Google+で写真を管理できます。
	Playムービー&TV	Google Playで映画をレンタルして視聴したり、個人で撮影した動画を管理したりすることができます。
	Playブックス	Google Playで書籍を購入したり、購入した書籍を閲覧したりできます。
	Play ゲーム	ゲームを楽しめるアプリケーションです。
	ドライブ	ファイルをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。
	写真	撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Google+にバックアップすることができます。
	ハングアウト	チャットやビデオ通話ができます。（▶P.172）
	Google設定	Google+やGoogleマップなどの設定を行います。
	フォルダに格納されていないアプリケーション	
	LINE	LINEは24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。
	Facebook	友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。（▶P.173）
	GREEマーケット	GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。
	Chrome	ウェブページが閲覧できます。
	Playストア	Google Playを利用できます。（▶P.169）
	マップ	現在地や目的地の地図を表示したり、目的地の検索ができます。（▶P.172）
	YouTube	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。（▶P.171）
	シンクコール	操作中の画面のまま、着信を受けて、通話ができます。 さらに、通話相手と「表示中の画面、カメラ越しの風景、画面上の手書き内容、お互いの位置情報」をリアルタイムで共有する機能を、2015年春以降に提供予定です。

※ 利用するにはダウンロード／インストールが必要なアプリケーションがあります。その場合には、アイコンをタップした際、ダウンロード／インストールの確認画面が表示されます。

memo

- 各メニューからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。
- 「データの初期化」（▶P.226）をしても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google Play画面 ▶ [ ] ▶ [ヘルプ] と操作してGoogle Playヘルプセンターをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶ [Playストア]

Google Play画面が表示されます。
利用規約が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションによっては、動作中スリープモードに移行しなくなる場合やバックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなる場合があります。
- アプリケーションをインストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

アプリケーションを検索する

Google Play画面には、検索アイコン、おすすめのアプリケーションや映画、「アプリ」「ゲーム」「映画&テレビ」「書籍」カテゴリへのリンクが表示されます。

- 検索アイコンをタップしてキーワードを入力すると、アプリケーションの名前などでアプリケーションを検索できます。
- おすすめのアプリケーションや映画は、縦方向にスクロールして確認できます。
- 「アプリ」または「ゲーム」カテゴリを選択し、横方向にスクロールすると、「カテゴリ」「ホーム」「有料トップ」「無料トップ」「売上トップ」「新着有料トップ」「新着無料トップ」「急上昇」に分類して表示できます。
- 「映画&テレビ」カテゴリを選択し、横方向にスクロールすると、「カテゴリ」「ホーム」「ベストセラーの映画」「新作映画」「人気の番組」「新しい番組エピソード」に分類して表示できます。
- 「書籍」カテゴリを選択し、横方向にスクロールすると、「カテゴリ」「ベストセラー」「新作のフィクション」「新作のノンフィクション」「無料トップ」に分類して表示できます。

無料のアプリケーションをインストールする

1 **Google Play画面でダウンロードする無料のアプリケーションをタップ ▶ [インストール] ▶ [同意する]**

アプリケーションのダウンロード/インストールが開始されます。

有料のアプリケーションをダウンロードする

有料のアプリケーションをダウンロードするには、「auかんたん決済」に登録するか、Googleウォレットアカウントを作成する必要があります。
アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

1 **Google Play画面で購入するアプリケーションをタップ ▶ 価格をタップ ▶ 画面の指示に従って購入/ダウンロード**

- アプリケーションの購入時は、支払い方法の設定をする必要があります。画面の指示に従って操作してください。
- 選択したアプリケーションによって操作方法が異なる場合があります。

memo

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。
- 詳細については、Google Play画面 ▶ [≡] ▶ [ヘルプ] と操作してGoogle Playヘルプセンターをご参照ください。

返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

memo

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［セキュリティ］

2 「提供元不明のアプリ」にチェック ▶［OK］

インストールされたアプリケーションを削除する

- アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［アプリ］

2 削除するアプリケーションをタップ

3 ［アンインストール］▶［OK］

YouTube

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはYouTube用アカウントを設定する必要があります。

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［YouTube］

新しいバージョンの案内などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 動画を選択

memo

- Android向けYouTubeの詳細については、YouTube画面 ▶［ ］▶［ヘルプ］と操作して確認してください。

Googleサービス

Googleハングアウトを利用する

Googleハングアウトは写真や絵文字、ビデオなどを使って会話を楽しむことができます。

- Googleハングアウトの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- 初めて起動したときはSMSの利用に関するメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 利用方法などの詳細については、Googleハングアウトの画面 ▶［ ⋮ ］▶［ヘルプとフィードバック］と操作し、ヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［ ⊞ ］▶［Google］▶［ハングアウト］

Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。

- Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ「位置情報」を有効にする必要があります。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページや、Googleマップ画面 ▶［ ≡ ］▶［ヘルプ］と操作してGoogleマップのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［ ⊞ ］▶［マップ］

Googleマップ画面が表示されます。
メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

周辺のスポットを確認する

1 Googleマップ画面 ▶ 検索欄をタップ

2 カテゴリーをタップ

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 Googleマップ画面 ▶［ Y ］

2 交通手段を選択

（車）／（公共交通機関）／（徒歩）から選択します。

3 出発地を入力

4 目的地を入力

ルートの検索結果が表示されます。

5 検索結果をタップ

目的地までのルートが表示されます。

ダウンロードを利用する

ブラウザからダウンロードしたデータの一覧を表示し、データの管理を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶［ ⊞ ］▶［インターネット］▶［ダウンロード］

ダウンロードしたデータの一覧が表示されます。

2 データを選択

Facebookを利用する

Facebookを利用して、友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりなどができます。

- Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。
  https://www.facebook.com/

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [Facebook]

2 電話番号またはメールアドレスを入力 ▶ パスワードを入力 ▶ [ログイン] ▶ 画面の指示に従って操作

アカウントをお持ちではない場合は「Facebookに登録」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

Friends Noteを利用する

Friends Noteはau携帯電話からのアドレス帳移行やサーバへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定・サポート] ▶ [Friends Note]

初回起動時にはFriends Noteの紹介画面や許可画面、利用規約などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

スクリーンショットシェアを利用する

表示中の画面をカンタンな操作で撮影、保存することができます。撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり、編集してFacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。

スクリーンショットを撮る

撮影したい画面を表示した状態で、画面左上端の領域から中央に向けて指をスライドさせるとスクリーンショットシェアのアプリが起動してスクリーンショットシェア画面が表示され、スクリーンショットを撮ることができます。

- お買い上げ時は画面をスライドさせてスクリーンショットを撮影できません。ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [カメラ・写真] ▶ [スクリーンショットシェア] と操作するか、ステータスバーを下にスライド ▶ [スクリーンショットシェア] と操作して、スクリーンショットシェアを起動させると撮影できるようになります。
- スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置は、スクリーンショットシェア画面 ▶ [設定] ▶ [スライド位置設定] で設定できます。

画像を編集する

編集ボタンからスクリーンショットで撮った画像を編集できます。トリミング・画像の回転・画像にスタンプを押すことができます。

画像を他のアプリへ連携する

送信先アプリ選択ボタンに画像を共有するアプリ（SNSやEメールなど）を登録することができます。登録したアプリのアイコンを押すことで、スクリーンショット画像とテキストエリアに入力したコメントやURLをSNSに投稿したり、Eメールで送信できます。

❶ **画像添付切替ボタン**
撮影したスクリーンショット画像を添付するかどうかを切り替えます。

❷ **テキストエリア**
画像を他のアプリに共有する際に一緒に入力した文字を連携できます。

❸ **送信先アプリ選択ボタン**
画像をメールアプリやSNSアプリに連携します。
表示されているアプリケーションを変更する場合は、変更するアプリケーションをロングタッチし、「エリア内までアイコンを運び離すと削除されます」にドラッグして指を離します。アプリケーションが削除された後「追加」をタップし、アプリケーションを選択します。

❹ **編集ボタン**
画像を編集できます。

❺ **保存ボタン**
画像を保存できます。

❻ **設定ボタン**
機能の有効／無効、スライドの位置設定などの設定項目についての変更ができます。

❼ **情報付加ボタン**
タップすると、テキストエリアにマップの位置や、表示されているアプリの詳細説明ページのURLなどの情報を追加できます。

■ **設定項目**

項目	概要
スクリーンショット設定	スクリーンショットシェアを利用するかどうかを設定します。
スライド位置設定	スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置の設定をします。
クリップボード設定	共有時にテキスト入力欄に入力したテキストをコピーするかどうかを設定します。Facebookなど、送信先のアプリでテキストの連携ができない場合は、この設定を「保存する」にして、送信先のアプリでテキストを貼り付けてください。
auスマートパスアプリ情報設定	「情報付加ボタン」で追加するときに、auスマートパスの情報を付加するかどうかを設定します。
バイブ設定	スクリーンショットを撮影するときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
ヘルプ	スクリーンショットシェアのヘルプを表示します。

memo

- 「テレビ」アプリケーションなど、画像の保存が禁止されているアプリではスクリーンショットは撮影できません。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額372円（税抜）でアプリ取り放題、会員特典としてのお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画・連絡先のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法、最新のお知らせについては、auスマートパスアプリをご参照ください。

memo

- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面 ▶［auスマートパス］

auスマートパスアプリのご利用にはau IDログインが必要です。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

- 初回起動時はアプリ利用方法についてのチュートリアルが表示されます。
- 画面遷移に従って、天気・占い・運行情報・朝刊設定を行うとアプリホーム画面で各種情報を受け取ることができます。
- 設定はアプリホーム画面右上の ☐ で変更ができます。
- auスマートパスの最新情報はアプリホームにてお知らせしています。 auスマートパスの各コンテンツはサイドメニュー※からご利用頂けます。

※ サイドメニューは画面左下の ☰ をタップしてください。

2 ［☰］

auスマートパスの各コンテンツ、並びにニュース、天気、占い等主要サービスの一覧が表示されます。

3 以下の項目をタップ

アプリ	アプリ500本以上が利用可能！あの人気アプリや高額アプリも使い放題！
会員特典	クーポン、宿泊割引、チケット先行受付など、会員だけの特典がいっぱい！
あんしん	写真や動画の預かりやウイルス対策であなたのスマートフォンをしっかり守ります！ さらに、なくしたスマホもお客さまセンターがあなたに代わりお探しします！
ビデオパス	映画やドラマ・アニメが月額562円（税抜）でいつでもどこでも見放題！
うたパス	最新のJ-POPから懐かしのヒット曲まで！150以上の音楽チャンネルが月額300円（税抜）で聴き放題！
ブックパス	コミックも！雑誌も！写真集も！月額562円（税抜）で電子書籍が読み放題！
アニメパス	人気アニメが月額400円（税抜）で見放題！！声優コラムなどアニメ情報も充実！！
ディズニーパス	あなたのスマホがディズニーの世界に！月額372円（税抜）でディズニーのコンテンツが使い放題！

memo

- サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリケーションについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- アプリケーションなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ご利用になれるコンテンツは機種によって異なる場合があります。
- 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に［▤］▶［ヘルプ］と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［⊞］▶［安心・サポート］▶［auお客さまサポート］

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- 初めて起動したときは設定メニューが表示され、アカウント設定およびメッセージ受信設定などが行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「アカウントを設定せずに利用する」をタップします。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。
- 「アプリケーションのバージョンアップが必要です。」と表示された場合は、「はい」をタップしてください。

2 以下の項目をタップ

項目	説明
確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
データ通信量	ご利用のパケット数やデータ通信量が確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
操作・設定・トラブル	機種別の操作設定ガイドや、お問い合わせの多いQ&Aを確認できます。
おすすめアプリ	各種サポートアプリを利用できます。
auスマートサポート	auスマートサポート会員専用メニューです。
お客さまセンターからのメッセージ	お客さまセンターからのメッセージを確認できます。

memo

- 画面右上の ▤ をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や、設定メニューなどが表示されます。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制※のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「Lookout for au」「リモートサポート」の2種類のアプリケーションを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。
その他､「スマホお試しレンタル」など初心者の方でも安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

※ 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

memo

- 「Lookout for au」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「位置検索をご利用いただくにあたって」（▶P.177）、「Lookout for auを利用する」（▶P.177）および「リモートサポート」（▶P.177）をあわせてご参照ください。

■Lookout for au

- 本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客さまのパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロック、警報鳴動、データ削除をすることができます。
- 初めて起動したときは、Lookout for auのご案内画面が表示されます。内容をご確認のうえ、メールアドレスを入力 ▶ パスワードを入力 ▶［保護を開始］▶［続行］▶［終了］と操作してください。
- ご利用の際にはLookout for auの「デバイス管理機能」を有効にしてください。無効の場合は、リモートロックの機能が正常に動作しないことがあります。

■リモートサポート

- スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、アドバイザーがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ご利用上の注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ご契約いただいているau Nano IC Card 04情報と利用開始設定時のau Nano IC Card 04情報が一致している端末の検索ができます。
- auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。
- 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
- 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
- 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。また、お客様のau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

Lookout for auを利用する

紛失端末の位置検索機能を設定していない場合、次の操作で設定します。

1. ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [安心・サポート] ▶ [Lookout for au]
2. メールアドレスとパスワードを入力 ▶ [保護を開始]

リモートサポートを利用する

1. auスマートサポートセンターまでお問い合わせ
   auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。
   「リモートサポート」をご希望のスマートフォン以外からお電話ください。
2. ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [安心・サポート] ▶ [リモートサポート]
   起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。
3. アドバイザーの指示に従って操作

スマートフォン自動診断を利用する

■スマートフォン自動診断でできること

- スマートフォンの設定や状態を自動的に診断し、問題が見つかった場合は、自動的に修復したり、修復方法を確認することができます。
- スマートフォンの設定や状態以外にも、契約状況に問題がある場合は、状況を確認することができます。
- コンディションレコーダーの機能により、スマートフォンを好調だった時点に戻すことができます。
- スマートフォンの状態によっては、インストール済みのアプリケーションをバージョンアップすることにより修復できる場合もあります。
- 診断コードを使用した修理相談ができます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [安心・サポート] ▶ [auお客さまサポート] ▶ [おすすめアプリ] ▶ [スマートフォン自動診断] ▶ [アプリを起動する]

- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 以下の項目をタップ

自動診断	「問題を検出する」をタップすると診断を開始します。診断が終了したら「次へ」をタップして診断結果および修復結果と、修復方法を確認してください。
アプリの更新	インストール済みのアプリケーションのバージョンアップによる修復を行います。アプリケーションの種類（「Google Play」または「auマーケット」）を選択してください。
コンディションレコーダー	自動診断で解決しなかった場合、グラフによりスマートフォンの調子を確認し、指定の日時の状態に戻すことができます。
修理相談	画面に表示された診断コードを使用して、安心ケータイサポートセンターに修理相談をすることができます。

memo

- トップメニュー画面下部の「サービス概要」をタップすると、スマートフォン自動診断アプリの操作についての詳細を確認できます。

自動診断

- 診断終了後に「よくあるご質問」が表示されます。そちらもご確認ください。

コンディションレコーダー

- 指定した日時の状態に戻すと、その間に行った一切の変更（アプリのインストール、アンインストール含む）が元に戻ります。
- 本アプリは、本アプリをインストールしてから、スマートフォンの状態を記録し始めます。本アプリを利用する前の状態には情報がないため、戻せません。
- 過去の状態に戻して何らかの不都合が生じた場合は、再度今の状態に戻すことも可能です（ただし、一部データを除く）。詳細は「ヘルプ」タブをタップしてください。

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリケーションです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、保護者が特定のウェブページやアプリケーションを個別に制限/許可してカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限することもできます。

- ご利用にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、「設定ガイド」をご参照ください。

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [安心・サポート] ▶ [安心アクセス]**

アイコンをタップすると「安心アクセス for Android」のダウンロードページが表示されます。画面の指示に従ってダウンロード、および、インストールをしてください。
正常にインストールが完了したら「アプリ起動」をタップしてください。
初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

2 **[au IDでログイン]**

画面の指示に従って操作してください。

3 **仮パスワードを入力 ▶ 仮パスワード(確認)を入力**

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 **フィルタリングの強度を選択**

小学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリは利用可能です。
高校生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 **[規約に同意してサービスを利用開始する] ▶ [OK]**

利用規約を必ずご確認ください。デバイス管理者を有効にする画面が表示されます。

6 **[有効にする]**

ウェブページが表示されます。

■管理者情報を登録する

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [安心・サポート] ▶ [安心アクセス]

2 「 」をロングタッチ ▶ [その他] ▶ [管理者登録]

画面上の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力 ▶ [仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力 ▶ 管理者ID（確認）を入力 ▶ [管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力 ▶ [管理者登録を行う] ▶ [OK]

■管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

- 以下の操作でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [安心・サポート] ▶ [安心アクセス]

2 「 」をロングタッチ ▶ [その他] ▶ [設定] ▶ [管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力 ▶ [ログイン]

4 以下の項目をタップ

管理者情報	管理者ID（メールアドレス）やパスワードの変更ができます。
スマホ情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。

memo

- 詳しくはauホームページをご参照ください。
  http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービス、災害情報を利用することができるアプリです。

1 ホーム画面 ▶ [⊞] ▶ ［安心・サポート］ ▶ ［au災害対策］

au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能になるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他通信事業者の携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご覧ください。

1 au災害対策メニュー ▶ ［災害用伝言板］

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

- 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは「アドレスの変更やその他の設定をする」（▶P.116）をご参照ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
- 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の受信設定が「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー ▶ ［緊急速報メール］

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2 以下の項目をタップ

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード（サウンドプロフィールが「バイブレートのみ」または「サイレント」）設定中に受信したとき、鳴動するかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

- 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
  ※ 緊急地震速報の場合は、警報音と音声（「地震です」）、バイブレータの振動で通知します。
- 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
- 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
- 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
- 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
  http://www.jma.go.jp/
- 電源を切っているときは、緊急速報メールを受信できません。
- 緊急速報メールを通話中に受信した場合は、警報音が鳴りません。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー ▶ ［災害用音声お届けサービス］

■ 音声を送る（送信）

［声をお届け］を選択 ▶ ［①お届け先を選択※］ ▶ ［②お届けしたい声を録音］の順で操作してください。

※ お届け先は、連絡先からも選択可能です。

■ 音声を受け取る（受信）

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

- Wi-Fi®でのご利用には、4G（LTE/WiMAX 2+）ネットワークにて初期設定が必要になります。
- 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
- au携帯電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとり可能です。
- メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモード（サウンドプロファイルを「バイブレートのみ」、「サイレント」）に設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
- 本体（メモリ）に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
- 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害情報を利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータルなどを確認できます。

1 **au災害対策メニュー ▶［災害情報］**

2 **画面の指示に従って操作**

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi®親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。

- 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面 ▶［ヘルプ］と操作してヘルプをご参照ください。

1 **ホーム画面 ▶［ ］▶［設定・サポート］▶［au Wi-Fi接続ツール］**

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。
初回起動時には、許可画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音できます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [ボイスレコーダー]

ボイスレコーダー画面が表示されます。

❶ ボイスデータ名
❷ 現在の録音時間
❸ 一覧表示
❹ 録音／一時停止
録音を開始・一時停止します。
❺ ストレージ／ブックマーク
保存先の変更／録音中の音声にブックマークを追加します。
❻ 録音停止
録音を停止します。

録音する

1 ボイスレコーダー画面 ▶ [ ]

録音が開始されます。

2 [ ]

録音が停止します。録音したボイスデータは自動的に保存されます。ボイスデータ一覧画面に遷移します。

■ 録音後に再生する

1 ボイスデータ一覧画面 ▶ [ ]

録音を行った直後では、録音したボイスデータが再生されます。

memo

- 録音中に着信があり通話を開始すると、録音が停止してデータが保存されます。
- 録音中に をタップしても、継続して録音できます。録音中はステータスバーに が点滅表示されます。

再生する

1 ボイスレコーダー画面 ▶ [ ]

2 再生したいボイスデータをタップ

録音したボイスデータが再生されます。

❶ **共有**
Bluetooth®やEメールなどで送信します。

❷ **削除**
選択したデータを削除します。

❸ **新しい録音**
ボイスレコーダー画面に戻ります。

❹ **ボイスデータ名**

❺ **再生位置**

❻ **再生時間**

❼ **音量**
タップして表示される調節バーをドラッグまたはタップすると、音量を調節できます。

❽ **再生／一時停止**
：再生します。
：一時停止します。

❾ **ブックマーク**
ブックマークしたところから再生できます。

❿ **トリム**
録音データの前後をカットすることができます。

⓫ **全再生時間**

⓬ **停止**
停止します。

memo

- ボイスデーター覧画面でボイスデータをロングタッチすると、ファイル情報の確認やリネームなどができます。

カレンダーを利用する

カレンダーを1年、1ヶ月、1週間、1日で表示することができます。

- 「アカウントと同期」を利用して、サーバに保存されたカレンダーと本製品のカレンダーを同期できます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [カレンダー]
カレンダー画面が表示されます。

❶ **Qスライド**
画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。

❷ **今日**
今日の日付が選択されます。

❸ **予定の新規作成**
▶P.187「予定を新規登録する」

❹ **メニューアイコン**

❺ **表示切替**
カレンダーの表示を切り替えます。

《カレンダー画面》

❻ **今日の日付**

❼ **予定**
登録されている予定がある場合、登録済みの予定のタイトルやステッカーなどが表示されます。登録したアカウントや予定の期間や時間帯によって表示が異なります。

❽ **選択されている日付**
橙色の枠で囲んで表示されます。

❾ **表示中の年月日**
「<」／「>」をタップすると前後の年月日に切り替えられます。
- カレンダー画面の日時部分を左右にスワイプしても、前後の年月日に切り替えられます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

Qスライド	画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。
今日	今日の日付に移動します。
予定の新規作成	予定を新規登録します。
日付選択	素早く日付を移動したいときに使用します。
検索	スケジュールを検索できます。
今すぐ同期	サーバに保存されたカレンダーと同期を行います。
カレンダーを同期する	カレンダーへの表示や同期の設定を変更できます。
削除	登録している予定を削除します。
設定	▶P.188「カレンダーを設定する」

※ メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

予定を新規登録する

1 カレンダー画面 ▶ [+]

予定編集画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

アカウント名	予定を登録するアカウントを選択します。
(イベントの色)※	カレンダーに表示する予定の色を選択します。
イベント名	予定のタイトルを入力します。
(ステッカー)	カレンダーに表示する予定のステッカーを選択します。
場所	予定の場所を入力します。 • をタップすると地図から場所を選択できます。
開始	開始日時と終了日時を設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。
終了	
終日	予定を終日に設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
繰り返し	予定の繰り返しを設定します。
ゲスト※	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 • 「,」で区切って、複数入力できます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。 • をタップすると、連絡先から選択できます。 • 「任意のゲストを追加」をタップすると、任意にゲストを追加することができます。
内容	予定の内容を入力します。

通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。 •「通知の追加」をタップすると通知を追加できます。 • ⊗ をタップすると、通知設定を削除できます。
外部向け表示	外部向け表示を設定します。
公開設定	公開設定を設定します。

※ 登録先がGoogleアカウントの場合のみ表示されます。

3 ［保存］

カレンダーを設定する

通知方法や、通知音の変更などの詳細を設定することができます。

1 カレンダー画面 ▶［ ⋮ ］▶［設定］

2 以下の項目をタップ

カレンダー設定	カレンダー設定を行います。
予定の通知設定	予定通知に関する設定を行います。
アカウント名	アカウントごとに同期するかどうかを設定できます。
アカウントを追加	アカウントを追加することができます。

予定を確認／編集する

1 カレンダー画面 ▶ 1ヶ月表示画面で予定の入っている日付を選択

2 予定を選択

予定詳細画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

通知	「通知の追加」をタップすると通知を追加できます。 「 ⊗ 」をタップすると、通知設定を削除できます。
✎	登録した予定を編集します。
🗑	予定を削除します。

memo

- 1ヶ月／1日／1週間表示画面で対象の日付／時刻をロングタッチすると、予定の新規作成ができます。
- 予定詳細画面 ▶［ ⋮ ］▶［共有］と操作すると登録した予定をEメールやGmailなどで送信できます。

アラーム／タイマー／ワールドクロック／ストップウォッチを利用する

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

1 **ホーム画面 ▶［ ］▶［ツール］▶［時計］▶「アラーム」タブ**

アラーム画面が表示されます。

2 **アラームを選択**

「+」をタップしてもアラームを登録できます。

3 **各項目を編集 ▶［保存］**

編集内容を保存して、アラーム画面に戻ります。
アラーム編集中に「キャンセル」をタップすると、編集中のアラーム設定が初期化されます。

memo

アラームを設定した時刻になると

- アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。
- 「停止」をタップするとアラームは停止します。
- 電源が入っていない場合、アラームは鳴動しません。
- アラームを設定した時刻になったときに通話中だった場合は、バイブレートの設定にかかわらず、バイブレータが起動します。また、通話中画面にダイアログボックスが表示され「スヌーズ」をタップするとスヌーズモードになります。

スヌーズモードを設定すると

- スヌーズモードを解除するには、アラーム鳴動中に「停止」をタップするか、または通知パネルに「スヌーズしました」が表示されているときに「解除」をタップします。
- アラーム鳴動中に「スヌーズ」／ をタップすると、アラームを停止します（スヌーズは解除されません）。
- アラーム鳴動中に音量キー（DOWN ／ UP）を押しても、アラームを停止できます。停止動作は、アラーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［音量ボタン操作時の動作］の設定により異なります。

■アラームの入力項目について

項目	説明
時刻	お知らせする時刻を設定します。 • アラーム設定が無効の場合、時刻を設定すると自動的にアラーム設定が有効になります。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。 • 毎日アラームを鳴動させたい場合はすべての曜日を選択します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
バイブレート	バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	アラームの音量を調節します。
アプリ自動起動	アラームを停止したときに実行するアプリケーションを設定します。
パズルロック	アラームを止めるためにパズルを解くかどうかを設定します。
メモ	メモを入力できます。

■アラームの鳴動方法を設定する

1 **アラーム画面 ▶ [⋮] ▶ [設定]**

2 **以下の項目をタップ**

マナーモードに設定中の鳴動	マナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定）でもアラームを鳴らすかどうかを設定します。
音量ボタン操作時の動作	アラーム鳴動中に音量キーを押したときの動作を設定します。
パズルロック	パズルロックで使用するパズルの種類を選択します。

タイマーで時間を計る

最大99時間59分59秒までタイマーを設定できます。

1 **ホーム画面 ▶ [⊞] ▶ [ツール] ▶ [時計] ▶「タイマー」タブ**

タイマー画面が表示されます。

2 **時間を選択 ▶ [開始]**

カウントダウンを開始します。
カウントダウン中に「停止」／「再開」をタップするとカウントダウンを一時停止／再開できます。
また、「リセット」をタップするとカウントダウンをやり直すことができます。
• ［ ⋮ ］▶［設定］と操作すると、バイブレータやアラーム音の設定を行えます。

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を表示できます。

1 **ホーム画面 ▶ [⊞] ▶ [ツール] ▶ [時計] ▶「ワールドクロック」タブ**

ワールドクロック画面が表示されます。

2 **[+] ▶ 確認する都市を入力 ▶ 都市を選択**

ワールドクロック画面に選択した都市が表示されます。

memo

• サマータイムで表示されている都市には、時刻の左に ☀ が表示されます。サマータイムの期間により、時刻が正確に表示されない場合があります。

■ コンテキストメニューの場合

1 ワールドクロック画面で都市をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

サマータイムの設定	時刻をサマータイムで表示するかどうかを設定します。
削除	選択した都市を削除します。

ストップウォッチで時間を計る

1/100秒単位で99時間59分59秒99まで計測できます。最大100件のラップタイムを記録できます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [時計] ▶「ストップウォッチ」タブ

2 [開始]

「ラップ」をタップするたびにラップタイムを記録し、一覧表示します。
計測中に「停止」／「再開」をタップすると計測を一時停止／再開できます。
また、「リセット」をタップすると計測中の記録をすべて破棄します。

電卓で計算する

最大12桁の計算を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [電卓]

memo

- 表示されている数値をロングタッチすると、切り取り／コピー／貼り付けできます。操作方法については、「文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける」（▶P.66）をご参照ください。

■ 電卓画面のオプションメニューの場合

1 電卓画面 ▶ [ ]

計算履歴	計算履歴を表示します。
関数電卓	関数機能を利用します。
標準電卓	標準電卓を利用します。
設定	電卓の設定を行います。

auバックアップアプリを利用する

auバックアップアプリを利用すると、連絡先、画像、動画、アプリなどをmicroSDメモリカードにバックアップできます。

memo

- 同期されている連絡先、カレンダーはバックアップされません。

バックアップする

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定・サポート] ▶ [auバックアップアプリ]
初回起動時は本製品へのアクセスの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 [アドレス帳やメールなどのバックアップ] ／ [アプリのバックアップ]

3 バックアップする項目にチェックを付ける ▶ [次へ]
- 「アプリのバックアップ」を選択した場合は、[OK] ▶ バックアップする項目にチェックを付ける ▶ [開始] と操作して、操作5へ進みます。

4 [開始]
[パスワード設定をする] ▶ パスワードを入力 ▶ パスワードを再度入力 ▶ [OK] と操作するとバックアップデータにパスワードをかけられます。

5 バックアップ完了画面で、[終了]
バックアップが完了し、アプリケーションが終了します。

バックアップファイルから復元する

データを復元する場合は、microSDメモリカードのバックアップファイルに含まれるデータに、本製品のデータを置き換えます。データの復元には十分ご注意ください。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定・サポート] ▶ [auバックアップアプリ]

2 [アドレス帳やメールなどの復元] ／ [アプリの復元] ／ [ケータイアドレス帳復元]

3 復元する項目にチェックを付ける
- 「ケータイアドレス帳復元」を選択した場合は「OK」をタップして、操作5へ進みます。

4 [開始]
バックアップファイルからデータが復元されます。

5 データ復元完了画面で、[終了]
復元する項目によって、操作を求められる場合があります。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

バックアップを自動実行する

自動バックアップ機能では、お客様が設定した曜日、時間にバックアップを自動実行します。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定・サポート] ▶ [auバックアップアプリ]

2 [自動バックアップ設定]

3 [OFF]
「ON」に表示が変わります。

4 バックアップするデータの種別や自動バックアップを開始する曜日と時間を設定

ThinkFree Viewerを利用する

ThinkFree Viewerを利用して、本製品本体内やmicroSDメモリカードに保存されているWord、Excel、PowerPointなどのファイルを見ることができます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [ThinkFree Viewer]

初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

サポートファイル	拡張子
Microsoft Word (Word 97 ～ Word 2003)	.doc、.docx、.dot、.dotx
Microsoft Excel (Excel 97 ～ Excel 2003)	.xls、.xlsx、.xlt、.xltx、.csv
Microsoft PowerPoint (Power Point 97 ～ PowerPoint 2003)	.ppt、.pptx、.pps、.ppsx、.pot、.potx
Adobe PDF (Version 1.2 ～ 1.7)	.pdf
Text	.txt、.rtf
Hangul (97 ～ 3.0, 2002 ～ 2010)	.hwp

memo

- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。
- パソコンなどで作成したファイルは、パソコンでの表示と異なっていたり表示できない場合があります。

Qメモ+を利用する

簡単にメモが作成できるアプリケーションです。
紙と同じように自由に使用することができ、キャプチャした画面で重要な情報をハイライトすることなどもできます。
例：キャプチャした画面上にメモを作成する場合

1 キャプチャする画面を表示 ▶ ステータスバーを下方向にスライド ▶ [Qメモ+]

メモ編集画面が表示されます。

2 メモを作成する

以下の情報が表示されます。

※1 ：画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。
／ ：元に戻す／やり直します。
：文字を入力します。
：ペンの種類やカラーを選択できます。
：消しゴムを利用できます。「すべて消去」をタップすると、作成したメモがすべて削除されます。
：作成したメモを保存します。
：Qメモ+のメニューを表示します。
／ ※2 ：タップすると、ツールバーを表示／非表示します。
※2 ：ツールバーが非表示の場合に表示サイズを調整します。
※1 ：タップするとメモを通知する日時や場所を設定できます。
- 通知を削除する場合は「×」をタップしてください。

※1 ：タップすると天気情報を取得して追加します。
※1 ：タップすると位置情報を取得して追加します。

※1　通知パネルから操作している場合は表示されません。
※2　通知パネルから操作している場合のみ表示されます。

3 [💾] ▶ 保存先を選択

作成したメモが保存されます。

memo

- 指で軽く触れて操作してください。市販のタッチペンを使用した場合、動作しない可能性があります。
- ホーム画面 ▶ [⊞] ▶ [ツール] ▶ [Qメモ+] ▶ [+] ▶ メモを作成 ▶ [💾] と操作しても、メモを作成できます。
- カメラで静止画を撮影してからメモを作成することもできます。ホーム画面 ▶ [⊞] ▶ [ツール] ▶ [Qメモ+] ▶ [📷] ▶ 静止画を撮影 ▶ [OK] ▶ メモを作成 ▶ [💾] と操作してください。

メモを閲覧／編集する

1 ホーム画面 ▶ [⊞] ▶ [ツール] ▶ [Qメモ+]

メモ一覧画面が表示されます。

2 閲覧／編集したいメモをタップ

メモ編集画面が表示されます。

memo

- メモ一覧画面 ▶ [☰] と操作すると、表示するカテゴリーの変更や、カテゴリーの追加ができます。

Qメモ+のメニューを利用する

1 メモ一覧画面／メモ編集画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

検索	メモを検索します。
インポート	メモをmicroSDメモリカードまたは内部ストレージにインポートします。
エクスポート	メモをmicroSDメモリカードまたは内部ストレージからエクスポートします。
移動	メモを他のカテゴリーに移動します。
削除	メモを削除します。
共有	Bluetooth®、Eメール、Gmail、赤外線などを使って、メモを共有します。
並び替え	メモを並べ替えます。
設定	同期するGoogleアカウントを設定します。
挿入	メモに静止画や動画、音楽などを挿入します。
ペーパースタイル	ペーパースタイルを変更します。

※ 画面によって操作できる項目は異なります。

Qスライドアプリ

他の操作をしながら、動画、インターネット、電話、カレンダー、Eメール、ファイルマネージャー、電卓をポップアップで利用できます。

- Qスライドアプリのポップアップウィンドウは同一画面上に2つまで表示できます。
- 通知パネルにQスライドアプリが表示されていない場合は、通知パネルの「Qスライド」をタップし、Qスライドアプリを有効にしてください。

Qスライドアプリを利用する

1 **ステータスバーを下方向にスライド**

2 **Qスライドアプリを選択する**

- Qスライドアプリで以下の操作ができます。

：全画面表示にします。
- 元のサイズに戻す場合は をタップします。

：Qスライドアプリの透明度を調整します。
- 左にドラッグすると、Qスライドアプリの画面をタッチしても反応しなくなるため、他の機能を利用できます。

：Qスライドアプリを終了します。

：表示サイズを調整します。

Qスライドアプリを編集する

1 **ステータスバーを下方向にスライド**

2 **Qスライドアプリ欄の［編集］▶ 編集をする**

- 通知パネルからQスライドアプリを非表示にするには、Qスライドアプリのチェックを外してください。
- Qスライドアプリを並べ替えるには、Qスライドアプリの右側にある をドラッグして、移動したい位置で指を離してください。

デュアルウィンドウ

画面を分割し、2つのアプリケーションを同時に使用できます。

デュアルウィンドウを設定する

1 **ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ**

2 **「デュアルウィンドウ」の［ ］**

デュアルウィンドウを利用する

1 **「 」をロングタッチ**

デュアルウィンドウで使用できるアプリケーションの一覧が表示されます。

2 **使用したいアプリケーションのアイコンをタップ**

上の領域にアイコンが配置されます。

3 **使用したいアプリケーションのアイコンをタップ**

デュアルウィンドウでアプリケーションが表示されます。

memo

- デュアルウィンドウで使用できるアプリケーションの一覧で、表示する領域をタップしてからアプリケーションのアイコンをタップしたり、アプリケーションのアイコンを上／下の領域にドラッグすると、任意の領域にアプリケーションを表示できます。
- 既にアイコンが配置されている領域に別のアプリケーションのアイコンをドラッグすると、アプリケーションを置き換えられます。
- デュアルウインドウの中心をドラッグすると、領域の比率を変更できます。
- アプリケーションを終了する場合は、アプリケーションを終了したい領域をタップ ▶［ ］と操作します。

おサイフケータイ®を利用する

おサイフケータイ®について

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（R/W）、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。
おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダーのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードへ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- 本製品本体の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ® 対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ® 対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®機能によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、おサイフケータイ®をご利用できません。
  - 機内モード中※
  - 充電中、またはmicroUSBケーブル01（別売）接続中、市販のイヤホンなどのケーブル類を接続中※
  - 一度も電波を受けていない場合※
  - au Nano IC Card 04が挿入されていない場合

  ※ リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。

リーダー／ライターとデータをやりとりする

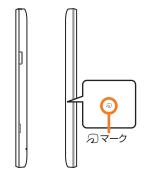
マークをリーダー／ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのやりとりができます。

- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークをリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

- おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
- 背面カバー裏のシールをはがさないでください。リーダー／ライターとのデータの読み書きができなくなる場合があります。
- 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中はご利用いただけません。

他の携帯電話とデータを送受信する

NFC機能（Android Beam）を搭載した携帯電話との間で、データを送受信できます。

- 2台の携帯電話を平行にしてマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリケーションの動作に依存します。画面の指示に従って操作してください。
- マークを重ね合わせても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- NFC機能を利用した送受信を行う場合は、「Android Beam」を有効にしてください。
- マークをゆっくりと重ね合わせると送受信を失敗することがあります。

おサイフケータイ®を設定する

1 ホーム画面 ▶「 [icon] 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［共有と接続］▶［NFC／おサイフケータイ設定］

2 以下の項目をタップ

NFC／おサイフケータイ ロック	おサイフケータイ®の機能をロック／解除します。 • ロックNo.を入力 ▶［OK］と操作すると、おサイフケータイ®機能のロックが設定／解除されます。
Reader/Writer, P2P	NFCのリーダー／ライター、P2P機能をON／OFFにします。
Android Beam	Android Beam（NFC P2P機能）を利用したデータ通信ができます。 • Android Beamについては、（「Android Beamでデータを送受信する」（▶P.199）をご参照ください。
NFC／おサイフケータイ ロックNo.変更	NFC／おサイフケータイ®のロックNo.を変更します。 • ロックNo.を入力 ▶［OK］▶ 新しいロックNo.を入力 ▶［OK］▶ 再度新しいロックNo.を入力 ▶［OK］と操作すると変更できます。
NFC／おサイフケータイ ロックNo.初期化	「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 • PINロック解除コードを入力 ▶［OK］▶ 新しいロックNo.を入力 ▶［OK］▶ 再度新しいロックNo.を入力 ▶［OK］と操作すると再設定できます。

memo

• PINロック解除コードについて詳しくは、「PINロック解除コード」（▶P.24）をご参照ください。

「NFC／おサイフケータイ ロック」について

• 「NFC／おサイフケータイ ロック」を有効にしている場合は、おサイフケータイ®をご利用できません。
• 「NFC／おサイフケータイ ロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。
• ロックNo.はau Nano IC Card 04に保存され、本製品から取り外してもau Nano IC Card 04内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.23）をご参照ください。
• NFC／おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーに [NFC] が表示されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター機能を利用したNFCカードの読み書きができます。

1 **ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［共有と接続］▶［NFC／おサイフケータイ設定］**

2 **「Reader/Writer, P2P」にチェックを付ける**

- 「Reader/Writer, P2P」にチェックを付けると、自動的に「Android Beam」にチェックが付きます。
- 非接触ICカード機能は、NFC機能の有効／無効にかかわらず利用できます。

Android Beamでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- Android Beamでデータを送受信するには、あらかじめ「Android Beam」にチェックを付けておいてください。
- すべてのNFC機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。

■データを送信する

例：連絡先を1件送信する場合

- 連絡先に登録されている画像は送信されません。

1 **ホーム画面 ▶［ ］▶［電話・メール］▶［連絡先］▶ 連絡先を選択**

2 **受信側の端末と、 マークを向かい合わせる**

3 **画面をタップ**

■データを受信する

1 **送信側の端末と、 マークを向かい合わせる**

memo

- アプリケーションによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFCメニューを利用する

NFCメニューは、NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができるアプリケーションです。

1 **ホーム画面 ▶［ ］▶［設定・サポート］▶［NFCメニュー］**

NFCメニュー画面が表示され、NFCサービスに対応したアプリアイコンの一覧が表示されます。
初回起動時には許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 **起動したいアプリアイコンを選択 ▶ アプリを起動**

■ NFCの各種設定と操作を行う

1 NFCメニュー画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

サービス一覧更新		登録しているサービスの情報を更新します。
NFCポータルサイト		ブラウザを起動してNFCポータルサイトを表示します。
NFCロック		NFC ／おサイフケータイ®機能をロック／解除する設定をします。 • 詳しくは、「おサイフケータイ®を設定する」（▶P.198）をご参照ください。
ヘルプ		NFCメニューのヘルプ画面を表示します。
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプ（カテゴリーなし／カテゴリー別）を変更します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリーの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の配色を設定します。
	アニメーション	NFCメニューのアニメーションを有効／無効に設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定		決済するカードを設定します。
サービス移行支援		NFCサービスの移行情報を、他の端末に送受信できます。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定・サポート] ▶ [NFCタグリーダー]

初回起動時は、許可画面や利用規約画面、自動起動設定画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 各機能操作を行う

Share	電話帳など、NFC機能を搭載した携帯電話同士をかざすことで各種データを送受信します。
Writing	編集画面で書き込むデータを設定し、タグにかざすことで書き込みます。
History	Reading、Writing、Shareの履歴を表示します。
Setting	NFC SettingやApp Settingを行います。 • NFC Settingを選択すると、NFC ／おサイフケータイ ロック、Reader/Writer, P2P、Android Beam機能のON ／ OFFができます。また、NFC ／おサイフケータイ ロックNo.の変更や初期化も行えます。 • App Settingを選択すると、自動起動、メインカラー選択、効果音、NFCタグ認識音、NFCタグ書き込み音、バイブレーションの設定や、利用規約の確認ができます。

NFCデータをやりとりする

本製品背面の マークをNFC機能をサポートしているリーダー／ライターにかざしたり、NFC 機能をサポートしている機器同士で端末の マークを向かい合わせることで、NFCデータのやりとりができます。

FeliCaに対応したサービスを利用する

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ポータル・買い物] ▶ [おサイフケータイ]**

2 **サービスを選択**

- サービスによっては初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

マイ サービス	アプリダウンロードまたは設定済みサービスの一覧を表示します。
おすすめ	利用したいサービスを選択し、利用設定を行えます。
電子マネー残高	ご利用中の電子マネーの残高一覧を表示します。
ロック設定	おサイフケータイ®のロック設定を行えます。

おサイフケータイアプリケーションのオプションメニューを利用する

オプションメニューには、選択している画面上で利用可能な機能のみ表示されます。

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ポータル・買い物] ▶ [おサイフケータイ]**

2 **「 」をロングタッチ**

3 **以下の項目をタップ**

表示形式切替		「マイ サービス」でのサービスの表示形式を切替えます。
サービス表示情報更新		画面に表示されるサービスの情報を更新します。
メモリ使用状況		FeliCaチップのメモリ使用状況を表示します。
サポートメニュー	**おサイフケータイ アプリ ご利用規約**	おサイフケータイアプリケーションのご利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高表示機能のご利用条件を表示します。
	バージョン情報	ご利用中のバージョンを表示します。
	操作ガイド	おサイフケータイアプリケーション操作ガイドを表示します。
	設定リセット	サービス表示情報をリセットします。おサイフケータイ®のアプリケーションおよびデータは削除されません。

ファイル管理

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）を本製品本体にセットすることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先やEメールのデータなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

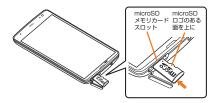
memo

- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。（▶P.226）
- 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

microSDメモリカードを取り付ける

1 microSDメモリカードスロットカバーを開ける

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。音がする前に指を離すと、microSDメモリカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。

3 microSDメモリカードスロットカバーを閉じる

memo

- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［ストレージ］▶［SDカードのマウント解除］

2 microSDメモリカードスロットカバーを開ける

3 microSDメモリカードを軽く押し込む

強く押し込んだ状態で指を離すと、microSDメモリカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。

4 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

5 microSDメモリカードスロットカバーを閉じる

memo

- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- microSDメモリカードのマウントを解除した後に再度microSDメモリカードをマウントする場合は、ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「一般」タブ ▶［ストレージ］▶［SDカードのマウント］と操作します。

microUSBケーブル（別売）でパソコンと接続する

microSDメモリカードをセットした本製品とパソコンをmicroUSBケーブル（別売）で接続して、本製品にセットしたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、WMAデータなどの音楽／動画データの転送も可能です。

- LG PC Suite（▶P.213）を利用してのデータ管理や、本製品のソフトウェア更新などの操作を行う場合は、あらかじめパソコンにソフトウェアやUSBドライバなどのインストールが必要です。詳しくは下記のホームページをご参照ください。

  http://www.lg.com/jp/support

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル（別売）を本製品の外部接続端子に接続

ファイル管理

3 本製品のステータスバーを下方向にスライド ▶［ ］

「USB PC接続」画面が表示されます。

4 USB接続方法を以下の項目からタップして選択

充電	充電のみ行えます。
メディアデバイス(MTP)	ファイルの転送、またはWindows Media® Playerとの同期が行えます。
画像の送信(PTP)	カメラとして接続して、写真を転送することができます。

memo

- 本製品に「プログラムのインストール」画面が表示された場合、「OK」をタップするとパソコンにLG PC Suiteをインストールできます。パソコンとの接続を充電のみで使用する場合など、LG PC Suiteをインストールしないときは「キャンセル」をタップしてください。
- Windows Vista／Windows 7／Windows 8／Windows 8.1以外のOSでの動作は、保証していません。
- USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブルを取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

■ Windows Media® Playerからデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データを本製品の本体ストレージまたはmicroSDメモリカードに保存します。

1 パソコンと本製品をmicroUSBケーブル（別売）で接続する

2 本製品のステータスバーを下方向にスライド ▶［ ］▶［メディアデバイス（MTP）］

3 パソコンのWindows Media® Playerを起動し、同期する

Windows Media® Player12をご使用ください。

4 microUSBケーブルを本製品から取り外す

microUSBケーブルのコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

- 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
- 著作権保護されていないデータでも、本製品以外で保存したデータは再生できない場合があります。
- 本製品以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、USB接続方法（▶P.205）を「メディアデバイス（MTP）」などに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードを本製品でフォーマットすることをおすすめします。なお、microSDメモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

- 拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
- 著作権保護されたデータのライセンス情報データの削除、データの初期化などを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

メモリの使用量を確認する

1 **ホーム画面▶「▭」をロングタッチ▶[システム設定]▶「一般」タブ▶[ストレージ]**

microSDメモリカードと端末容量の設定画面が表示されます。

内部ストレージ	内部ストレージの合計の容量や、空き容量が確認できます。
SDカード	microSDメモリカードの合計の容量や、空き容量が確認できます。 ・メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。
SDカードのマウント解除／SDカードのマウント	microSDメモリカードの認識を解除し、取り外し可能な状態にします。または、microSDメモリカードを認識します。
SDカードのデータを消去	▶P.206「microSDメモリカードをフォーマットする」
USBストレージ※	USBストレージの合計の容量や、空き容量が確認できます。
USBストレージのマウント解除／USBストレージのマウント※	USBストレージの認識を解除し、取り外し可能な状態にします。または、USBストレージを認識します。
USBストレージの消去※	USBストレージに保存されているデータをすべて削除します。

※ USBストレージを接続している場合のみ表示されます。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて削除されます。

1 **ホーム画面▶「▭」をロングタッチ▶[システム設定]▶「一般」タブ▶[ストレージ]▶[SDカードのデータを消去]**

2 **[SDカードのデータを消去]▶[実行する]**

memo

- フォーマットは、充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。
- マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、「SDカードのマウント」を選択してください。
- データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

機能設定

本製品について設定する

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [システム設定]

設定メニュー画面が表示されます。

memo

- 設定メニュー画面 ▶ [⋮] ▶ [リスト表示に切替え] と操作すると、リストビューに切り替わります。

❶ ネットワーク

無線ネットワーク	Wi-Fi	▶P.229「無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする」
	Bluetooth	▶P.235「Bluetooth®機能を有効にする」
	モバイルデータ	モバイルデータ通信の設定や、通信量の確認などを行います。
	通話設定	▶P.211「通話に関する設定をする」
	auお客さまサポート	auお客さまサポートのサイトへ接続したり、電話による問い合わせをしたりします。
接続	共有と接続	▶P.213「共有と接続の設定をする」
	テザリングとネットワーク	▶P.214「テザリングとネットワークの設定をする」

❷ サウンド

基本	サウンドプロフィール	▶P.216「サウンドプロフィールを設定する」
	ボリューム	着信音や音楽、動画再生時などの音量を設定します。
	バイブレートの強さ	バイブレートの強さを設定します。
	サウンド中断時間	メディアを除くサウンドをオフにする時間を設定します。 また、特定の連絡先以外からの着信をブロックするかどうかを設定します。

着信音とバイブレーション	着信音	音声着信音に設定するデータを選択して登録します。
	通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
	着信音とバイブレート	着信時にバイブレートさせるかどうかを設定します。
	振動タイプ	音声着信時の振動パターンを設定します。また、振動パターンを追加することもできます。
詳細設定	タップ時のバイブレート	ホームタッチボタン操作時などに振動させるかどうかを設定します。
	サウンドエフェクト	ダイヤルパッドやメニュー選択、画面ロック操作などの操作で音を鳴らすかどうかを設定します。
	音声通知	音声着信時に発信者情報を読み上げるかどうかを設定します。

❸ 表示

ホームとロック画面	ホームスクリーン	テーマや壁紙などの設定を行います。
	画面のロック	▶P.216「画面のロックの設定をする」
	ホームタッチボタン	ホームタッチボタンの配列を選択したり、背景の色や透明な背景を使用するかどうかを設定します。
フォント	フォントタイプ	画面表示のフォントを設定します。
	フォントサイズ	「極小」、「小」、「中」、「大」、「特大」、「極大」から選択します。
その他の画面設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 • 「夜間の明るさ」にチェックを付けると、AM0:00 ～ AM6:00の間の明るさが自動的に0%に設定されます。
	通知表示LED	不在着信通知、充電時などに通知LEDを使用するかどうかを設定します。
	縦横表示の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	バックライト点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。
	スマートスクリーン	画面を見ている間はバックライトを点灯するかどうかを設定します。

詳細設定	画面OFFエフェクト	画面OFFしたときのエフェクトを設定します。
	スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの設定を行います。「今すぐ開始」をタップするとスクリーンセーバーが起動します。「スタートアップ設定」をタップするとスクリーンセーバーが起動するタイミングを設定できます。

❹ 一般

パーソナル	言語と入力	▶P.217「使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする」
	位置情報	▶P.218「位置情報アクセスの設定をする」
	アカウントと同期	▶P.219「アカウントと同期の設定をする」
	クラウド	▶P.219「クラウドの設定をする」
	ユーザー補助	▶P.220「ユーザー補助の設定をする」
	片手操作モード	「ダイヤルキーパッド」、「ロック画面」表示時に、パッドやキーボードの位置を移動する左右ボタンを表示するかどうかを設定します。
	ショートカットキー	バックライト消灯時または画面ロック中に音量キーを長押しして、アプリをすぐに起動させるかどうかを設定します。
プライバシー	セキュリティ	▶P.221「セキュリティの設定をする」
	ゲストモード	▶P.222「ゲストモードの設定をする」
スマート機能	ジェスチャー	▶P.223「ジェスチャーの設定をする」
	QuickCircleケース	▶P.223「QuickCircleケース」
	デュアルウィンドウ	▶P.195「デュアルウィンドウ」
本体管理	日付と時刻	▶P.224「日付と時刻を設定する」
	ストレージ	▶P.224「ストレージ」
	バッテリー	▶P.224「バッテリーの設定をする」
	スマートクリーニング	内部ストレージを整理して、空き容量を増やします。
	アプリ	▶P.225「アプリの設定をする」
	デフォルトメッセージアプリ	デフォルトで利用するSMSアプリを選択します。
	バックアップとリセット	▶P.226「バックアップとリセットの設定をする」
	印刷	▶P.227「印刷に関する設定をする」
	端末情報	▶P.227「端末情報に関する設定をする」

通話に関する設定をする

留守番電話、着信転送などネットワークサービスを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶「ネットワーク」タブ ▶ [通話設定]

2 以下の項目をタップ

着信転送・お留守番サービス	留守番電話	▶P.247「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」
	着信転送	▶P.243「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」
	その他	「ローミング時の追加設定」をタップして、国際ローミング中のネットワークサービスを設定します。
着信拒否	着信拒否設定	▶P.212「着信を拒否する」
	番号通知リクエストサービス	▶P.246「番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)」
	迷惑電話撃退サービス	▶P.255「迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)」
応答拒否メッセージ		着信拒否時の応答メッセージを設定します。
プライバシーキーパー		着信時に発信者情報を表示するかどうかを設定します。「すべての情報を非表示」、「電話番号のみ表示」に設定した場合、着信中に ● をスワイプすると発信者情報を表示できます。
録音ボタン		通話中に録音ボタンを表示するかどうかを設定します。
連絡先未登録番号追加		通話相手が連絡先に登録されていない場合、通話終了時に連絡先に追加するか確認します。
電源キーで通話を終了する		通話中に電源キーを押した場合に通話を終了するかどうかを設定します。
シンクコール設定		▶P.213「シンクコールを設定する」
伝言メモ	伝言メモ	電話に出られないときに、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。
	応答時間	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
	応答メッセージ	「日本語1」、「日本語2」、「英語」で応答メッセージの種類を設定します。また、「ユーザー録音」で録音した音声を応答メッセージとして設定することもできます。
	伝言メモを再生する	録音した伝言メモを再生します。
ガイドの言語を変更する		▶P.253「英語ガイダンスへ切り替える」 ▶P.253「日本語ガイダンスへ切り替える」
通話時間		前回通話・累積の通話時間の目安を表示します。 • 各項目をタップすると、表示されている時間をリセットできます。
その他の設定	発信者番号	発信時に電話番号を通知するかどうかを設定します。
	割込通話サービス	▶P.254「割込通話サービスを利用する(オプションサービス)」
オプションサービス申込		サイトへアクセスし、オプションサービスの申し込みができます。

memo

通話時間について

- 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

伝言メモについて

- 録音できるのは1件あたり約60秒間で、20件までです。20件録音されている場合は、伝言メモで応答しません。再度伝言メモで応答するには伝言メモを削除した後に、伝言メモで応答するように設定する必要があります。

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 **設定メニュー画面 ▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］▶［着信拒否］▶［着信拒否設定］▶［着信拒否モード］**

2 **以下の項目をタップ**

OFFにする	着信を拒否しません。
着信拒否条件	着信拒否条件に登録されている電話番号からの着信を拒否します。
すべて拒否	すべての着信を拒否します。

memo

- 着信転送サービスのフル転送を設定している場合は、着信拒否に設定しても着信転送サービスに転送されます。
- 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できない場合があります。

着信拒否条件を設定する

着信を拒否する条件を設定し、条件に該当する着信を拒否します。

1 **設定メニュー画面 ▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］▶［着信拒否］▶［着信拒否設定］▶［着信拒否条件］**

2 **［+］**

連絡先	連絡先から拒否する電話番号を選択して登録します。
通話履歴	通話履歴から拒否する電話番号を選択して登録します。
新しい番号	拒否する電話番号を入力して登録します。

memo

- 「非通知番号」にチェックを付けると、非通知番号の着信を拒否します。
- 「未登録の番号」にチェックを付けると、連絡先に登録されていない電話番号の着信を拒否します。

シンクコールを設定する

1 設定メニュー画面▶「ネットワーク」タブ▶［通話設定］▶［シンクコール設定］

2 以下の項目をタップ

着信時のポップアップ表示	着信時に操作パネルをポップアップ表示するかどうかを設定します。
受話ボタンタッチ後のシンクコール表示	「受話」をタッチして着信に応答した際に、操作中の画面表示を継続するかどうかを設定します。オフにすると通話中画面を表示します。
使用方法	シンクコールの使用方法を表示します。
利用規約	シンクコールの利用規約を表示します。
プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示します。
バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。

3 ［閉じる］

memo

- ホーム画面▶［ ］▶［シンクコール］と操作しても、シンクコールを設定できます。

共有と接続の設定をする

NFC ／おサイフケータイ®、SmartShare BeamやMiracastなど、ほかの機器との接続に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面▶「ネットワーク」タブ▶［共有と接続］

2 以下の項目をタップ

NFC ／おサイフケータイ設定	▶P.198「おサイフケータイ®を設定する」
SmartShare Beam	SmartShare Beam に対応したほかの機器とデータを送受信するために「デバイス名」、「ストレージ」、「リクエストの自動許可」、「タイムアウト」を設定します。
メディアサーバー	DLNA機能を利用して他のデバイスとコンテンツを共有します。
Miracast	Miracastに対応する機器に本製品の画面や音声を共有するための設定をします。利用可能なデバイスが見つからない場合は「デバイスの検索」をタップします。
LG PC Suite	無線LAN（Wi-Fi®）でLG PC Suiteに接続するかどうかを設定します。

■LG PC Suiteとは

LG PC Suiteは本製品とパソコンを無線LAN（Wi-Fi®）やUSB接続でリンクして、データの管理や同期、転送などができる機能です。本製品でパソコンに保存しているマルチメディアコンテンツを利用したり、マーケットなどで購入したアプリケーションを管理・転送したり、本製品の状態をバックアップ・復元したりできます。LG PC Suiteについて詳しくは、下記のホームページをご参照ください。
http://www.lg.com/jp/support/pc-suite

memo

- USB接続でLG PC Suiteに接続する場合、接続方法を「メディアデバイス（MTP）」（▶P.205）にする必要があります。

テザリングとネットワークの設定をする

テザリング、機内モード、モバイルネットワーク、VPNに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「ネットワーク」タブ ▶［テザリングとネットワーク］

2 以下の項目をタップ

USBテザリング	▶P.232「USBテザリング機能を利用する」
Wi-Fiテザリング	▶P.232「Wi-Fi®テザリング機能を利用する」
Bluetoothテザリング	▶P.233「Bluetooth®テザリング機能の設定をする」
ヘルプ	各テザリングのヘルプを表示します。
機内モード	▶P.214「機内モードを設定する」
モバイルネットワーク	モバイルネットワーク設定など通信に関する設定を行います。
VPN	▶P.215「VPNを設定する」

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

1 設定メニュー画面 ▶「ネットワーク」タブ ▶［テザリングとネットワーク］

2「機内モード」にチェックを付ける ▶［OK］

memo

- 電源キー（2秒以上長押し）▶［機内モードON］▶［OK］と操作しても、機内モードに切り替えられます。
- 航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- 機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
- 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能による通信などもご利用になれません。ただし、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能については機内モード設定中に再び有効にすることができます。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
  - PPTP
  - L2TP/IPSec PSK
  - L2TP/IPSec RSA
  - IPSec Xauth PSK
  - IPSec Xauth RSA
  - IPSec Hybrid RSA

■ VPNを追加する

1 設定メニュー画面 ▶「ネットワーク」タブ ▶［テザリングとネットワーク］▶［VPN］

初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「画面のロックの設定をする」（▶P.216）をご参照ください。

2 ［VPN接続の追加］

3 VPN接続の追加画面の各項目を設定

4 ［保存］

VPN設定画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

- 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ ▶［編集］▶ 必要に応じてVPNの設定を変更 ▶［保存］と操作します。
  削除するには、削除するVPNをロングタッチ ▶［削除］▶［OK］と操作します。

■ VPNに接続する

1 設定メニュー画面 ▶「ネットワーク」タブ ▶［テザリングとネットワーク］▶［VPN］

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力

4 ［接続］

VPNに接続すると、ステータスバーに が表示されます。

■ VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド

2 VPN接続中を示す通知をタップ

3 ［切断］

memo

- 設定メニュー画面 ▶「ネットワーク」タブ ▶［テザリングとネットワーク］▶［VPN］▶ 接続中のVPNをタップ ▶［切断］と操作しても、VPN接続を切断できます。

サウンドプロフィールを設定する

サウンドプロフィールで、公共の場所で周囲の迷惑にならないように設定できます。

1 設定メニュー画面 ▶「サウンド」タブ ▶ [サウンドプロフィール] ▶ [バイブレートのみ] ／ [サイレント]

memo

- 自動車または原動機付自転車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。
- 「バイブレートのみ」や「サイレント」を設定中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音は鳴動します。
- 「バイブレートのみ」や「サイレント」を設定中でも動画や音楽の再生では消音されません。
- 電源キーを2秒以上長押し ▶ [ ] ／ [ ] でも同様に操作できます。

画面のロックの設定をする

画面ロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「表示」タブ ▶ [画面のロック]

2 以下の項目をタップ

項目	説明
画面ロックを選択	「なし」、「スワイプ」、「フェイスアンロック」、「ノックコード」、「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかを選択します。
スワイプエフェクト	スワイプエフェクトの設定をします。
壁紙	ロック画面に表示する壁紙を設定します。
ウィジェット	ロック画面にウィジェットを表示するかどうかを設定します。
不在着信	ロック画面に不在着信を表示するかどうかを設定します。
ショートカット	ロック画面に表示するショートカットを設定します。
天気のアニメーション	ロック画面に設定した都市の天気情報をアニメーションで表示するかどうかを設定します。
紛失時の連絡先	ロック画面に表示する連絡先情報を設定します。
ロックタイマー	画面OFFからロックするまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする	電源キーを押すとすぐにロックするかどうかを設定します。

※ 上記の項目は画面ロックに「スワイプ」を選択した場合のものです。「画面ロックを選択」の設定内容に応じて表示・設定できる項目は異なります。

memo

ロック設定について

- 画面ロック中､ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして､110番（警察）､119番（消防機関）､118番（海上保安本部）への電話はかけられます。
- ロック解除方法をパターンまたはノックコードに設定している場合､画面ロック解除時に入力に5回失敗すると､「パターンを忘れましたか?」／「ノックコードを忘れましたか？」が表示されます。その表示をタップし、Googleアカウントでログインするか、または画面ロックの設定時に設定したバックアップPINを入力して「OK」をタップすると、新しい画面ロックを設定できます。
- ロック解除方法をパスワードに設定する場合、パスワードは、４～16桁のお好みの英数字・記号に設定できます。

使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする

表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［言語と入力］

2 以下の項目をタップ

言語	本製品で使用する言語を選択します。
デフォルト	デフォルトの入力方法を設定します。
LG 日本語キーボード	LG 日本語キーボードに関する設定を行います。
Google音声入力	Google音声入力に関する設定を行います。また、チェックを外すと入力方法の選択肢として表示されなくなります。

音声入出力の設定をする

Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定をします。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［言語と入力］

2 以下の項目をタップ

音声検索	言語	音声入力する言語を設定します。
	音声出力	「ON」／「ハンズフリー時のみ」／「OFF」のいずれかを選択します。
	「OK Google」の検出	「OK Google」の検出方法を設定します。
	オフラインの音声認識	音声認識の言語ファイルをダウンロードしてインストールしたり、アンインストールできます。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な語句をブロックするかどうかを設定します。
	音声履歴	音声履歴を有効にするかどうかを設定します。
	音声履歴の管理	音声履歴を管理します。
	Bluetoothヘッドセット	使用可能な場合はBluetooth®ヘッドセットで音声を録音するかどうかを設定します。
音声出力	優先エンジン	テキスト読み上げ時に使用する優先エンジンを選択します。また、各種設定を行います。
	読み上げ速度の調整	テキストを読み上げる速度を設定します。
	デフォルト設定言語	「優先エンジン」でテキスト読み上げに設定されている言語が表示されます。

※ Googleアカウントや音声出力エンジンのインストール内容などに応じて表示される項目は異なります。

機能設定

memo

- 音声入力する言語により、「不適切な語句をブロック」が利用できない場合があります。
- テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。
- microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェア更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェア更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

マウス／トラックパッドの設定をする

Bluetooth®デバイス（マウスやトラックパッド）のポインター速度の設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［言語と入力］▶［ポインター速度］

2 ポインター速度の設定を行い、［OK］

位置情報アクセスの設定をする

位置情報の検出方法に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［位置情報］

2 「位置情報」の［ ］▶［同意する］

3 ［モード］▶ 以下の項目をタップ

項目	説明
高精度（GPSとネットワーク）	位置情報の検出にGPS機能、Wi-Fi®機能、モバイルネットワークを利用します。
バッテリーセーブ（ネットワークのみ）	位置情報の検出にWi-Fi®機能とモバイルネットワークを利用します。
本体センサーのみ（GPSのみ）	位置情報の検出にGPS機能のみを利用します。

※ 位置情報についての同意画面が表示された場合は、内容を確認し、「同意する」をタップします。

memo

GPS機能の使用について

- 電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。
- 電波が良好な場所でご利用ください。

アカウントと同期の設定をする

オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。

自動同期を設定する

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［アカウントと同期］

2「データ自動同期」にチェックを付ける

■自動同期する対象を設定する

3 アカウントの種類を選択

4 同期するアカウントを選択

5 同期する項目にチェックを付ける ▶［ ］

手動で同期する

「データ自動同期」にチェックが付いていないとき、同期する項目を選択して同期します。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［アカウントと同期］

2 アカウントの種類を選択

3 同期するアカウントを選択

4 同期する項目を選択

アカウントを追加する

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作する

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［アカウントと同期］▶ アカウントの種類を選択 ▶ 削除するアカウントを選択

2［ ］▶［アカウントを削除］▶［OK］

memo

- 削除できないアカウントもあります。削除するには、「本製品を初期化する」（▶P.226）が必要です。

クラウドの設定をする

クラウドサービスのアカウント設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［クラウド］▶［アカウントを追加］

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作する

ユーザー補助の設定をする

通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶ [ユーザー補助]

2 以下の項目をタップ

項目	説明
TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。また、読み上げやその他のフィードバック、タッチガイドなどを設定します。
フォントサイズ	文字サイズを変更します。
色の反転	画面の明暗を反転します。
色調調整	画面をドラッグしてコントラストを調整します。
タッチズーム	画面を3回タップすることで画面をズームイン／ズームアウトするかどうかを設定します。
音声通知	着信時に自動的に読み上げるかどうかを設定します。
画面表示を最も暗くする	画面の明るさを最も小さな値に設定します。
ユーザー補助のショートカット	電源キーを長押しして画面を2本の指でロングタッチすることですぐにユーザー補助機能を有効にできるように設定します。
音声出力	▶P.217「音声入出力の設定をする」
音声形式	ステレオ音声をモノラル音声に変換します。
音声バランス	スライドすることで、左右の音量のバランスを調節します。
通知表示LED	通知情報があるときにLEDでお知らせするかどうかを設定します。
フラッシュお知らせ	通知情報があるときにライトを点滅してお知らせするかどうかを設定します。
着信拒否メッセージ	着信時に送信できる応答拒否メッセージの一覧に、耳の不自由なお客様のためのメッセージを追加します。
サウンドOFFモード	すべての音をOFFにするかどうかを設定します。
キャプション	字幕の表示方法を設定します。
タッチフィードバックタイム	タッチの感度を「短め」、「中」、「長め」から選択します。
Universal touch	タッチとドラッグでハードキーやジェスチャーなどの機能を使用することができる補助ボタンを設定します。
バックライト点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。
タッチ操作エリア	タッチ操作を認識する画面領域を設定します。
縦横表示の自動回転	本製品の向きを変えた場合、画面表示の縦横を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
パスワードの音声確認	TalkBackを利用して、入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
電源キーで通話を終了する	電源キーを押して通話を終了するかどうかを設定します。
アクセシビリティ設定ショートカット	ホームキーを3回タップすることで設定できる機能を、「TalkBack」／「色の反転」／「Universal touch」から選択します。「ユーザー補助の設定」を選択すると、ユーザー補助設定に移動します。また、「すべて表示」を選択すると、設定する機能をそのつど選択できるようになります。
サービス	お客様がインストールしたユーザー補助サービスに関する設定を行います。

memo

- TalkBackを初めてONにしたときは、チュートリアルが起動します。画面の指示に従って、チュートリアルの内容を確認してください。
- TalkBackをONにすると、タッチガイドもONになります。タッチガイドとは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりする機能です。タッチガイドをONにすると、通常とは異なる方法で本製品を操作できます。項目を選択する場合は、一度項目をタップしてから再度ダブルタップします。スライド操作は2本の指で行います。
- タッチガイドの設定を切り替える場合は、設定メニュー画面▶「一般」タブ▶［ユーザー補助］▶［TalkBack］▶［設定］と操作し、「タッチガイド」のチェックを外します。

セキュリティの設定をする

各種パスワードなどの設定を行います。

1 設定メニュー画面▶「一般」タブ▶［セキュリティ］

2 以下の項目をタップ

項目		説明
個人情報ガード		アプリケーションが電話帳などの個人情報へアクセスしたとき、ポップアップ表示でお知らせするかどうか設定します。
コンテンツロック		ギャラリーのデータをロックする場合の解除方法を設定します。
携帯端末を暗号化		本製品内部に保存されてるシステムデータを暗号化します。一度暗号化すると、電源を入れるたびに復号化するためのPINコードやパスワードの入力が必要になります。
SDカードの暗号化		microSDメモリカードに保存されているデータを暗号化します。
UIMカードのロック設定	**UIMカードのロック**	起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力▶［OK］**
	UIM PINの変更	PINコードを変更します。UIM PINを変更する場合は、「UIMカードのロック」を有効に設定してください。 **1. 現在のPINコードを入力▶［OK］** **2. 新しいPINコードを入力▶［OK］** **3. 確認のためもう一度新しいPINコードを入力▶［OK］**
パスワードを表示する		入力中のパスワードの最後の文字を表示するかどうかを設定します。

デバイス管理機能の選択	本製品で有効にするデバイス管理機能を選択します。
提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。
アプリを確認する	安全性が証明されていないアプリケーションの場合、インストールを拒否または警告メッセージを表示するかどうかを設定します。
通知アクセス	通知を確認するアプリを設定します。
ストレージタイプ	ストレージの種類を表示します。
確認済み証明書	確認済みのCA証明書を表示します。
ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージやmicroSDメモリカードからインストールします。
証明書の消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツを消去します。

memo

UIMカードのロック設定について

- PINコードについては、「PINコードについて」（▶P.23）をご参照ください。

ゲストモードの設定をする

所有者以外のユーザーが本製品を使用する際に表示される、専用のホーム画面の設定を行います。

1 **設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［ゲストモード］**

初めてご利用になる場合は、ゲストモードについての説明画面が表示されます。内容を確認し、「完了」をタップします。

2 **「ゲストモード」の［ ］▶ 画面の指示に従って画面ロックを設定する**

3 **以下の項目をタップ**

許可したアプリ	ゲストモードで使用を許可するアプリを設定します。
壁紙	ゲストモードのホーム画面に表示する壁紙を設定します。
ロック画面タイプ	ゲストモードで利用する画面ロックの解除方法を設定します。
ヘルプ	ゲストモードのヘルプを表示します。

ジェスチャーの設定をする

各種ジェスチャーの有効／無効の設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［ジェスチャー］

2 以下の項目をタップ

isai	▶P.47「ジェスチャー（isai）の使いかた」
アンサーミー	着信時に、本製品を耳に当てると電話を受けます。
着信音のフェードアウト	着信音が鳴ってるときに平らな場所から本製品を持ち上げると、音がフェードアウトします。
ミュート	着信音が鳴ってるときに本製品を裏返すと音が止まります。
アラームの停止またはスヌーズ	アラーム鳴動中に本製品を裏返すとアラーム音が止まります。
ビデオの一時停止	動画再生中に本製品を裏返すと動画が一時停止します。
ヘルプ	ジェスチャー機能の使いかたを表示します。
センサー感度補正	センサーの感度（傾斜角や速度）を補正します。

memo

- 「センサー感度補正」は、ジェスチャーがうまく動作しない場合に実施してください。

QuickCircleケース

QuickCircleケース（別売）使用時の設定を行います。

- QuickCircleケース（別売）について詳しくは、下記のホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［QuickCircleケース］

2 以下の項目をタップ

アプリの選択	本製品にQuickCircleケース（別売）を取り付けているときに、カバーを閉じた状態で使用するアプリを設定します。
ロック画面の自動解除	カバーを開くと自動的に画面ロックが解除されるようにするかどうかを設定します。 • 画面ロックを「スワイプ」に設定している場合のみ利用できます。
ヘルプ	QuickCircleケースの使用についてのヘルプを表示します。

日付と時刻を設定する

日付と時刻の表示形式などを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶ [日付と時刻]

2 以下の項目をタップ

日付と時刻の自動設定	ネットワークから日付・時刻情報を取得して自動的に設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワークを介してタイムゾーンの情報を取得し、自動的に設定します。
日付の設定	日付を設定します。
時刻の設定	時刻を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンの設定を行います。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付表示形式の選択	日付の表示形式を設定します。

ストレージ

microSDメモリカードと端末容量の確認や初期化をする

microSDメモリカードや本体内のメモリ容量を確認したり、microSDメモリカードのマウント／マウント解除や初期化を行います。（▶P.206「メモリの使用量を確認する」）

バッテリーの設定をする

バッテリー情報の表示、電池残量が少なくなったときに各種機能の使用を抑えるような設定など、バッテリーに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶ [バッテリー]

2 以下の項目をタップ

（電池残量のアイコン）	電池残量のパーセント、充電されているか、使用可能予想時間が表示されます。また、充電している場合、使用可能予想時間の代わりに充電完了までの予想時間が表示されます。 タップすると、バッテリー消費状況の詳細を確認できます。
ステータスバーに表示	ステータスバーに電池残量（%）を表示するかどうかを設定します。

バッテリーセーブ	バッテリーセーブをONにします	バッテリーセーブ機能をONにするタイミング（電池残量）を指定します。
	自動同期	自動同期をOFFにします。
	Wi-Fi	使用していない場合は、Wi-Fi®機能をOFFにします。
	Bluetooth	使用しない場合は、Bluetooth®機能をOFFにします。
	タップ時のバイブレート	キー操作時の振動を解除します。
	画面の明るさ	画面の明るさを指定します。
	バックライト点灯時間	バックライト点灯時間を指定します。
	通知表示LED	通知LEDによる通知をOFFにします。
ヘルプ		バッテリーセーブ機能のヘルプを表示します。

アプリの設定をする

アプリケーションに関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションを管理します。

1 **設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［アプリ］**

2 **以下の項目をタップ**

ダウンロード済み	インストールされているアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制終了などができます。
実行中	実行中のサービスを表示します。 • サービスを選択 ▶［停止］▶［OK］と操作すると、実行中のサービスを停止することができます。
すべて	すべてのアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制終了などができます。

memo

アプリケーションの管理について

- Google Playなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。

バックアップとリセットの設定をする

データのバックアップ／復元を行ったり、お買い上げ時の状態に戻します。

1 設定メニュー画面▶「一般」タブ▶[バックアップとリセット]

2 以下の項目をタップ

データのバックアップ	アプリケーションのデータ、無線LAN（Wi-Fi®）のパスワード、およびその他の設定をGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	バックアップ用のアカウントを設定します。
自動リストア	アプリケーションの再インストール時にバックアップした設定やそのほかのデータを復元します。
データの初期化	▶P.226「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

本製品をお買い上げ時の状態に戻します（リセット）。この操作を行うと、ご購入後にお客様が本製品にインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 設定メニュー画面▶「一般」タブ▶[バックアップとリセット]▶[データの初期化]

2 [携帯電話のリセット]

3 [実行する]▶[OK]

memo

- データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。
- データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- 「SDカードのデータを消去」にチェックを付けるとmicroSDメモリカード内のデータも消去されます。
- 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
  - UIMカードのロック設定
  - NFC／おサイフケータイロック設定

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンターの設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［印刷］

2 ［クラウド プリント］▶「クラウド プリント」の［ ］▶［OK］

クラウドプリントがONになり、使用できるプリンターの一覧が表示されます。

- をタップすると、プリンターの追加や設定の変更ができます。

memo

- 印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。

端末情報に関する設定をする

電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

1 設定メニュー画面 ▶「一般」タブ ▶［端末情報］

2 以下の項目をタップ

携帯電話名		Bluetooth®やWi-Fi Directなどで使用される携帯電話の名称を設定できます。
更新センター	アプリの更新	インストール済みアプリケーションの更新を行います。
	ソフトウェア更新	▶P.272「ソフトウェアを更新する」
ネットワーク		「ネットワーク」、「電波強度」、「モバイルネットワークの種類」、「サービスの状態」、「ローミング」、「モバイルネットワークの状態」、「IPアドレス」を表示します。
ステータス		「電話番号」、「IMEI」、「IMEI SV」を表示します。
バッテリー		バッテリーの状態、バッテリー残量、バッテリー消費状況が確認できます。
ハードウェア情報		「モデル番号」、「ハードウェアバージョン」、「稼働時間」、「Wi-Fi MACアドレス」、「Bluetoothアドレス」を表示します。
ソフトウェア情報		「Androidバージョン」、「ベースバンドバージョン」、「カーネルバージョン」、「ビルド番号」、「ソフトウェアバージョン」を表示します。
使用条件		LGソフトウェアの利用条件、オープンソースライセンス、Google利用規約が確認できます。
規制と安全に関する情報		電波法に基づく技術基準適合情報や、無線LAN（Wi-Fi®）などの情報を表示します。

データ通信

無線LAN（Wi-Fi®）機能

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
無線LAN（Wi-Fi®）を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

memo

- ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント（無線LAN親機）をご用意ください。
- 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする

1 ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［Wi-Fi］

初めてご利用になる場合はチュートリアルの案内画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行ってください。

2 ［ ］

ステータスバーを下方向にスライドして、クイック設定の「Wi-Fi」をタップしても同様に操作できます。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［Wi-Fi］

Wi-Fi設定画面が表示されます。
Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択

3 パスワードを入力▶［接続］

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- お使いの環境によっては、通信速度の低下やご利用になれない場合があります。

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを手動で登録する

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [⋮] ▶ [ネットワークを追加]

2 ネットワークSSIDを入力 ▶ セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

3 [接続]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

3 パスワードを入力 ▶ [接続]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

3 必要な項目を設定/入力 ▶ [接続]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
- Wi-Fi設定画面 ▶ アクセスポイントをロングタッチ ▶ [ネットワークを変更] と操作すると、登録したアクセスポイントを編集できます。

自動でアクセスポイントを登録する

AOSS™やかんたん接続対応のアクセスポイントを登録する場合、Wi-Fiかんたん接続機能を使うと、簡単に登録できます。

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [Wi-Fiかんたん接続]

2 設定している場所や接続環境を選択

3 接続機器やメーカーなどを選択 ▶ 以降、画面の指示に従って操作

アクセスポイントとの接続を切る

1 **Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントを選択 ▶ [切断]**

Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントをロングタッチ ▶ [ネットワークの切断] でも同様に操作できます。

memo

- アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fi®のオープンネットワーク（パスワードなどのセキュリティが設定されていないWi-Fi®ネットワーク）を検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

1 **Wi-Fi設定画面 ▶ [⋮] ▶ [Wi-Fiの詳細設定] ▶「Wi-Fi通知」にチェックを付ける**

接続を一時停止するタイミングを設定する

1 **Wi-Fi設定画面 ▶ [⋮] ▶ [Wi-Fiの詳細設定] ▶ [画面OFF時のWi-Fi設定]**

2 **以下の項目をタップ**

項目	説明
接続を維持	画面OFF時もWi-Fi®接続を維持します。
充電中のみ接続を維持	充電中の場合のみ画面OFF時もWi-Fi®接続を維持します。
接続を解除（データ使用量が増加します）	画面OFF時はWi-Fi®接続をOFFにします。

Wi-Fi安定制御機能を設定する

Wi-Fi®の電波が安定しているときに通信する機能を設定します。

1 **Wi-Fi設定画面 ▶ [⋮] ▶ [Wi-Fiの詳細設定] ▶「Wi-Fi安定制御機能」にチェックを付ける**

memo

- 「Wi-Fi安定制御機能」にチェックを付けるとWi-Fi®が不安定になったとき、Wi-Fi®のみに通信を制限する一部のアプリケーションにおいて、アプリケーションの動作仕様により、一時的に4G（LTE/WiMAX 2+）で通信する場合があります。
- 「Wi-Fi安定制御機能」にチェックを付けると、📶とともに 4G が表示されるようになります。4G（LTE/WiMAX 2+）データ通信の有無は 4G の矢印が点灯しているかどうかでご確認いただけます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることができる機能です。
テザリング機能について詳しくは、ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［テザリングとネットワーク］▶［ヘルプ］でヘルプをご参照ください。

memo

- テザリング機能のご利用には、別途ご契約が必要です。
- 最大14台（Wi-Fi®テザリング8台、Bluetooth®テザリング5台、USBテザリング1台）まで同時接続可能です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

- あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法については、「パソコンを使って充電する」（▶ P.42）をご参照ください。

1 **ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［テザリングとネットワーク］**

2 **「USBテザリング」の［ ］**
メッセージが表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップしてください。

memo

- Windows Vista ／ Windows 7 ／ Windows 8 ／ Windows 8.1以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 **ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［テザリングとネットワーク］▶［Wi-Fiテザリング］**

2 **［ ］**
メッセージが表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップしてください。

memo

- Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。
- Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN（Wi-Fi®）機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 **ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［テザリングとネットワーク］▶［Wi-Fiテザリング］**

2 **［Wi-Fiテザリング設定］**

3 **以下の項目をタップ**

Wi-Fiアクセスポイント名（SSID）	他の無線LAN（Wi-Fi®）機能対応機器に表示される名前（ネットワークSSID）を入力します。
セキュリティ	無線LAN（Wi-Fi®）の暗号化方式を選択します。
パスワード	セキュリティのパスワードを設定します。

4 **［保存］**

memo

- セキュリティを「Open」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
- 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

Bluetooth®テザリング機能の設定をする

本製品をBluetooth®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 **ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［テザリングとネットワーク］**

2 **「Bluetoothテザリング」の［ ］**

メッセージが表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップしてください。

memo

- Bluetooth®テザリングを利用するには、あらかじめペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」（▶P.237）をご参照ください。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

Bluetooth®機能でできること

■ オーディオ出力

ワイヤレスで音楽やテレビ放送を聴くことができます。

■ ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■ データ送受信

連絡先、プロフィール、ブックマーク、静止画データ、動画データ、ボイスレコーダーで録音したデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microUSBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器のペア設定中（新規登録中）」「データ送受信中」「検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

オーディオ機器と本製品の間に障害物（身体、金属、壁など）があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器と本製品の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、応答することができます。Bluetooth®で検索、データ通信中の場合は、通話中画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN（Wi-Fi®）との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能を有効にする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®を起動します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索可能状態の設定、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［Bluetooth］

初めてご利用になる場合はチュートリアルの案内画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行ってください。

2 ［ ］

ステータスバーを下方向にスライドして、クイック設定の「Bluetooth」をタップしても同様に操作できます。

memo

- Bluetooth®を起動すると、電池の消耗が激しくなります。
- オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。

■ Bluetooth®機器との接続には

Bluetooth®機器との初回接続時に、同じパスキーが表示されていることを確認する旨のメッセージが表示されます。その場合は、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることを確認してから、本製品と接続するBluetooth®機器で接続の操作を行ってください。パスキー入力画面が表示された場合は、本製品と接続するBluetooth®機器で同じパスキーを入力してください。
他のBluetooth®機器からの機器検索を可能にしたい場合は、「他のBluetoothデバイスから検出可能にします」を有効に設定してください。

memo

- パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。

■ ハンズフリー通話について

Bluetooth®を起動した状態で、ペア設定済みのハンズフリー機器やヘッドセット機器から接続要求があると自動的に接続します。

memo

- ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」/「HFP」です。
- ハンズフリーをご利用になる場合は、あらかじめ対応機器と接続してください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.237)をご参照ください。
- ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー着信中や通話中に音量キー(UP/DOWN)を押すと、ハンズフリー対応機器の着信音量や通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。
- ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

■ オーディオ機器について

Bluetooth®を起動した状態で、ペア設定済みの機器から接続要求があると自動的に接続します。
オーディオ機器接続中は、以下の点にご注意ください。

- BGM再生中/BGM受信中に画面ロックが設定されても、オーディオ機器からの操作を継続して行うことができます。
- オーディオ出力対応アプリや利用する機器によっては、本体の操作で音量を調節できない場合や本体の操作で音量を調節しても、オーディオ機器には反映されない場合があります。その場合は、音量をオーディオ機器の操作で調節してください。また、利用する機器によっては、音量調節以外も利用できない場合があります。
- 着信があった場合は、スピーカーでお知らせします。ハンズフリー対応のオーディオ機器の場合は、オーディオ機器から着信通知音が流れます。ただし、オーディオ機器で電話を受けたり通話をしたりすることはできません。スピーカーとマイクで通話してください。
- アラームなどで設定している時刻になった場合は、オーディオ機器でお知らせします。
- オーディオ出力対応アプリ起動中にオーディオ機器の接続が切断されても、アプリの動作は継続します。接続切断後、オーディオ機器を操作すると接続を再開します。
- オーディオ機器と、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。
- テレビの番組によっては、オーディオ機器で音を聴くことができない場合があります。

memo

- オーディオ出力で利用するプロファイルは「A2DP」です。
- オーディオ機器をご利用になる場合は、あらかじめペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」（▶P.237）をご参照ください。
- SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。
- 音楽を聴いているときなどに電話をかけたり、かかってきた電話に出たりする場合は、オーディオ機器とハンズフリー機器、またはヘッドセット機器の両方のプロファイルに対応している必要があります。
- 500曲以上登録したプレイリストは、カーナビでは再生できない場合があります。

Bluetooth®機器を登録する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［Bluetooth］▶［デバイスの検索］

検索に応答した機器が「接続可能なデバイス」に表示されます。

2 接続するBluetooth®機器を選択

3 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

ペアリング要求画面が表示されます。本製品とBluetooth®機器で同じパスキーが表示されていることを確認し、「ペアリング」をタップします。ペア設定が完了するとBluetooth®機器が使用できます。
ペア設定と接続の状態は、Bluetooth®デバイスリストの「接続可能なデバイス」の上に「ペアリング済みデバイス」欄が表示され、その一覧に表示されます。
Bluetooth®デバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスもあります。

memo

- ペア設定をしたBluetooth®機器がヘッドセット機器、ハンズフリー機器、オーディオ機器、キーボード機器のいずれにも対応していない場合、接続が行われません。
- Bluetooth®機器がデバイスを非公開または検索不可能に設定している場合は、検索結果に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを送信する

各機能のメニューから、データをBluetooth®送信することができます。

例：連絡先を複数送信する場合

1 連絡先一覧画面 ▶［ ⋮ ］▶［共有］

2 送信する連絡先にチェックを付ける ▶［共有］

全件選択する場合は、「すべて選択」にチェックを付ける ▶［共有］と操作します。

3 ［Bluetooth］

4 送信先の機器を選択

memo

- 複数のGoogleアカウントを設定している場合、連絡先を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている連絡先が送信されます。
- データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- データ送信で利用するプロファイルは「OPP」です。
- 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- データ送信時は、連絡先はvCard形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手側（送信側）のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法については、「Bluetooth®機能を有効にする」（▶P.235）をご参照ください。

1 送信側のBluetooth®機器からデータ送信

2 ［承諾］

memo

- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- データ受信で利用するプロファイルは「OPP」です。
- 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。
- 連絡先登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。

Bluetooth®機能の設定をする

1 ホーム画面▶「 」をロングタッチ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ▶［Bluetooth］

2 「Bluetooth」の［ ］

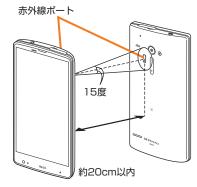
3 以下の項目をタップ

デバイスを表示する	他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される本製品のデバイス名です。 チェックを付けると、他のBluetooth®機器から約2分間検出可能になります。 • デバイス名を変更するには、［ ］▶［携帯電話名の変更］▶デバイス名を入力▶［保存］と操作します。 • 検出可能な時間を変更するには、［ ］▶［検出可能時間のタイムアウト］▶検出可能時間をタップします。
ペアリング済みデバイス※	ペアリングしたデバイスが表示されます。 をタップすると、デバイス名の編集やペアリングの解除などの操作ができます。
接続可能なデバイス	接続が可能なデバイスが表示されます。
デバイスの検索	▶P.237「Bluetooth®機器を登録する」

※ ペアリング済みのデバイスがある場合に表示されます。

赤外線通信

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

- 赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
- 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- 送受信時に認証パスコードの入力が必要になる場合があります。認証パスコードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
- 赤外線通信中に音声着信、アラームなど、他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。

赤外線でデータを受信する

■ 1件送信でデータが送信された場合

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [赤外線] ▶ [受信]

2 [OK]

■ 全件送信でデータが送信された場合

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [赤外線] ▶ [すべて受信]

2 赤外線認証コードを入力 ▶ [OK] ▶ [OK]

赤外線でデータを送信する

■ 1件送信でデータを送信する場合

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [赤外線] ▶ [送信]

2 以下の項目をタップ

マイプロフィール	マイプロフィールを送信します。
連絡先	連絡先データを選択して送信します。
スケジューラ	カレンダーデータを選択して送信します。
ギャラリー	ギャラリーの画像データを送信します。

■ 全件送信でデータを送信する場合

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ツール] ▶ [赤外線] ▶ [すべて送信]

2 以下の項目をタップ

連絡先	連絡先データをすべて送信します。
スケジューラ	カレンダーデータをすべて送信します。

3 赤外線認証コードを入力 ▶ [OK]

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.122
	着信お知らせサービス	P.242
	着信転送サービス	P.243
	発信番号表示サービス	P.245
	番号通知リクエストサービス	P.246
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX	P.247
	三者通話サービス	P.253
	割込通話サービス	P.254
	迷惑電話撃退サービス	P.255
	通話明細分計サービス	P.257

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

■ 着信お知らせサービスについて

着信お知らせサービスは、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
- お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時の設定では、着信お知らせサービスで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.248）で着信お知らせサービス（着信通知）を停止することができます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

- 緊急通報番号（110、119、118)、時報（117）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶ P.246）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- au国際電話サービスをご利用いただき、海外の電話に転送する際は、転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。
- au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・お客様のご負担となります。 ・海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 **ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］**

2 **［着信転送・お留守番サービス］▶［無応答転送］**

3 **［着信転送］**

- 「無効にする」をタップすると無応答転送サービスを中止できます。

4 **転送先の番号を入力 ▶［ONにする］／［更新］**

- 「 」をタップすると、連絡先から転送先番号を選択できます。

5 **待ち時間を設定 ▶［保存］**

- 転送までの待ち時間は5秒～ 55秒の間で設定できます。初期設定は24秒となっています。

memo

- 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］

2 ［着信転送・お留守番サービス］▶［話中転送］

3 ［着信転送］

- 「無効にする」をタップすると話中転送サービスを中止できます。

4 転送先の番号を入力 ▶［ONにする］／［更新］

- 「 」をタップすると、連絡先から転送先番号を選択できます。

memo

- 話中転送と割込通話サービス（▶P.254）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答できない電話を転送する（圏外転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときに電話を転送します。

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］

2 ［着信転送・お留守番サービス］▶［圏外転送］

3 ［着信転送］

- 「無効にする」をタップすると圏外転送サービスを中止できます。

4 転送先の番号を入力 ▶［ONにする］／［更新］

- 「 」をタップすると、連絡先から転送先番号を選択できます。

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］

2 ［着信転送・お留守番サービス］▶［フル転送］

3 ［着信転送］

- 「無効にする」をタップするとフル転送サービスを中止できます。

4 転送先の番号を入力 ▶［ONにする］／［更新］

- 「 」をタップすると、連絡先から転送先番号を選択できます。

memo

- フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.23）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の本製品のディスプレイに表示したりするサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- 発信者番号（本製品の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」（ID Unsent）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Payphone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直してほしいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- お留守番サービス（▶ P.248）、着信転送サービス（▶ P.243）、割込通話サービス（▶ P.254）、三者通話サービス（▶ P.253）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］

2 ［着信拒否］▶［番号通知リクエストサービス］

memo

- 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手の方からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
- 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
  - 公衆電話、国際電話
  - SMS
  - その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次のとおりに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 • お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

memo

- お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
- お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［1］［4］［1］▶［ ］

2 ガイダンスに従って操作

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

かかってきた電話に出ることができないときに、お留守番サービスに転送します。

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］

2 ［着信転送・お留守番サービス］▶［無応答転送］

3 ［留守番電話］▶ 待ち時間を設定

- 転送までの待ち時間は5秒～ 55秒の間で設定できます。初期設定は24秒となっています。
- 「無効にする」をタップすると無応答転送サービスを中止できます。

memo

- 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］

2 ［着信転送・お留守番サービス］▶［話中転送］

3 ［留守番電話］

- 「無効にする」をタップすると話中転送サービスを中止できます。

memo

- 話中転送と割込通話サービス（▶P.254）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答できない電話を転送する（圏外転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときに、お留守番サービスに転送します。

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］

2 ［着信転送・お留守番サービス］▶［圏外転送］

3 ［留守番電話］

- 「無効にする」をタップすると圏外転送サービスを中止できます。

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 **ホーム画面 ▶「 ▭ 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］**

2 **［着信転送・お留守番サービス］▶［フル転送］**

3 **［留守番電話］**

- 「無効にする」をタップするとフル転送サービスを中止できます。

memo

- フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 **お留守番サービスで留守応答**

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します。（▶ P.251「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 **伝言を録音**

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 **「#」を押して録音を終了**

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

［1］：録音した伝言を再生して、内容を確認する
［2］：録音した伝言を「至急扱い」にする
［9］：録音した伝言を消去して、取り消す
［＊］：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 **電話を切る**

memo

- 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
- お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [1] [6] [1] [2] +相手の方のau電話番号を入力 ▶ [ ]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、SMSで確認できます。

memo

- 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [1] [4] [1] [7] ▶ [ ]

ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [システム設定] ▶「ネットワーク」タブ ▶ [通話設定] ▶ [着信転送･お留守番サービス] ▶ [伝言メッセージを再生する] でも同様に操作できます。
ホーム画面 ▶ [ ] ▶「1」をロングタッチしても同様に操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

[1] ：同じ伝言をもう一度聞く
[4] ：5秒間巻き戻して聞き直す
[5] ：伝言を一時停止（20秒間）※
[6] ：5秒間早送りして聞く
[9] ：伝言を消去
[0] ：伝言再生中の操作方法を聞く
[#] ：次の伝言を聞く
[＊] ：前の伝言を聞く

※「終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [終了]

memo

- お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.250）も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［1］［4］［1］［4］▶［ ］

ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］▶［着信転送･お留守番サービス］▶［応答内容変更］でも同様に操作できます。

■「個人メッセージ」（すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージ）を録音する場合

2 ［1］▶ 3分以内で応答メッセージを録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］

■「名前指定メッセージ」（名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージ）を録音する場合

2 ［2］▶ 10秒以内で名前を録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 ［3］▶ 応答メッセージを確認 ▶［終了］

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 ［7］▶ 3分以内で応答メッセージを録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］

memo

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- 応答メッセージを最後まで聞いてほしい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶P.251「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1 ホーム画面 ▶ [📞] ▶ [1] [6] [1] [0] ▶ [📞]

2 [終了]

memo

- 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を開始する

1 ホーム画面 ▶ [📞] ▶ [1] [6] [1] [1] ▶ [📞]

2 ガイダンスを確認 ▶ [終了]

memo

- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記の××××には、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守電転送設定（無条件）開始	1418
留守電転送設定（無条件）停止	1419
留守電再生	1415
留守電総合案内	1416

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.23）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [1] [4] [1] [9] [1] ▶ [ ]

ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [システム設定] ▶「ネットワーク」タブ ▶ [通話設定] ▶ [ガイドの言語を変更する] ▶ [英語ガイダンス] ▶ [はい] でも同様に操作できます。
英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [終了]

memo

- ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [1] [4] [1] [9] [0] ▶ [ ]

ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [システム設定] ▶「ネットワーク」タブ ▶ [通話設定] ▶ [ガイドの言語を変更する] ▶ [日本語ガイダンス] ▶ [はい] でも同様に操作できます。
日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [終了]

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。
例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんとの通話中画面 ▶ [ ] ▶ [別の通話を追加] ▶ Bさんの電話番号を入力

- シンクコールのポップアップ画面で通話中の場合は [ ] ▶ [ ] ▶ [別の通話を追加] と操作し、Bさんの電話番号を入力することもできます。
- 連絡先や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [ ]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

4 [ ] ▶ [グループ通話]

3人で通話できます。「終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
- 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

- 新規にご加入いただいた際にはサービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Nano IC Card 04を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面 ▶「　」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［通話設定］

2 ［その他の設定］▶［割込通話サービス］

memo

- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.246）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.255）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- LTEパケット通信中は、割込通話サービスを「停止」に設定しても着信します。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 「受話」

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
通話中画面で保留中の相手をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。シンクコールのポップアップ画面で通話中の場合は、「 」をタップすると保留中の相手に切り替えることができます。

memo

- 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

かかってきた電話を受信拒否リストに登録する

1 迷惑電話、いたずら電話を着信した後、通話終了

2 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [1] [4] [4] [2] ▶ [ ]

撃退する電話番号を受信拒否リストに登録する

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [システム設定] ▶「ネットワーク」タブ ▶ [通話設定]

2 [着信拒否] ▶ [迷惑電話撃退サービス]

3 [+]

- 番号非通知の着信をすべて拒否する場合は、「非通知番号」をタップします。

4 [連絡先] ／ [通話履歴] ／ [新しい番号] ／ [最終着信の相手]

- 「新しい番号」を選択した場合、撃退する電話番号を入力 ▶ [保存] と操作します。
- 「最終着信の相手」を選択した場合は、操作5は不要です。

5 撃退する電話番号を選択 ▶ [完了]

memo

- 受信拒否リストに登録できる電話番号は30件までです。
- 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
- 受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- 国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除ができません。日本で登録されていた相手の方から着信があった場合、登録した内容によっては通常の接続となる場合があります。
- 受信拒否リストに登録した相手の方でもSMSは、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [1] [4] [4] [9] ▶ [ ]

2 [終了]

■ 指定する電話番号を削除／編集する

1 ホーム画面 ▶「 」をロングタッチ ▶ [システム設定] ▶「ネットワーク」タブ ▶ [通話設定]

2 [着信拒否] ▶ [迷惑電話撃退サービス]

3 [ ] ▶ 削除する電話番号を選択 ▶ [削除] ▶ [はい]

- 編集する場合は、編集する電話番号の [ ] ▶ 電話番号を編集 ▶ [保存] と操作します。

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 **ホーム画面 ▶［ ］▶［1］［3］［1］+相手先電話番号を入力 ▶［ ］**

memo

- 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
- 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

海外利用

グローバルパスポート

GLOBAL PASSPORT（グローバルパスポート）について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM ／ UMTS ／ LTEネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、海外で話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

- 国際ローミングとは、日本でお使いのａｕ電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいてご利用いただけるサービスです。

■ ご利用イメージ

1. 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます。
2. 渡航先で本製品のネットワークモード設定を行います。（▶P.260）
3. 海外でいつもの番号で話せます。
4. 帰国後は、再びａｕのネットワークでご利用になれます。ネットワークモード設定を変更した場合は「自動」に戻してください。（▶P.260）

memo

- 初期状態では海外で通話およびＳＭＳのみご利用可能な設定になっています。海外でパケット通信をご利用になる場合は「データローミングを設定する」（▶P.260）に従い設定を行ってください。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.260）、「ネットワークモードを設定する」（▶P.260）に従い、各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」（▶ P.262）をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。（▶P.23「PINコードについて」）

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、[通話] をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

ネットワークモードを設定する

本製品を使用するネットワークモードを設定します。

1 **ホーム画面 ▶「 [□] 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［テザリングとネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［ネットワークモード］**

2 **以下の項目をタップ**

項目	説明
自動	日本国内／海外の両方で利用します（自動切り替え）。
ホームネットワークのみ	日本国内のみで利用します。

memo

- 「ネットワークモード」を「自動」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1 **ホーム画面 ▶「 [□] 」をロングタッチ ▶［システム設定］▶「ネットワーク」タブ ▶［テザリングとネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶「データローミング」にチェックを付ける ▶［はい］**

データローミングが有効になります。

memo

- データローミングを有効にするには、あらかじめ「ネットワークモード」を「自動」に設定してください。
- LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

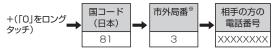
渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 **ホーム画面 ▶ [ ]**

2 **+（「0」をロングタッチ）▶ 国コード・地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力 ▶ [ ]**

例：韓国から日本の「03-XXXX-XXXX」にかける場合

※ 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

memo

- 電話をかける相手の方が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国コードとして「81」（日本）を入力してください。
- 「+」のダイヤルでつながらない場合は、「+」の替わりに渡航先の国際アクセス番号を入力ください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話をかけることができます。

1 **ホーム画面 ▶ [ ]**

2 **地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力**

3 **[ ]**

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

- 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）

＋（「0」をロングタッチ） ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24 時間

■一般電話からのお問い合わせ方法1（渡航先別電話番号）

地域	国・地域	電話番号
北米・中南米	アメリカ／カナダ	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
アジア	インド	000800-810-1134
	インドネシア	001-803-81-0235
	韓国	002-800-00777113
	シンガポール／タイ／香港	001-800-00777113
	台湾／中国／フィリピン／マカオ／マレーシア	00-800-00777113
	ベトナム	120-81-003
ヨーロッパ	イギリス／イタリア／オランダ／スイス／スペイン／ドイツ	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
	ロシア	810-800-20201081
オセアニア	オーストラリア	0011-800-00777113
	グアム	1-888-891-3297
	ニュージーランド	00-800-00777113
	ハワイ	1-877-532-6223
中東	アラブ首長国連邦	800-081-0-0102

受付時間：24時間

memo

- ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
- 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
- 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。
- 記載のない国・地域、および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
  http://www.001.kddi.com/accessnumber/index.html

■一般電話からのお問い合わせ方法2（通話料有料）

「一般電話からのお問い合わせ方法1」でかけられない国･地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24 時間

日本国内からのお問い合わせ

au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00 ～ 20:00（年中無休）

海外利用

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国・地域や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分

国・地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米・中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ・中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

- 日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- 渡航先でコレクトコール・トールフリーナンバーなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
- アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
- 中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「他の国への国際通話料」料金（265円／分）となります。
- 国・地域によっては、[通話アイコン] をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
- 2014年5月現在の情報です。
- 最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

■パケットサービス・メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■海外ダブル定額（免税）

対象の国･地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB（割引前通信料が40,000円分）まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

memo

- 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したパケット量に応じて課金されます。
- 渡航先でのパケット通信料は、日本国内の各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日（0:00 ～ 23:59）の通信に対する金額です。月額の定額料ではありません。

国際アクセス番号＆国コード一覧

■国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ／ハワイ／カナダ／グアム／サイパン	011
ニュージーランド／中国／マカオ／ベトナム／メキシコ／インド／フィリピン／マレーシア／イギリス／ドイツ／フランス／イタリア／スペイン／スイス	00
韓国	001、002、00700
香港／タイ／インドネシア	001
台湾	002
ブラジル	0014、0015、0021、0023
オーストラリア	0011

■国コード（カントリーコード）

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アメリカ合衆国（USA）	1	ドイツ（DEU）	49
アラブ首長国連邦（ARE）	971	日本（JPN）	81
イギリス（GBR）	44	ニュージーランド（NZL）	64
イタリア（ITA）	39	フィリピン（PHL）	63
インド（IND）	91	ブラジル（BRA）	55
インドネシア（IDN）	62	フランス（FRA）	33
オーストラリア(AUS)	61	ベトナム（VIE）	84
オランダ（NLD）	31	香港（HKG）	852
カナダ（CAN）	1	マカオ（MAC）	853
韓国（KOR）	82	マレーシア（MYS）	60
シンガポール（SGP）	65	メキシコ（MEX）	52
スイス（CHE）	41	スペイン（ESP）	34
タイ（THA）	66	台湾（TWN）	886
ロシア（RUS）	7	中国（CHN）	86

※ ハワイ、サイパンの国コードは、アメリカ合衆国（USA）「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上の注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、トールフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、（通話アイコン）をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のａｕ電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関するご注意

- 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 日本国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なＡＣアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなる場合があります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かないところではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先でローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、本製品の電源をオフ／オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

付録・索引

周辺機器のご紹介

■ 背面カバー（LGV31TFA）

■ 背面カバー（LGV31TPA）

■ 背面カバー（LGV31TKA）

■ LG TVアンテナケーブル01（01LGHSA）

■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

■ auキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）

■ auキャリングケースHブラック（0107FCA）（別売）

■ ACアダプタ（別売）

- 共通ACアダプタ03（0301PQA）
- 共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）
- 共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）
- 共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）
- 共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）
- AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）
- AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）
- AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）
- AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）
- AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）

■ 共通ACアダプタ05（0501PWA）（別売）

■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

■ microUSBケーブル（別売）

- microUSBケーブル01（0301HVA）
- microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）
- microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）
- microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）
- microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）

■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

memo

- 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
- 本製品は、ASYNC ／ FAX通信は非対応です。
- 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	▶P.40
	電源キーを長押ししていますか？	▶P.42
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	▶P.40
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	▶P.40
電話がかけられない	電源は入っていますか？	▶P.42
	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	▶P.38
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	▶P.71
	電話番号入力後、[通話アイコン] を選択していますか	▶P.71
	「ネットワークモード」が間違っていませんか？	▶P.260
	「機内モード」が設定されていませんか？	▶P.214
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	▶P.56
	サービスエリア外にいませんか？	▶P.56
	電源は入っていますか？	▶P.42
	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	▶P.38
	「ネットワークモード」が間違っていませんか？	▶P.260
	「着信拒否」が設定されていませんか？	▶P.212
	「機内モード」が設定されていませんか？	▶P.214
	着信転送サービスが設定されていませんか？	▶P.243

こんなときは	ご確認ください	参照
[圏外アイコン]（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか？	▶P.56
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	▶P.35
	au Nano IC Card 04以外のカードが挿入されていませんか？	▶P.37
	「ネットワークモード」が間違っていませんか？	▶P.260
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	▶P.56
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	▶P.229
	「機内モード」が設定されていませんか？	▶P.214
ディスプレイは点灯するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	▶P.208
	サウンドプロフィールが「サイレント」に設定されていませんか？	▶P.216
充電ができない	ACアダプタのプラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	▶P.41
タッチパネルで意図した通りに操作できない	手袋などをしたままで操作していませんか？	▶P.46
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？	▶P.46
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？	▶P.216
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	▶P.42
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	▶P.206
「UIMカードが挿入されていません」と表示される	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	▶P.38
「SIMネットワークサブセットロックされています」と表示される	au Nano IC Card 04以外のカードが挿入されていませんか？	▶P.37

こんなときは	ご確認ください	参照
着信音の鳴り始めの音量が小さい	耳に悪い影響を与えないよう、着信直後は小さな音量で鳴り、次第に設定した音量になる仕様です。	▶P.77
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	▶P.40 ▶P.56
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか?	▶P.56
	内蔵電池が寿命となっていませんか?	▶P.15
	(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか?	▶P.56
	使用していないアプリケーションや機能を終了・停止してみてください。	▶P.53
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか?	▶P.56
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐ消える	「バックライト点灯時間」が短く設定されていませんか?	▶P.209
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか?	▶P.209
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか?	▶P.71
	受話口を耳でふさいでいませんか?受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	▶P.35
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか?奥までしっかり挿入してください。	—
テレビが、映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送波は十分に届いていますか?	▶P.155
	付属のLG TVアンテナケーブル01を本製品に接続していますか?	▶P.155
	視聴している場所が選択している地域と合っていますか?	▶P.155
	電池残量が不足していませんか?	▶P.56 ▶P.154

こんなときは	ご確認ください	参照
連絡先の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか? 通知がない場合は、連絡先の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。また、連絡先のグループ音声着信設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上連絡先に登録されていませんか?	▶P.79
画像がウェブページに表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか?	▶P.137
NFC/おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか?	▶P.40
	「NFC/おサイフケータイ ロック」が設定されていませんか?	▶P.198
	本製品の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか?	▶P.197
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか?	▶P.203
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか?	▶P.206
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか?	▶P.40 ▶P.139
	本体の温度が高くなっていませんか?	▶P.139

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

イヤホンを使用する

市販のイヤホンを接続します。

1 市販のイヤホンのプラグを本製品のイヤホン端子に差し込む

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
更新は、次の方法があります。

- 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- パソコンに接続してソフトウェアを本製品に転送して更新する

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、ａuホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、ａuからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェアの更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（連絡先、メール、静止画、楽曲データなど）や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない操作について
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

パケット通信またはWi-Fi®ネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、本製品から直接ワイヤレスで更新をダウンロードできます。

1 **ホーム画面▶「▭」をロングタッチ▶［システム設定］▶「一般」タブ▶［端末情報］▶［更新センター］▶［ソフトウェア更新］**

初めてご利用になる場合は、ソフトウェア更新についての確認画面が表示されます。「「ソフトウェア更新」に同意します」にチェックを付けて「同意する」をタップしてください。

2 **［アップデートを確認］**

新しいソフトウェアがあるか確認します。
ソフトウェアを更新できる場合はソフトウェア更新画面が表示されます。

3 **通信方式を選択**

ソフトウェアのダウンロードに利用する通信方式を選択します。

4 **［ダウンロード］**

新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

5 **［インストールする］**

ソフトウェアの更新が開始されます。
ソフトウェア更新中は本製品の再起動を1、2回ほど行います。

6 **［OK］**

■ ソフトウェア更新をWi-Fi®のみでダウンロードする場合

ホーム画面▶「▭」をロングタッチ▶［システム設定］▶「一般」タブ▶［端末情報］▶［更新センター］▶［ソフトウェア更新］▶［アップデートを確認］▶［Wi-Fi接続でダウンロード］と操作します。
Wi-Fi®通信を利用して更新する場合、Wi-Fi®通信が不安定になると自動的にパケット通信に切り替わり、通信料が発生することがありますのでご注意ください。

最新のソフトウェア更新を自動確認する

最新のソフトウェア更新を定期的に自動確認します。更新がある場合、ステータスバーに⬇が表示されます。

1 **ホーム画面▶「▭」をロングタッチ▶［システム設定］▶「一般」タブ▶［端末情報］▶［更新センター］▶［ソフトウェア更新］**

初めてご利用になる場合は、ソフトウェア更新についての確認画面が表示されます。「「ソフトウェア更新」に同意します」にチェックを付けて「同意する」をタップしてください。

2 **「更新内容を自動で確認し、ダウンロードします」にチェックを入れる**

memo

- 自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

LG PC Suite（▶P.213）を利用して本製品のソフトウェアを更新できます。

1 パソコンで、LG PC Suiteを起動する

2 本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続する

本製品が認識されると、LG PC Suite画面左上に本製品のデバイス名が表示されます。

3 LG PC Suite画面で［携帯電話機］▶［携帯電話機ソフトウェアのアップグレード］

4 パソコンの画面に従って操作

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について
保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスLTEについて
au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo
- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Nano IC Card 04について
au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて
アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて）
一般電話からは　　　0077-7-113（通話料無料）
au電話からは　　　　局番なしの113（通話料無料）
受付時間　24時間（年中無休）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）
一般電話／au電話からは 0120-925-919（通話料無料）
受付時間　9:00～21:00（年中無休）

オンライン修理受付（24時間受付）
※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://cs.kddi.com/support/n_login.html

- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障（破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど）の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■ auアフターサービスの内容について

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">サービス内容</th><th colspan="2">安心ケータイサポートプラスLTE</th></tr>
<tr><th>会員</th><th>非会員</th></tr>
<tr><td rowspan="3">交換用携帯電話機お届けサービス</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td rowspan="3">補償なし</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td rowspan="2">お客様負担額
1回目：5,000円
2回目：8,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失</td></tr>
<tr><td rowspan="5">預かり修理</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td>無料</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td>無料（3年保証）</td><td rowspan="3">実費負担</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損</td><td>お客様負担額上限5,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">水濡れ、全損</td><td>お客様負担額10,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">盗難、紛失</td><td>補償なし</td><td>補償なし（機種変更対応）</td></tr>
</table>

※ 金額はすべて税抜

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

- au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
  ※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

利用できるデータの種類は次のとおりです。

データの種類	拡張子
動画	mp4, 3gp, wmv, avi, mkv, flv, asf, m4v
オーディオ	mp3, m4a, wav, amr, wma, aac, mid, mka, ogg
静止画	jpeg, jpg, png, bmp, wbmp, gif, webp

memo

- サイズによっては利用できない場合があります。
- 動画、オーディオについては拡張子が同じ場合でも再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ		約5.5インチ、約1,677万色、AH IPS液晶
		2560×1440ドット（WQHD）
質量		約154g（内蔵電池含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）		約76mm × 145mm × 10.5mm
CPU		MSM8974 AC 2.45GHz クアッドコア
メモリ（内蔵）		ROM：32GB RAM：3GB
連続通話時間	国内	約1300分
	海外（GSM）	約910分
連続待受時間※	国内	約580時間
	海外（GSM）	約630時間
連続テザリング時間		約560分
テザリング最大接続数		14台（Wi-Fi®テザリング8台、Bluetooth®テザリング5台、USBテザリング1台）

※ 連続待受時間は、静止待受け状態での測定値です。

- 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 充電時間

ACアダプタ	約110分（共通ACアダプタ05（別売）使用時）
DCアダプタ	約340分（共通DCアダプタ03（別売）使用時）

■ 無線LAN（Wi-Fi®）

通信方式	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠
使用周波数帯	2.4GHz帯／5GHz帯

■ Bluetooth®

通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.4.0
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class1
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応プロファイル・機能※2	SPP（Serial Port Profile）、HFP（Hands-Free Profile）、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）、FTP（File Transfer Profile）、HDP（Health Device Profile）、HID（Human Interface Device Profile）、HSP（Headset Profile）、OPP（Object Push Profile）、PAN（Personal Area Networking Profile）、PAN NAP、PAN U、PBAP（Phone Book Access Profile）※3、apt-X、SCMS-T、DUN（Dial-Up Networking Profile）※4
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1　通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2　Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3　電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※4　一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

■ SMS ／ Eメール

<table>
<tr><td>SMS</td><td>SMS
センター</td><td>保存件数</td><td>保存件数：無制限
保存期間：SMSセンターに蓄積されてから72時間まで</td></tr>
<tr><td rowspan="8">Eメール</td><td rowspan="4">新規作成</td><td>宛先</td><td>30件（To ／ Cc ／ Bccを含む）</td></tr>
<tr><td>件名</td><td>全角33 ／半角100文字相当</td></tr>
<tr><td>本文</td><td>全角約3,333 ／半角10,000文字相当</td></tr>
<tr><td>添付データ</td><td>最大5件（合計2MB以下）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">受信</td><td>件名</td><td>全角約50 ／半角約100文字相当</td></tr>
<tr><td>本文</td><td>全角約5,000 ／半角約10,000文字相当</td></tr>
<tr><td>添付データ</td><td>最大2MB</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">受信ボックスまたはスレッド</td><td rowspan="2">保存件数</td><td>最大2,000件（Eメール）※</td></tr>
<tr><td>最大1,000件（SMS）※</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信ボックス</td><td>保存件数</td><td>最大1,000件※</td></tr>
</table>

※ 本体の空き容量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

■ アウトカメラ

<table>
<tr><td colspan="2">撮影素子</td><td colspan="2">CMOS</td></tr>
<tr><td colspan="2">有効画素数</td><td colspan="2">約1320万画素</td></tr>
<tr><td rowspan="8">撮影サイズ</td><td rowspan="4">静止画</td><td>13M（4160×3120）</td><td rowspan="4">8倍ズーム</td></tr>
<tr><td>W10M（4160×2340）</td></tr>
<tr><td>9M（3120×3120）</td></tr>
<tr><td>3M（2048×1536）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">動画</td><td>UHD（3840×2160）</td><td rowspan="3">8倍ズーム</td></tr>
<tr><td>FHD（1920×1080）</td></tr>
<tr><td>HD（1280×720）</td></tr>
<tr><td>HD（1280×720 120fps）</td><td>ズームなし</td></tr>
</table>

■ インカメラ

撮影素子		CMOS	
有効画像数		約130万画素	
撮影サイズ	静止画	1M（1280×960）	ズームなし
		W1M（1280×720）	
	動画	HD（1280×720）	ズームなし

■ 本体内の容量

保存可能容量	約24.74GB

■ テレビ

連続視聴時間	フルセグ	約4時間30分
	ワンセグ	約5時間

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

■ 表示言語

日本語／韓国語／英語（米国）／フランス語（カナダ）／アムハラ語／スワヒリ語／ビルマ語／インドネシア語／クメール語／マレー語／タイ語／ベトナム語／中文 繁体（香港）／中文（簡体）／中文（台湾）／カザフ語／ルーマニア語（モルドバ共和国）／ロシア語／ウクライナ語／ウズベク語／英語（オーストラリア）／英語（カナダ）／英語（イギリス）／英語（アイルランド）／英語（ニュージーランド）／英語（南アフリカ共和国）／エストニア語／ラトビア語／リトアニア語／バスク語／ボスニア語／ブルガリア語／カタロニア語／クロアチア語／チェコ語／デンマーク語／オランダ語／フィンランド語／フランス語（フランス）／ガリシア語／ドイツ語／ギリシャ語／ハンガリー語／アイスランド語／イタリア語／マケドニア語／ノルウェー語／ポーランド語／ポルトガル語（ポルトガル）／ルーマニア語（ルーマニア）／セルビア語／スロバキア語／スロベニア語／スウェーデン語／トルコ語／ヒンディー語／ポルトガル語（ブラジル）／スペイン語（スペイン）／スペイン語（ラテンアメリカ）／スペイン語（米国）／アラビア語／ペルシア語／クルド語／ベンガル語／グジャラート語／カンナダ語／マラヤーラム語／マラーティー語／パンジャブ語／タミル語／テルグ語／ネパール語／シンハラ語／アルメニア語／アゼルバイジャン語／グルジア語

■ 入力言語（文字入力）

日本語／英語／韓国語

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【LGV31】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.214W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.321W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/
○LG Electronics Inc.ホームページ:
本製品の「仕様」のページをご確認ください。
http://www.lg.com/jp/mobile-phone
（URLは予告なく変更される場合があります。）

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Declaration of Conformity

The product "LGV31" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.320 W/kg at the ear, and 0.433 W/kg when worn on the body. To comply with the RF Exposure limits a distance of greater than 1.5 cm must be maintained from the user's body.
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168ⓘ

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi(WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. This equipment may be operated in all European countries. The 5150 - 5350 MHz band is restricted to indoor use only.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE : Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

CAUTION
RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.29 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.52 W/kg.

Body-worn Operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID ZNFLGL24.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://ctia.org/.

認定および準拠について

本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本製品で以下の操作を行うとご確認いただけます。

1 ホーム画面▶「▭」をロングタッチ▶［システム設定］▶「一般」タブ▶［端末情報］▶［規制と安全に関する情報］

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

■ おサイフケータイ®対応サービスについて

- おサイフケータイ®対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種（以下、au ICカードといいます）を利用したサービスです。

  NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R／W）機能、機器間通信（P2P）機能がご利用いただけます。
- おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者（以下、ＳＰといいます）が提供します。各ＳＰの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該ＳＰとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各ＳＰにご確認、お問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

■ FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

- お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
- FeliCaチップ内のデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます）及びau ICカードに保存されたデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます）の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
- おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。
- その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

- おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCaチップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
- 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
- auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

■ 不正利用について

- お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
- おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

■ その他

- おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
- おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
- 機内モード設定中または電波OFFモード設定中は、おサイフケータイ対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronics Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Google Play、Google Playロゴ、Playムービー、Gmail、Googleマップ、Googleマップナビ、Google+、Googleウォレット、Googleハングアウト、YouTubeおよびYouTubeロゴはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
  FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。
  - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- © 2014 Comic Communication Co., Ltd. All rights reserved.
- Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS 2.0 is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■OpenSSL License

■オープンソースライセンス

GPL、LGPL、MPL、その他のオープンソースライセンスで該当のソースコードを取得する方法については、http://opensource.lge.com/をご覧ください。
ソースコードとともに、関連するライセンス条件、免責条項、および通知事項もすべてダウンロードできます。

■その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

『au Wi-Fi SPOT』利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用契約の内容を承諾の上、ご利用ください。
株式会社ワイヤ･アンド･ワイヤレス（以下「当社」といいます。）は、この利用規約（以下「本規約」といいます。）に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者（以下「KDDI等」といいます。）の通信サービスの契約者（以下の（3）項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。）に対して、『au Wi-Fi SPOT』（以下「本サービス」といいます）を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

（1）当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの（以下「お客さま」といいます。）はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。

（2）当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

（3）本サービスの提供対象者と利用可能エリアは、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。

（4）本サービスの提供は（3）項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。

（5）本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。
お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。

（6）国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
①お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
②お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
③当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
④お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等（知的財産権その他の権利の侵害等をいう。）の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
⑤お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。

（7）国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。なお、ご契約のプランによっては国際ローミングサービスがご利用になれませんので、Web等でご確認ください。
1）利用可能エリア（国、地域等）はWeb等に掲載します。
2）通信料金は、別に定める「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。

（8）本サービスの利用により生じた債権は当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。

（9）本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。

（10）お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。

（11）本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。

（12）当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
- サービスの紹介、提案、および申込受付のため
- サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
- サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
- サービスの提供に関する妥当性の判断のため
- 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するためお客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
- 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
- ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
- サービスの終了後の管理のため
- その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため

（13）本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本改訂規約は、2013年10月31日から実施します。

索引

英数字

あ

付録・索引

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について(通話料無料)

受付時間　9:00～20:00（年中無休）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール **0077-7-111**	局番なしの **157** 番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて(通話料無料)

受付時間　24時間（年中無休）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール **0077-7-113**	局番なしの **113** 番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

フリーコール **0120-977-033**(沖縄を除く地域)

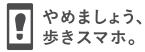
フリーコール **0120-977-699**(沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について(通話料無料)

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

一般電話／au電話から

フリーコール **0120-925-919**

取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

発売元　KDDI株式会社
　　　　沖縄セルラー電話株式会社
輸入元　LG Electronics Japan株式会社
製造元　LG Electronics Inc.

2014年11月 第1版
MFL68686801(1.0)